

演習林年報

2010年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
2012.3

はじめに

2011年3月11日、東日本一帯は大地震に見舞われ、太平洋岸は大津波と原発事故によって未曾有の大被害を受けました。2011年4月からの東京大学の新年度は、一部の大学で取られた開始時期の繰り下げこそありませんでしたが、極度の節電や震災地支援など、重々しい空気の中で始まり、そしていま1年が過ぎようとしています。

農学生命科学研究科附属演習林のこの1年を振り返ると、全演を一本化した新しい教育研究計画が始まったことが挙げられます。当演習林の歴史は古く、千葉演習林は我が国最古の大学演習林として1894年に設置されました。その後、北海道演習林（1899年）、秩父演習林（1916年）、生態水文学研究所（1922年）、富士癒しの森研究所（1925年）、田無演習林（1929年）、樹芸研究所（1943年）と続き今日に至ります。各地方演習林は、それぞれの歴史や特色ある森林、それを管理する技術を蓄積してきましたが、従来、地方演習林相互の連携が充分とは必ずしも言えませんでした。新しい教育研究計画では、7箇所の地方演習林に教育研究センターを加えた新態勢を縦糸に、8つの常置委員会を横糸に見立て、ひとつの組織として縦横の連携を密にし、一体化を強めていく方針です。

弥生の旧研究部は、企画部と教育研究センターに分かれてそれぞれの役割を明確にしました。北海道・秩父・千葉の3つの大規模演習林においては、中心的テーマを掲げつつもいわば百貨店として引き続きさまざまな教育研究課題に取り組んでいきます。それ以外の4つの中・小規模演習林においては、いわば専門店として特定のテーマに集中していきます。この節目の年に合わせて3つの地方演習林では名称変更も行われましたが、新名称はそうした意図が織り込まれています。

常置委員会は新たな教育研究計画の大きな目玉です。それらは基盤データ整備委員会・研究推進委員会・教育推進委員会・環境安全管理委員会・広報情報委員会・国際交流委員会・森林病虫害委員会・「東京大学の森」育成資金委員会の8委員会からなり、教職員が一体となって委員を務め、各地方演習林・センターにネットワークが張り巡らされ、それぞれの機能を果たします。

本年度の附属演習林の特記すべき活動としては、地域・社会連携としては秩父演習林と(株)サントリーとの森林整備・研究助成の協定締結、瀬戸市との地域交流協定の締結など、国際交流では、留学生や外国人研究者の受入の他、東アジア大学演習林の相互交流のための国際シンポジウム参加、技術職員の海外研修等が挙げられます。教育支援では、多数の全学体験ゼミナールが地方演習林を使って開講され、専門教育支援では多くの学生・院生の研究フィールドとして活用されました。

この「年報」には、附属演習林全体の実績、記録等がすべて記載されています。組織内外で有効利用されることを期待しております。

2011年3月
東京大学大学院
農学生命科学研究科
附属演習林長
白石則彦

目次

はじめに

演習林の概要	1
演習林の活動	
教育活動	
大学院講義等	4
学部講義等	6
他大学の非常勤講師	8
招待講演・講師の派遣等	9
森林生態圏管理学大講座ゼミ	11
演習林研究部ゼミ	13
実習等	14
研究活動	
地方演習林研究活動報告	17
演習林技術職員等試験研究・研修会議	29
教職員の論文等	31
学会発表等	35
著書	43
外部資金によって行われた研究	45
社会連携	
公開講座・セミナー等	48
講師の派遣等	53
学外各種委員会等委員	55
国際交流	
交流事業	57
国際シンポジウム	57
共同研究	58
外国人研究者の来訪	59
海外渡航	60
出版広報活動	
演習林報告	61
演習林	62
科学の森ニュース	63
演習林出版物	64
新聞・雑誌・放送等	66
利用状況	
演習林を利用して行った論文等	69
全利用者	73

研修	
技術職員	110
事務職員	111
各種委員会報告	112
安全衛生	
安全・防災のための講習会等	122
資格取得のための講習等	123
災害統計	124
山火事予防活動	124
資料	
人事異動	126
予算配分と収入	
予算配分	127
収入	127
演習林林産収入細分表	127
組織図	
本部(研究部)	128
千葉演習林	129
北海道演習林	130
秩父演習林	131
愛知演習林	132
富士演習林	133
樹芸研究所	133
田無試験地	133
付録	
管理業務実行位置図	136
管理面積集計表	143
林相別蓄積集計表	143
立木伐採量	144
育林実行量	145
植栽樹種	145
素材生産総括表	146
土木実行総括表	146
道路現況	146
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 同縮尺図	148
各演習林所在地及び連絡先	150
演習林活動の統計	151
教職員の写真	153

演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899)、秩父演習林(1916)、愛知演習林(1922)、富士演習林(1925)、樹芸研究所(1943)、田無試験地(1929)が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科の他の附属施設(農場、牧場、水産実験所、動物医療センター、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林(通称:科学の森教育研究センター)は7つの地方演習林と研究部から構成され、研究部を中心に演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、各地方演習林独自の試験研究計画にもとづいて多くの教職員等が共同で管理する森林や多数の試験地によって支えられ教育研究および社会連携を進めている。

【地方演習林・研究部の概要】

千葉演習林は暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査、研究を幅広く行っている。

北海道演習林は亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用している。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」が実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあり、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

愛知演習林は崩壊の起きやすい花崗岩地域に設けられた総面積1,300haの演習林である。生産性の低い立地における森林水文ならびに森林植生回復に関する研究を主に行っている。70年にわたる量水観測は、わが国における土壤保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割を果たしてきた。また今日では、都市近郊林としての保健休養・環境保全機能や、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力面でも貢献が出来ると考えている。

富士演習林は富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究や演習林内に泉源を持つ温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示を行っている。

田無試験地は本学農学部キャンパスに近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや、土地が平坦なことから造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている研究部は東京大学演習林の教育研究活動の中心であり、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、森林科学関連学術雑誌の図書館機能、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

■ 演習林の活動 ■

■教育活動■

大学院講義等

大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋				森林圏生物動態学
鎌田直人	後藤 晋				森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕				森林遺伝子機能開発学
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
斎藤 馨	安村直樹	藤原章雄			森林圏管理システム学
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学演習
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也		持続的森林圏経営論
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子	森林流域管理学
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子	森林流域管理学演習
山本博一	山田利博	鎌田直人	石橋整司	芝野博文	
鴨田重裕	後藤 晋	蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	生圏システム学実験・研究
安村直樹	浅野友子				

森林科学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
石橋整司					森林生態圏管理学特論
斎藤 馨	安村直樹	藤原章雄			森林圏管理システム学
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也		持続的森林圏経営論
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子	森林流域管理学
山田利博	鴨田重裕				森林遺伝子機能開発学
山本博一	山田利博	鎌田直人	石橋整司	芝野博文	
鴨田重裕	後藤 晋	蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	森林科学特別実験
安村直樹	浅野友子				
山本博一	山田利博	鎌田直人	石橋整司	芝野博文	
鴨田重裕	後藤 晋	蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	森林科学特別演習
安村直樹	浅野友子				

生圏システム学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋				森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕				森林生物機能学特別演習
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学特別演習
山本博一	芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子	森林流域管理学特別演習
山本博一	山田利博	鎌田直人	石橋整司	芝野博文	
鴨田重裕	後藤 晋	蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	生圏システム学特別実験・研究
安村直樹	浅野友子				

森林科学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕		森林生態圏管理学特別演習 I
山本博一	石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	廣嶋卓也	森林生態圏管理学特別演習 II
尾張敏章	安村直樹	浅野友子			
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕		森林生態圏管理学特別実験 I
山本博一	石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	廣嶋卓也	森林生態圏管理学特別実験 II
尾張敏章	安村直樹	浅野友子			
山本博一	福田健二	斎藤 馨			森林生態社会学特別演習
山本博一	福田健二	斎藤 馨			森林生態社会学特別実験

農学部講義・演習・実験実習

教員名		講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・学期
山本博一 石橋整司 嶋田重裕 廣嶋卓也	山田利博 芝野博文 後藤 晋 安村直樹	鎌田直人 蔵治光一郎 尾張敏章 浅野友子	森林科学概論 応用生命科学課程・環境資源科学課程	3年次・冬学期
山本博一 石橋整司 嶋田重裕 廣嶋卓也	山田利博 芝野博文 後藤 晋 安村直樹	鎌田直人 蔵治光一郎 尾張敏章 浅野友子	森林生態圏管理学 応用生命科学課程・環境資源科学課程	3,4年次・夏学期
永田信	古井戸宏通	安村直樹	森林政策学 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
富樫一巳 前原 忠	久保田耕平	加賀谷隆	森林動物学実験 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 楠本 大	益守真也 久本洋子	大澤裕樹	造林学実験 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
永田 信 竹本太郎	古井戸宏通 齋藤暖生	安村直樹	森林政策学演習 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
鈴木雅一 蔵治光一郎	芝野博文 堀田紀文	大手信人 田中延亮	測量学実習 森林環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 鈴木 牧	益守真也	大澤裕樹	森林土壌学実験 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
鈴木雅一 堀田紀文	大手信人 浅野友子	蔵治光一郎	森林保全学実習 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
白石則彦 藤原章雄	龍原 哲	廣嶋卓也	森林経理学実習 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
横川昇二 山本清龍	小野良平	伊藤弘	環境設計演習 森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
龍原 哲	廣嶋卓也	藤原章雄	森林計測学実習 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・冬学期
下村彰男 山本清龍	小野良平	伊藤弘	森林風景計画実習 森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・夏学期
嶋田重裕 井上広喜	廣嶋卓也 山本清龍	浅野友子	森林実習 国際開発農学専修	3年次・夏学期

教養学部講義・演習

教員名		講義名	開講学期	
石橋整司 齋藤暖生	前原 忠 井上広喜	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	夏学期	
石橋整司 藤原章雄	山本清龍 齋藤暖生	全学体験ゼミナール「森林の保健休養機能～癒しの空間を考える～」	夏学期	
山田利博 鈴木 牧	石田 健 廣嶋卓也	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	夏学期	
鎌田直人 齋藤暖生	鈴木 牧 藤原章雄	全学体験ゼミナール「関東の秘境でフィールドワーク入門」	夏学期	
安村直樹	齋藤暖生	竹本太郎	全学体験ゼミナール「豊かな森のスローライフ」	夏学期
尾張敏章	坂上大翼	全学体験ゼミナール「北海道の自然環境と森づくり」	夏学期	
芝野博文	田中延亮	全学体験ゼミナール「里山の自然を訪ねて」	夏学期	
嶋田重裕	井上広喜	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(伊豆)」	夏学期	
嶋田重裕		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	夏学期	
嶋田重裕	岡本 研	井上広喜	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ1」	夏学期
嶋田重裕	井出雄二	井上広喜	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ2」	夏学期
安村直樹 前原 忠	楠本 大 山本清龍	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験」	夏学期	
嶋田 透 勝間進 富樫一巳 宮下 直	田付貞洋 長澤寛道 久保田耕平	石川幸男 永田晋治 鎌田直人	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	夏学期

教員名			講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・学期
沖大幹 城所哲夫 小池俊雄 芦刈俊彦 佐藤千鶴	中山幹康 吉村和就 大熊孝 徳永朋祥	滝沢智 橋本和司 蔵治光一郎 西村弘	総合科目D(人間・環境一般)「世界の水安全保障と日本の貢献ー問題解決へ向けた「水の知」ー」		夏学期
鴨田重裕			総合科目D(人間・環境一般)「伊豆に学び伊豆に思い、伊豆に思いまた伊豆に学ぶ」		夏学期
石橋整司 山本清龍	蔵治光一郎 藤原章雄	安村直樹 齋藤暖生	総合科目D(人間・環境一般)「森林ー人間系の科学」		夏学期
蔵治光一郎			総合科目D(人間・環境一般)「ダムと森林」		夏学期
安村直樹	齋藤暖生		総合科目D(人間・環境一般)「薪(まき)ストーブの社会経済学」		夏学期
富樫一巳 鎌田直人 松下範久	丹下 健 久保田耕平	寶月岱造 益守眞也	総合科目D(人間・環境一般)「森の生物学: 共存する森林生物」		夏学期
芝野博文	尾張敏章	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶー北海道演習林」		冬学期
後藤晋 楠本 大	齋藤暖生 奈良一秀	前原 忠	全学体験ゼミナール「キノコに親しむーキノコと森、人とのつながりを学ぶー」		冬学期
山田利博	廣嶋卓也	久本洋子	全学体験ゼミナール「房総の森で木づかいを学ぶ」		冬学期
鴨田重裕	下村彰男	井上広喜	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」		冬学期
鴨田重裕	下村彰男	井上広喜	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」		冬学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系、さらに伊豆に学ぶ」		冬学期
蔵治光一郎 坂上大翼	田中延亮	山本清龍	全学体験ゼミナール「マツ・オン・ザ・ビーチー現代的白砂青松論」		冬学期
蔵治光一郎	田中延亮		全学体験ゼミナール「ダムと土砂」		冬学期
石橋整司	露木 聡		全学自由研究ゼミナール「古典落語から知る江戸の自然・文化」		冬学期
鴨田重裕			総合科目D(人間・環境一般)「伊豆に学ぶプラス」		冬学期
安村直樹	齋藤暖生		総合科目D(人間・環境一般)「森のエネルギーを使いこなす」		冬学期
鎌田直人	鈴木 牧	平尾聡秀	総合科目D(人間・環境一般)「長期生態系研究入門: 観測データで覗く森林生物のダイナミクス」		冬学期
石橋整司 山本清龍	露木 聡	藤原章雄	総合科目D(人間・環境一般)「森をはかる」		冬学期

他大学の非常勤講師等

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2,3,4	東京造形大学
安村直樹	地域林業振興論	地域政策学部		2,3,5	高崎経済大学
齋藤暖生	演習 I 1 (ゲストスピーカー)	文学部		2	立教大学
齋藤暖生	地域資源管理論	文学部	社会学科	2,3,4	都留文科大学
齋藤暖生・千島茂・ 西山教雄	地域資源管理・環境保全学実習	文学部	社会学科	2,3,4	都留文科大学
齋藤暖生	地域コモンズ論	人間環境学部		2,3,4	法政大学

招待講演・講師の派遣等

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	桂川相模川流域協議会総会	桂川相模川流域協議会	サン・エールさがみはら	5/22
蔵治光一郎	とよた森林学校 森林セミナー	豊田市森林課・豊田森林組合	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	5/30
尾張敏章	東京大学北海道演習林の林分施業法	北海道大学森林生態系管理学研究室	北海道演習林	6/2
尾張敏章	林業機械化と高性能林業機械の効率的作業	社団法人北海道造林協会	北海道総合研究機構 林業試験場	6/16
楠本 大・安村直樹・前原 忠・栗田直明・鶴見康幸	身近な樹木に親しもう	保谷駅前公民館	保谷駅前公民館、田無試験地	6/16、6/30、7/28、8/18、11/17、11/24、12/1、12/8
尾張敏章	世界の木材のマーケティングと森林認証	独立行政法人国際協力機構(JICA)	JICA札幌	6/18
蔵治光一郎	丸山湿原公開報告会 森と水と湿原の関係	丸山湿原群保全の会	宝塚市東公民館	6/20
尾張敏章	天然施業技術を活用した林分施業法	独立行政法人国際協力機構(JICA)	北海道演習林	6/28
三次充和	君津市スクールミュージアム事業「水生生物観察会」	君津市教育委員会	君津市立蔵玉小学校	7/10
蔵治光一郎	生命流域シンポジウム	CBD市民ネット	名古屋市民御岳休暇村	7/18
山田利博・廣嶋卓也・久本洋子・三次充和	高校生のための森と海のゼミナール	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	千葉演習林、千葉大学海洋バイオシステム研究センター	7/27-7/29
坂上大翼・犬飼 浩・木村徳志・福岡 哲	文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業・道内視察研修(自然・環境)「北海道の針広混交天然林の構造」	北海道札幌啓成高等学校	東京大学北海道演習林	7/30
尾張敏章	東京大学北海道演習林の森林景観	東京大学社会基盤学科景観研究室	北海道演習林	8/4
尾張敏章	東京大学北海道演習林の天然林管理	国際森林研究機関連合(IUFRO)第5部会第10研究グループ	北海道演習林	8/19
楠本 大・安村直樹・前原 忠・栗田直明・鶴見康幸	世界に一つの樹木図鑑を作ろう	保谷駅前公民館	田無試験地	8/29
尾張敏章	東京大学北海道演習林の天然林施業	NHK出版	北海道演習林	9/1
尾張敏章	東京大学北海道演習林のカラマツ高齢人工林	鶴居村森林組合	北海道演習林	9/2
蔵治光一郎	山と木を見るツアー	きんき民家塾	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	9/4
尾張敏章	東京大学北海道演習林の天然林施業	東京大学森林経理学研究室	北海道演習林	9/6-9/9
蔵治光一郎	東大水フォーラム合宿	東大水フォーラム	東京大学北海道演習林	9/9-9/12
蔵治光一郎	シンポジウム「森林資源の多様性と山村再生-「森林・林業再生プラン」の国民的議論を-」	財団法人林業経済研究所	東京大学弥生ホール	9/25
蔵治光一郎	リレー学際トーク 未来へつなげる自然再生18大学野生生態系ネットワークづくり	愛知工業大学・愛知県	愛知工業大学八草キャンパス	10/3
蔵治光一郎	森づくりシンポジウム	豊田市森林課	足助交流館 飯盛座	10/24
廣嶋卓也・久本洋子・井口和信・三次充和	鴨川市天津小学校・緑の教室	千葉演習林	千葉演習林	10/26
尾張敏章	北方天然林の持続的管理:東京大学北海道演習林における50年間の実践	東京大学AGS推進室	東京大学	10/28
齋藤暖生	財産区制度の沿革と現代的問題	上田市別所温泉財産区条例改正検討会	別所温泉財産区事務所	11/2
蔵治光一郎	日中異分野研究交流会	独立行政法人科学技術振興機構	中国福建省福州市	11/2-6
齋藤暖生	森林整備がツーリズムに寄与する可能性	山中湖村エコツーリズム推進協議会	山中湖村役場	11/12

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	なごや環境大学「庄内川水系・水のつながり」	藤前干潟を守る会	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	11/20
蔵治光一郎	ふるさとの森講演会	西播磨地区林業改良普及協会	上郡町生涯学習支援センター 大ホール	11/27-11/28
蔵治光一郎	自然環境推進員ステップアップ講座	春日井市環境課	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	11/29
尾張敏章	林産物マーケティング学に関する教育研究の動向	木材利用システム研究会	東京大学農学部	12/6
蔵治光一郎	JSPS international forum on Climatic Change in Monsoon Asia (CCMA)	JSPS Bangkok Office	Siam City Hotel, Bangkok	1/7
尾張敏章・磯崎靖雄・高橋功一・福岡 哲	東京大学北海道演習林の天然林管理	統計数理研究所数理・数論研究系、札幌医科大学医学部数学教室、ポルトガル・エボラ大学	北海道演習林	2/23
平尾聡秀	微生物から捉える水環境の物質循環と環境保全	低温科学研究所	北海道大学	2/23
蔵治光一郎	伊勢湾再生流域圏研究会第4回研究会	伊勢湾再生流域圏研究会	名古屋大学野依記念講堂	3/15
齋藤暖生	外部者としての研究者が地域問題に関わる意義と限界	特定領域科研「グローバル時代のローカル・コモンスの管理」	豊田市立稲武中学校	3/19

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回(2010年4月23日(金)13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態社会学研究室)

白石則彦(演習林長) 我が国の森林計画制度を考える

齋藤暖生(富士演習林) 岩手県西和賀町における薪ストーブ利用拡大の試み

山本清龍(愛知演習林) 富士登山者の登山口選択とその理由

蔵治光一郎(愛知演習林) Walker循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成

五名美江(特定研究員) 演習林・熱帯雨林の試験流域における生物地球科学研究

溝口準平(農学共同研究員) 国内ダム撤去事例の概要と課題

第2回(2010年5月21日(金)13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室)

鎌田直人(秩父演習林) カシノナガキクイムシ集合フェロモンの微量成分

Sunisa Sanguansap(生圏博士2年) Ambrosia Beetle Guild Attacking Deciduous Oak Trees (*Quercus serrata*) in Relation to Oldness of Wood, Seasonality, and Biological Condition;

久本洋子(千葉演習林) 一斉開花を起こしたモウハイチクおよびトウオカメザサの生活史における花成遺伝子群の単離と発現解析

後藤晋(演習林研究部) 低密度個体群におけるヘテロダイコガミー樹木オニグルミの交配様式と花粉散布

鈴木牧(秩父演習林) シカの影響下で衰退した暖温帯二次林の下層植生を修復する

第3回(2010年6月25日(金)13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林生物機能学研究室)

石野貴久(生物材料) タキソール生産性樹木内生菌の同定とその遺伝子的解析

寺田珠実(生物材料) Rhizoctonia抑制活性をもつ微生物ならびに産生赤紫物質の性質を探る

鴨田重裕(樹芸研究所)

第4回(2010年7月16日(金)13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏流域管理学研究室)

芝野博文(北海道演習林) 天然林施業がもたらす生態系サービスとしての溪流水質・水温・流量とその空間分

浅野友子(演習林研究部) 山地における降雨-流出の実態と斜面から流域へのスケールアップ

田中延亮(愛知演習林) 愛知演習林犬山研究林での遮断研究とその周辺について

第5回(2010年9月17日(金)13:00-17:00/農学部1号館1階 7番教室/スペシャルセミナー/教育推進委員会)

齋藤暖生・鈴木牧(演習林教育推進委員会) イントロ「二次林の機能保全と持続的利用」

新田一仁(生圏システム) 暖温帯の広葉樹二次林のいま —南伊豆の林を歩いて—

渋谷園実(新領域・自然環境学) 二次林の植生管理が植物と地表徘徊性甲虫群集に与える影響

齋藤暖生(富士演習林) 『あの頃の薪炭林』は戻ってくるか? —薪炭利用の近代史と現代における薪炭材事情—

鴨田重裕(樹芸研究所) 二次林を教材に演習林は何を伝えることができるか

第6回(2010年10月29日(金)13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態社会学研究室)

秋廣(佐竹) 敬恵(演習林研究部) 地域社会における住民参加・パートナーシップによる森林管理・利用システム —リーダーシップと主要な関係者の役割—

陳元君(生圏博士1年) 中国海南省における熱帯林自然保護区の住民連携型管理手法に関する研究

安村直樹(田無試験地) 田無試験地における環境教育研究の可能性

石橋整司(演習林研究部) 富士演習林寒地性樹種育成試験諸々

藤原章雄(富士演習林) ロボットカメラの長期映像記録からの樹木フェノロジー情報の抽出について

齋藤馨(新領域・自然環境学) 秩父演習林大プロネットワーク状況及び定点カメラ撮影結果譜

第7回(2010年11月26日(金)13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室)

石塚航(森林博士2年) トドマツ局所適応集団の寒さへの適応 (Cold tolerance and its variation among locally adapted population in *Abies sachalinensis*)

Pinkantayong, Panisara(森林博士1年) Pupal mortality of the larch sawfly: ways to distinguish generation of cocoons

岡田桃子(森林修士1年) エゾマツとアカエゾマツの高山環境に対する適応実態とその遺伝的メカニズムの解

石田健(生圏システム) ミズナラの結実動態の長期モニタリングと高標高地(山地~亜高山移行帯)における鳥類群集の長期モニタリング -進化と応用-

小泉紀彰(森林修士1年) 熱源トラップを用いたヤマビル(*Haemadipsa zeylanica japonica*)の分布推定

Thwe Thwe Win(生圏修士1年) Genetic structure of Teak from provenance trial using SSR marker in Myanmar

第8回(2010年12月17日(金)/13:00-17:15/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林生物機能学研究室)

井上広喜(樹芸研究所) マツ枯れ抵抗性クロマツにおける抵抗性関連物質の探索

楠本大(田無試験地) 材線虫病の解剖学

坂上大翼(北海道演習林) エゾマツ青変病における水分通道阻害の発生機構:キャビテーション発生と表面活性物質生産の可能性

松井優一(生圏修士1年) 材線虫病抵抗性アカマツにおけるマツノザイセンチュウの移動パターン

松岡健二郎(森林修士2年) 建築環境総合性能評価システム(CASBEE)は持続的に生産された木材の利用を促進するか? -CASBEEすまいを対象とした分析-

第9回(2011年1月21日(金)/13:00-17:15農学部1号館2階 森林科学会議室/森林流域管理学研究室)

広嶋卓也(千葉演習林) 樹齢解析にもとづく天然林の収穫予測-千葉演習林 針広混交林の事例-

尾張敏章(北海道演習林) 国内外における林業機械化の動向

松岡健二郎(森林修士2年) 建築環境総合性能評価システム(CASBEE)は持続的に生産された木材の利用を促進するか? -評価配点とアンケート調査による分析-

土肥和貴(森林修士1年) 間伐遅れのヒノキ人工林の樹冠遮断量-シート雨量計を用いた観測結果から-

滝川寛之(森林学部4年) 地がき地の環境がウダイカンバの更新におよぼす影響

第10回(2011年2月18日13:00-16:15農学部1号館2階 森林科学会議室/教育推進委員会)

田中延亮(愛知演習林) 演習林に眠る長期気象データ-気象データ解析研究会の取り組み紹介-

平尾聡秀(秩父演習林) 冷温帯林における樹木群集の系統的多様性の標高勾配

山田利博(千葉演習林) NRGによる木部の反応帯形成の経過観察

第11回(2011年3月4日14:00-17:10農学部1号館1階7番教室/技術職員研究発表)

原口竜成ほか(秩父演習林) 秩父演習林におけるサワラ人工林固定測定地の成長解析

辻和明ほか(樹芸研究所) クスノキ人工林の管理手法及び萌芽更新

西山教雄(富士演習林)ほか 富士演習林における景観林施業が植生に及ぼす影響

栗田直明ほか(田無試験地) 田無試験地に隣接する民地にかかる樹木の伐採計画

岡平卓己ほか(北海道演習林) 北海道演習林における野鼠発生予察11年間の調査結果

演習林研究部ゼミ

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第1回	2010.4.17	梯 公平	ヒメボタル幼虫の基礎生態の解明～局所分布と活動性および移動分散～
第2回	2010.4.30	松井 優一	卒論研究の紹介および今後の研究について
		土肥 和貴	東京大学愛知演習林における表面流発生と土砂生産・流出機構
第3回	2010.5.7	滝川 寛之	卒論研究～地表かき起こしによるウダイカンバ二次林資源の再生に関する研究～
第4回	2010.5.14	石塚 航	研究計画～樹木の局所における適応進化の実態に迫る～
		Thwethwe Win	チークのポリネーションについて
第5回	2010.6.4	Sunisa Sanguansub	Ambrosia beetle guild attacking deciduous oak trees Quercus serrata in relation to freshness of wood, seasonality and biological conditioning
		小泉紀彰	ヤマビル (HAEMADIPSAS ZEYLANICA JAPONICA) の分布と生息環境に関する
第6回	2010.6.11	佐竹敬恵	地域社会における住民参加・パートナーシップによる森林管理・利用システム—博士論文の概要と今後の課題—
		松岡 健二郎	CASBEEすまいが持続可能な森林から産出された木材市場に与える影響
第7回	2010.6.18	岡田 桃子	修士論文の研究計画～標高に沿って分布するエゾマツの適応的な形質および遺伝子に関する研究～
第8回	2010.7.2	Trifkovic Stanko	Spatial distribution of old-growth stands and patterns of fagaceous trees at The Tokyo University Forest in Chiba
		陳元君	中国における熱帯林自然保護区の管理手法; 海南島を例に
第9回	2010.7.9	Panisara Pinkantayong	Population Dynamics of Larch Sawfly: Interactions with host plants and natural enemies (ハバチの個体群動態: 寄主植物と天敵との関係)
		Win Thwethwe	Genetic studies of Myanmar Teak (ミャンマー産チークの遺伝学的研究)
第10回	2010.10.22	Win Thwethwe	Chloroplast DNA marker of teak (チークの葉緑体DNAマーカーについて)
		土肥 和貴	過密ヒノキ人工林の間伐が樹冠遮断量に及ぼす影響の観測と解析
第11回	2010.11.5	梯 公平	ヒメボタルの広域分布; 生息条件の解析と分布推定
		滝川 寛之	地がき処理がウダイカンバの更新に及ぼす影響
第12回	2010.11.12	陳元君	東南アジアにおける保護地域管理制度の課題
第13回	2010.11.19	松井 優一	材線虫病抵抗性アカマツにおけるマツノザイセンチュウの移動パターン
第14回	2010.12.3	松岡 健二郎	企業のCASBEEすまい利用と、制度の「持続可能な森林から産出された木材」利用への影響力
第15回	2010.12.10	Sunisa Sanguansub	中部日本の3地域におけるコナラ食性キクイムシのギルド構造; 材の古さと季節性に関連して (Guild structure of ambrosia beetles attacking a deciduous oak tree (Quercus serrata) in relation to wood oldness and seasonality in three locations in the Central Japan)
第16回	2011.1.7	梯 公平	ヒメボタルの分布と行動に関する研究
		松岡 健二郎	建築環境総合性能評価システム(CASBEE)は持続的に生産された木材の利用を促進するか? —CASBEEすまいを対象とした分析—
第17回	2011.1.14	陳元君	中国海南省の自然保護区管理における問題点
		岡田 桃子	エゾマツとアカエゾマツの耐凍性獲得フェノロジーとその戻し交雑家系における遺伝様式
第18回	2011.2.4	土肥 和貴	管理放棄されたヒノキ人工林における樹冠遮断量—今年度の測定結果—
		松井 優一	材線虫抵抗性アカマツにおけるマツノザイセンチュウの分布
第19回	2011.3.4	石塚 航	標高勾配に沿った適応の原動力となる適応的形質は何か? —トドマツ標高別集団における検証—

特別講座

回	月日	発表者氏名	講座タイトル
第1回	2010.6.14	後藤 晋 (研究部)	R講習; インストラクション
第2回	2010.7.2	齋藤 暖生 (富士演習林)	聞き取り調査入門
第3回	2010.9.24	安村 直樹 (田無試験地)	アンケート調査入門
第4回	2010.10.8	藤原 章雄 (富士演習林)	デジタルロガー入門
第5回	2010.10.22	楠本 大 (田無試験地)	デザイン入門
第6回	2010.11.5	鈴木 牧 (秩父演習林)	実験計画入門
第7回	2010.11.19	広嶋 卓也 (千葉演習林)	GIS入門
第8回	2010.12.3	後藤 晋 (研究部)	論文執筆講座

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	自然環境野外総合実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	40	4月	2
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	18	5月	5
千葉	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系3専修	3・4年	15	5月	3
千葉	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林系2専修	4年	12	5月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	教養学部		1・2年	29	6月	1
千葉	東京大学	持続的森林圏経営論 現地講義	農学生命科学研究科	森林科学専攻	M1-D3	8	7月	3
千葉	京都大学	課題演習E1/地質調査法野外実習	理学研究科	地質学鉱物学教室	3年	10	8月	6
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「野生動物の保護管理」	教養学部		1・2年	13	9月	5
千葉	静岡大学	地質調査法実習Ⅱ	理学部	地球科学科	学生	16	10月	5
千葉	東京大学	森圏管理学実験	農学部生圏システム学専攻		3年	9	11月	2
千葉	東京大学	森林計測学実習	農学部	森林経理学研究室	3年	7	12月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「房総の森で「木づかい」を学ぶ」	教養学部		1・2年	4	2月	4
千葉	東京学芸大学	地質調査 練習	環境科学分野		学生	9	3月	3
北海道	北海道大学	研究室巡検における演習林の見学およびディスカッション	農学院環境資源学専攻	森林生態系管理学	4年-院生	19	6月	2
北海道	東京大学	天然林の管理に関する学習	大学院新領域創成科学研究科	自然環境専攻	卒業生	21	6月	3
北海道	東京大学	東大附属中東教育学校 61回宿泊研修北海道コース	教育学部附属中等教育学校		高校2年	35	7月	4
北海道	北海道札幌啓成高等学校	SSH道内視察研修(汎針広混交林について植生調査等を通じて理解を深める)		理化教科	高校1年生	14	7月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミ「森に学ぶ(ふらの)」	大学院農学生命科学研究科	樹芸研究所	1・2年	9	7月	4
北海道	東京大学	森林景観を考える	大学院工学系研究科	社会基盤学専攻景観研究室	4年-院生	20	8月	2
北海道	東京大学	演習(テーマ:自然と文明)	大学院総合文化研究科		院生	2	8月	2
北海道	東京大学	森林経理学実習ほか	大学院農学生命科学研究科	森林生物科学	4年-院生	14	9月	4
北海道	総括プロジェクト機構	東大水フォーラム合宿			1・2年	20	9月	1
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部		1・2年	12	9月	4
北海道	東京大学	森林圏流域管理学講義	大学院農学生命科学研究科	附属演習林-北海道演習林	修士1年	7	10月	4
北海道	とわの森三愛高校	北海道の森林・シカの食害・生態系保護と獣医師の役割	獣医進学コース		高校生	17	10月	1
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ」～北海道演習林	教養学部		1・2年	26	3月	3
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	学生	5	4月	3
秩父	東京大学	森林土壌学実習	農学部	森林系2専修	学生	4	5月	4
秩父	秩父市立影森中学校	林間学校			中学2年	90	5月	1
秩父	東京大学	総合科目「薪(まき)ストーブの社会経済学」	教養学部		学生	16	5月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	教養学部		学生	30	6月	2

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
秩父	早稲田大学	フィールドワーク実習	人間科学部	人間環境学科	学生一院生	21	7月	2
秩父	秩父市立秩父第一中学校	職場体験			中学生	4	7月	3
秩父	埼玉県立寄居城北高等学校	SPP事業「荒川の環境」の一環としての生徒実習			高校生	20	7月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「関東の秘境でフィールドワーク入門」	教養学部		学生	1	8月	4
秩父	共栄学園中学・高等学校	森林体験実習			中学生	4	8月	3
秩父	東京都立墨田川高等学校	生物実習「森と川を考える」			高校生	16	8月	1
秩父	首都大学東京	動物系統計学野外実習	理工学研究科	生命科学専攻	学生	20	8月	4
秩父	立正大学	学生実習(フィールドワークII A)	地球環境科学部	環境システム学科	学生	17	8月	4
秩父	東京大学	森林政策学演習	農学部	森林系2専修	学生	14	8月	4
秩父	東京大学	森林生態学野外実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	8	9月	3
秩父	東京大学	森林植物学実験 野外実習	農学部	森林系2専修	学生	16	9月	4
秩父	秩父市立尾田蒔中学校	原生林や溪流の素晴らしさと環境との関わりを学ぶ			中学1-3年	13	9月	1
秩父	東京大学	森圏管理学実習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生	11	9月	4
秩父	東京大学	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学部	生物素材化学専修・木質構造科学専修	学生	14	10月	3
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	5	10月	2
秩父	東京大学	総合科目「長期生態系入門」	教養学部		学生	1	11月	2
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	8	11月	2
秩父	秩父市立大滝小学校	総合的な学習における体験学習			小学3・4年	8	11月	1
秩父	東京大学	総合科目「長期生態系入門」	教養学部		学生	1	12月	2
秩父	東京大学	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		学生	15	12月	2
愛知	東京大学	全学体験ゼミナール「里山の自然を訪ねて」	教養学部		1・2年	18	5月	4
愛知	東京大学	総合科目D「ダムと森林」	教養学部		1・2年	28	6月	3
愛知	東京大学	森林保全学実習	農学部		4年	15	6月	3
愛知	東京大学	測量学実習	農学部		3年	7	9月	5
愛知	東京大学	森林圏生態社会学研究室ゼミ	農学生命科学研究科			1	10月	2
愛知	名古屋大学	生物環境科学基盤実験実習	農学部	生物環境科学科	2年	38	10月	1
愛知	東京大学	全学体験ゼミナール「マツ・オン・ザ・ビーチ」	教養学部		1・2年	5	2月	3
愛知	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂」	教養学部		1・2年	5	2月	3
富士	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学生命科学研究科	附属演習林		3	5月	2
富士	都留文科大学	地域資源管理・環境保全実習	社会学科	環境・コミュニティ創造専攻	3-4年	7	5月	2
富士	東京大学	環境設計演習	農学生命科学研究科	森林科学専攻		5	6月	2

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
富士	都留文科大学	地域資源管理・環境保全実習	社会学科	環境・コミュニティ創造専攻	3・4年	7	7月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミ「森林の保育休養機能」	教養学部		1・2年	2	8月	4
富士	東邦大学	野外基礎実習	理学部	不明	1年	28	9月	3
富士	東京大学	フィールド演習	工学系研究科	社会基盤学専攻		61	9月	5
富士	都留文科大学	地域資源管理・環境保全実習	社会学科	環境・コミュニティ創造専攻	3・4年	7	11月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミ「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1・2年	15	12月	2
富士	都留文科大学	地域資源管理・環境保全実習	社会学科	環境・コミュニティ創造専攻	3・4年	7	12月	2
樹芸	静岡県立下田高校南伊豆分校	就業体験実習			高校生	1	6月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ」1	教養学部		1・2年	31	8月	4
樹芸	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	23	8月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ」2	教養学部		1・2年	35	9月	4
樹芸	東京大学	森林管理学実習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生他	13	9月	1
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ」	教養学部		1・2年	24	9月	4
樹芸	静岡県立下田高校南伊豆分校	就業体験実習			高校生	1	10月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」1	教養学部		1・2年	24	2月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」2	教養学部		1・2年	28	2月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶ」	教養学部他		1-4年	15	3月	4
田無	東京大学	造林学実験	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻造林学研究室	3年	18	4・7月	3
田無	東京大学	森林動物学実験	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻森林動物学研究室	3年	14	5・9月	2
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部		1・2年	5	5・6月	3
田無	東京大学	全学体験ゼミナール	教養学部		1・2年	15	10月	2
田無	東京大学	フィールド農学実習	大学院農学生命科学研究科	緑地環境学専修	3年	24	9月	1
田無	白梅学園短期大学	保育内容 環境		保育科	1・2年	21	4月	3
田無	白梅学園短期大学	保育内容 環境		保育科	1・2年	25	11月	2
田無	東久留米市立南中学校	総合学習・中学2年生・職場体験・地域の職場を体験する			中学2年	5	7月	2
田無	東京大学教育学部附属中等教育学校	総合学習入門「フィールドワーク」			中学1年	20	6-3月	13
田無	西東京市立住吉小学校	生活科授業			小学2年	108	10月	1
田無	東久留米市立第五小学校	生活科授業			小学1年	101	10月	1
田無	東京大学教育学部附属中等教育学校	課題別学習の授業			中学3・4年	38	11月	2
田無	自由学園初等部	生活科授業			小学1年	40	11月	1
田無	自由学園幼児生活団幼稚園	遠足(秋を探そう)			園児	29	11月	1

■研究活動■

地方演習林研究活動報告

千葉演習林

持続可能な人工林経営を実践する理論と技術の高度化

千葉演習林では、スギ・ヒノキを中心とした 800ha を超える人工林を持続的に経営することを最も重要な課題と位置づけ、これを実現するため、以下を実施した。

- 1) 高齢林の皆伐を行うとともに、植付、枝打ち、除伐、間伐などの保育作業を行い、多様な齢級構成の維持に努めた。
- 2) 人工植栽に必要な苗畑、採種園を維持し、遺伝的に均質な試料の確保に努めた。
- 3) 2010-2014 年の 5 年間の皆伐・間伐計画を策定し、また森林現況簿を最新の情報に更新し、森林施業計画の認定を受けた。
- 4) 2007-2012 年の 6 年間の間伐林分が吸収する約 1,500 トンの CO₂ について、クレジット化を目指して J-VER プロジェクトに登録した。

マツ材線虫病抵抗性マツの育種に関する研究

マツ材線虫病に対する抵抗性育種を進めており、1983 年にアカマツ採種園を造成して、抵抗性実生苗木の生産を行っている。一部のクローンが材線虫病被害により失われたことから、多くの抵抗性個体を集めた採種園による多様性の高い実生苗木生産を維持するために、2001 年より新たな抵抗性候補個体の選抜を実施しており、6 クローンを新たに採種園に追加した。実生苗に加えてさし木増殖を図るための試験も進めている。2010 年度の結果ではクロマツ、アイグロマツでは発根率が高かったが、アカマツでは低く、条件を改良したさし木試験を 2011 年度に向けて実施した。

また、抵抗性クロマツの育成のため千葉県森林研究所と共同研究を実施しており、2010 年度は 2009 年度に引き続き千葉県内で選抜したクロマツの抵抗性候補個体の評価のための接種試験を実施し、千葉演習林で事前に選抜した 2 クローンが一次選抜に合格した。一次選抜に合格したクローンについては、林木育種センターにおいて二次選抜を実施し、クロマツについても国レベルの抵抗性個体の選抜を行う予定である。さらに、クロマツについては千葉県森林研究所と共同で海岸植栽の抵抗性評価試験を 2009 年度に引き続き実施した。

房総丘陵におけるヒメコマツ個体群の保全

房総丘陵に隔離分布するヒメコマツ個体群は、最終氷期後に局所的に残った遺存分布と考えられ、房総半島の地史的・植物地理学的観点から大変貴重である。しかし、1970 年以降マツ材線虫病などの複数の要因により個体数が激減し、2008 年には千葉県生物多様性戦略における最重

要保護生物に指定された。また、成木が孤立し花粉流動が少ないために、他殖の稔性種子が生産されないことも問題となっている。そこで、千葉演習林では千葉県内の行政・研究機関等と共同で千葉県ヒメコマツ保全協議会を設立し、2010年3月に千葉県ヒメコマツ回復計画を策定した。2010年度には、以下の項目を実施した。

- 1) 現存の天然成木に対するマツ材線虫病の予防として薬剤の樹幹注入試験を行った。
- 2) 天然個体の繁殖状況をモニタリングするため、球果の採集および種子の選別を行った。
- 3) 演習林苗畑で維持・管理している系統保存個体の接ぎ木苗や実生苗を無償配布用として君津市へ提供した。
- 4) さし木試験を行ない、効率的な増殖技術の開発を試みた。
- 5) 人工交配苗を生育地域外に試験植栽した。

広葉樹二次林に対するニホンジカの影響メカニズムの解明

薪炭林の利用放棄によって生じた広葉樹二次林の生態系は、現在ニホンジカの個体群密度の増加による植生の衰退と林相の過熟高齢化という問題に直面している。千葉演習林では、2007年より広葉樹二次林の森林生態系に対するニホンジカの影響メカニズムの解明と効果的な生態系修復方法の開発を目的に、上木伐採の有無およびシカ防除柵の有無を組み合わせた調査区を演習林内に3ヵ所設け、更新動態、下層植生、土壌流亡、土壌生物等の調査を定期的に行っている。2010年度には、各調査区における土壌動物相をハンド・ソーティング法およびツルグレン法によって調査した。

シカ生息数調査

千葉演習林では1980年代からシカによる食害が認められるようになり、新植地にシカ排除柵の設置が必要になってきた。そこで、シカ対策の基礎資料をえるため、1986年および、1991年以降毎年シカ生息数調査を実施している。清澄地区(228ha)、郷台地区(366ha)、札郷地区(173ha、1996～2005年は335ha)について区画調査法により調査を行っている。その結果、1990年代5.2～15頭/k m²、2000年代4.4～12頭/k m²の生息数を確認し(この値は最低確認頭数であり、実際生息頭数はこれより多いと思われる)、最近減少傾向は認められるものの、森林被害が発生するとされる頭数以上の生息数が確認されている。これらの調査データは、千葉県の野生生物保護管理計画の基礎資料として利用されているばかりではなく、この調査を通じて学生の教育、現場の体験の機会を提供している。

北海道演習林

北海道演習林では1907年より第1期施業案を策定して森林施業を開始し、第8期経営案(1958～1967)からは「林分施業法」に基づく集約的な天然林施業を実施している。林分施業法は、森林生態系を保全し生物多様性を維持しながら、各林分の個性に応じた健全で活力ある森林の育成を行い、木材生産機能と環境保全機能とを両立させる森林施業を目標としている。2010年度は以下のように、第12期試験研究計画(2006～2010)の最終年度として引き続き林分施業法による施業実験を実行するとともに、林分施業法に基づく持続的な森林管理技術の確立を目指して研究活動を展開した。また、第13期教育研究計画(2011～2020)の策定に向けて、組織的研究課題と試験林・試験地の見直しと再編とを行った。

林分施業法による施業実験

第12期計画では、約2万haの施業実験林を地利級と林分成長率の観点から第1作業級と第2作業級に分け、それぞれ15年、20年回帰で施業を行う。択伐林における伐採率は、成長見合いを原則としながら第11期の施業実績を参照し、第1作業級では10～16%、第2作業級では10～17%としている。山火事跡の再生林では、優良広葉樹大径木を育成するため、適正密度となるように伐採率を定めて間伐を行う。

2010年度は立木資材量にして22,908 m³を収穫し、1億1400万円の収入を得た。このうち1,056 m³を直営生産で行った。天然林内のウダイカンバ、ハリギリなどで顕著な衰退を示す大径木を収穫して銘木市に出品することも従前通り行い、資材量63 m³で929万円の収入を得た。また、森林資源量と林分構造のモニタリングを継続するため、5年ごとに測定を行う全95カ所の固定標準地(天然林施業試験地)のうち22カ所で測定を実施し、4カ所で伐採後の検定を行った。

林分動態の長期モニタリングに基づく択伐林の持続可能性評価

北海道演習林で約40年間の林分動態が記録された33カ所の天然林施業試験地のデータをもとに、択伐林の持続可能性を評価した。森林生態系の生産力に関する4指標のうち、立木密度と成長量は期首と期末との間に有意な差がなかった一方、林分蓄積と収穫量は有意に増大した。樹種多様性に関する2指標のうち、樹種数は期間中に不変であり、多様度指数は増大した。本試験地では、施業による人為攪乱の影響が最小化された結果、長期にわたって多様性の高い林分が維持されたと考えられる。本成果は2011年3月に札幌で開催された日本生態学会全国大会、および2011年7月に台湾で開催されたアジア大学演習林シンポジウムにおいて発表した。

林分施業法の選木技術

林分施業法の選木技術を具体的に明示するため、昨年度に引き続き択伐林において選木試験を行い、伐採木の特徴(樹種、サイズ、形質・健全性、空間分布)を分析した。7林班C小班の天然林施業試験地No.5241において勤続年数20年以上の技術職員3名による選木試験を行い、

樹種および 2 つの立木形質(元腐れ、中腐れ)を説明変数とし、伐採・非伐採を目的変数としたロジスティック回帰分析の結果、樹種がシナノキであり、元腐れと判定される立木ほど、伐採木として選ばれる傾向にあることが示された。本成果は 2010 年 11 月に札幌で開催された日本森林学会北海道支部大会において発表した。

ミズナラの持続的生産システムの確立

第 12 期計画ではミズナラ大径木の持続的な収穫計画を立て、あわせて更新補助、枝打ち、間伐等の実行計画を作成した。これまでにサントリーからの奨学寄附金を受けて、踏査面積約 11,000ha、個体総数 32,000 本に及ぶ天然林内の大径木(胸高直径 40cm 以上)調査を実施し、これらの胸高直径、枝下高、形質、個体環境等を記録するとともに個体位置図を作成している。2010 年度には 57 林班 C 小班内に生育する 105 本を対象に、マイクロサテライトマーカーを用いた DNA 解析を行い、個体群の遺伝的構造を解析した。

大面積長期生態系プロットにおける林分動態の解析

天然林の動態把握のため、北海道演習林では前山保存林に 36.5ha(50m×50m、146 プロット)、岩魚沢保存林に 19ha(50m×50m、75 プロット)の大面積プロットを設置し、個体ごとの成長、進界・枯死木の記録測定を 5 年ないし 10 年ごとに継続実施している。2010 年度には、2009 年に実施した岩魚沢全 75 プロットにおける設定 15 年後の調査成果を取りまとめ、2010 年 11 月に札幌で開催された日本森林学会北海道支部大会において発表した。

広葉樹の更新機構の解明

第 11 期試験研究計画以降、広葉樹が優占する林分では適地適木の観点から広葉樹の育成を積極的に図っているところである。しかしながら、広葉樹類の更新機構については未だ不明な点が多く、その解明が広葉樹択伐施業技術の確立のために不可欠である。このため、2006 年から実施しているシナノキとオオバボダイジュの萌芽更新特性について、2010 年度にも継続して調査した。

人工林における天然更新促進技術の開発

北海道演習林には 3,500ha に及ぶ人工林があるが、これらは主伐期を設けずに将来は針広混交の天然林に誘導することとしている。人工林において天然更新を促進し、天然林へと誘導する施業技術の確立を目指して、ヨーロッパトウヒおよびストロームマツ人工林内にそれぞれ試験地を設けている。2010 年度も、これらの試験地における天然更新状況の追跡調査を継続した。

エゾマツ苗生産システムの確立

エゾマツは北海道の天然林を構成する主要な樹種であるが、天然更新が困難なことから資源の減少が顕著である。劣化した天然林を再生する上でエゾマツは不可欠な要素であるため、効率

的で確実性の高いエゾマツ苗生産システムの早期確立が求められている。

2010 年度より農林水産省の新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業に課題「北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立」が採択され、暗色雪腐病・苗立枯病の防除、およびマルチキャビティコンテナを用いた栽培システムに関する試験を開始した。

秩父演習林

トウバク沢量水観測試験

トウバク沢土捨て場の流出特性への影響についてモニタリングしている。調査方法はトウバク沢土捨て場最下部にある量水堰堤に量水計と雨量計を設置して行った。2011 年 1 月より開始したバケモノ沢量水試験の観測に伴い、2012 年 12 月まで並行観測を行った後は廃止とする。

人工林固定試験地

人工林固定測定地はスギ、ヒノキ、サワラ、カラマツ人工林の成長量の測定や、間伐効果の検証を目的に 1956 年～1960 年に設置した。現在、矢竹沢地区、入山地区、大血川地区、栃本各所に 27 箇所の測定地があり、本学森林経理学研究室の協力を得て 5 年毎に測定調査を行っている。2010 年度は入山地区のスギ、ヒノキ、サワラ、カラマツの 4 箇所の調査を行った。

二次林測定試験地

二次林測定試験地は、1982 年より 5 年間隔で測定しているが、調査要因の関係から 1997 年に見直しを行い、全 15 プロットの内 7 プロットを調査間隔を 10 年とした。2010 年度は調査がなかった。

原生林測定試験地

1970 年より演習林各所の原生林内に設定し、現在 17 箇所の測定地を 10 年間隔で測定している。調査結果から原生林の成長量と森林動態について基礎的なデータを収集している。2010 年度は調査がなかった。

大面積長期生態系プロット

太平洋側の山地帯天然性林における森林動態の解明、自然撓乱によるギャップ形成とその修復過程の解明、森林生態系保全のための基礎資料を得ること、森林における各種の研究および共同研究の確保、各発達段階における十分な個体情報の収集および各樹種もしくは樹種群と地形条件との関連の解明などを目的として、27 林班と 28 林班(標高 1,132～1,314m)のブナ、イヌブナ、ツガが優占する天然林内に 6.875ha の大面積長期生態系プロットを 1994 年に設定した。1994-1995 年、1998-2000 年、2003-2005 年、2009 年に毎木調査を行ってきた。2010 年度は調査

がなかったが、1998-2000年と2009年に行った調査成果の一部を取りまとめ、2010年11月に開催された東京大学演習林平成22年度技術職員等試験研究・研修会議と2011年3月に開催された平成22年度東京大学農学生命科学研究科技術職員研修会において発表した。

ケヤキ人工林の間伐試験

1999年に三段階の間伐を実施してケヤキ人工林間伐試験地にしたて直した。強度の間伐であったことから、残立木の幹から萌芽枝が多く出て来たため、2002年3月に枝打ちを実施した。10年間隔で毎木調査を実施し、ケヤキ造林技術の確立を目指す。2010年度は調査がなかった。

人工林伐採跡地における天然下種更新の実用化

3林班い30小班の人工林伐採跡地において、ヒノキ・カラマツを補植後シカ防護ネット柵で囲い、2005・2006年度に植生調査を行っていたが、2007年度以降調査が行われず、2010年度に調査地杭の確認を行った。10期教育研究計画の策定に当たり、今後は継続調査しないことを確認した。

秩父山地亜高山帯域における風倒跡地林分の再生過程

17林班内標高1,950m付近の伊勢湾台風による被害跡地の再生過程を明らかにするため、風害跡地とそれに隣接する無被害林分に調査地を設置し、7～8年間隔で毎木調査を行っている。2010年度は、ナンバー札の取り換え作業を行った。

ヒノキ天然性林のモニタリング

雁坂トンネル秩父坑口の直上に生育する天然ヒノキ林を主体とする林分は①標高1,000m付近に位置し現存する天然林としては比較的標高に分布する数少ない林分であること、②国道140号線沿いの景観保全上重要な位置にあること、③トンネルの出入口付近は排気ガス等の影響を受けやすい位置にあることから、この林分を安定的に維持するために長期的なモニタリングが継続されている。10期教育研究計画の策定に当たり、今後は継続調査しないことを確認した。

ブナ・イヌブナの豊凶現象に関する基礎的研究

これまでの調査でブナ・イヌブナの豊凶年は2～5年間隔であることが分かったが、なぜブナ・イヌブナに豊凶現象があるのかは明らかではない。そのため、リタートラップによるリター生産量と堅果落下量の測定、デンドロメータによる直径成長量の測定を実施することにより、豊作年における同化物質の配分等を明らかにし、ブナ・イヌブナにとって、なぜ豊凶現象が必要であるかを解明する。2010年度もリタートラップ調査とデンドロメータ測定調査を継続して行った。

シオジの更新過程

秩父山地帯溪畔林の主要樹種であるシオジの更新特性とその過程について明らかにするため、2010年度もシオジについてリタートラップ調査を継続して行った。リタートラップによるリター生産量

と翼果落下量の測定を行う。

ウダイカンバ優占二次林調査

1990年に設定したワサビ沢試験地、2000年に設定した小赤沢試験地、2001年に設定したバケモノ沢試験地を定期的に測定することにより、秩父山地におけるウダイカンバ優占林分の林分構造と成立過程を明らかにする。10期教育研究計画の策定に当たり、今後、ワサビ沢試験地以外は継続調査しないことを確認した。

ミズナラ等のフェノロジー観察

全演協地球環境モニタリングの一環として1996年度よりミズナラ、2004年度にケヤキ・ブナ・イヌブナを追加して開芽期・黄葉期・落葉期を栃本地区6個体について観察している。調査方法は4～6月と9～12月に週1～2回目視による判定と写真撮影を行っている。

ニホンジカ等の生息状況調査

秩父演習林ではニホンジカ等による森林の被害が増加していることから適正な密度管理の基礎資料とするため、2005年度から区画法とライトセンサスによるシカ等の生息状況調査を始めた。2010年度はライトセンサスによる調査を2009年度同様に入川林道、東谷林道の2路線で5月最終週の日没後に集中して3日間行った。区画法については行わなかった。

愛知演習林

森林流域の流量に関する試験研究

気候変化や流域の森林状態の変化が渓流水の流量や水質に及ぼす影響を調べることを目的として、過去約80年間、地質・地形・森林状態の異なる白坂、穴ノ宮、東山の3箇所の試験流域において、流量の長期観測を実施してきた。これらの長期の流量データは、気象データと共に取得されており、学術的価値は非常に高い。データの一部は既に解析され、学術論文として印刷公表されてきた。本年度は、より最近のデータを公表し、広範な研究者にとって利用可能にすることを目的として、未公表のデータの精度の確認作業をおこなった。白坂試験流域(88.6 ha)内では、詳細な森林水文過程の調査を目的として、2箇所の小流域(北谷 1.19 ha、南谷 1.42 ha)が設置されており、本年度を含めて過去約60年間、2小流域の流量や地下水位といった水文観測を実施してきた。本年度は、これらの小流域において、渓流水の水質形成過程に関する研究、森林水文の素過程の一つである樹木の蒸散量に関する観測研究が実施された。また、今年度は、白坂の2箇所の小流域を対象として対照流域法を実施する時期について検討した。

ヒノキ林の間伐が流量や樹冠遮断量に及ぼす試験研究

間伐されずに放置されたヒノキ林を強度間伐することが、河川流量や樹冠遮断といった森林水文過程に与える影響を明らかにすることを目的として、犬山研究林の25林班のヒノキ林とライシメータにおいて、流量や樹冠遮断量の観測を進めると同時に、処理流域の間伐を部分的に開始した。また、これらのヒノキ林やライシメータにおける水文観測と並行して、間伐前後のコントロールゲータを取得するために、同研究林の広葉樹林流域においても流量観測を実施した。

コナラの直径-辺材率関係とナラ枯れの枯死率

カシノナガキクイムシ (*Platypus quercivorus*、以下、カシナガ) が媒介する糸状菌 *Raffaelea quercivora* によるナラ枯れ被害が、1980年代後半以降、本州日本海側を中心に拡大を続けている。東京大学愛知演習林の犬山研究林と赤津研究林でも、2007年に最初に被害が確認され、2008年にはさらに被害が拡大した。犬山研究林ではコナラの枯死率が26%と、従来の報告よりも枯死率が高かった。枯死率の樹種間差に影響する要因のひとつとして、辺材率が関係していることが指摘されている。そこでナラ枯れによるコナラの枯死率と辺材率との関係を調べるため、愛知演習林の犬山研究林、赤津研究林、石川県津幡町において、直径と辺材率の関係を調査して、ナラ枯れによる枯死率との関係を検討した。

長期生態系プロット

長期生態系プロットは北谷・南谷の全流域2.6haに1999年に設定され、そのうち計2.41haでは樹木の地際から1.3mの高さの太さが(以下、胸高直径)が5cm以上の樹木に個体を識別するための番号札を付け、それら全ての樹種、胸高直径、木の高さ(樹高)を記録している。さらに中央部の100m×100m(1ha)は、2004年に環境省の全国長期生態系モニタリング事業(モニタリング1000)のコアサイトとして指定を受け、生態系の変動を100年にわたり詳細に追跡していく長期モニタリングを実施している。2010年度はモニタリング1000のコアサイトでサイト内にある樹木の直径成長の測定と枯損状況の確認を行った。また葉や種子の落下量と内容の記録を毎月計測した。その他にもオサムシを中心とした地表徘徊性昆虫の採集、鳥類スポットセンサスを行った。

ヤマガラとシジュウカラの繁殖生態調査

ある生物種の行動を長期間にわたって調査することは、当該種の生態を明らかにするための基礎資料になるとともに、生息環境に起こりうる様々な変化の影響を検証するという点で重要である。ヤマガラとシジュウカラは繁殖に巣箱を利用する鳥類で、繁殖生態を調査することが比較的容易であることから、1983年より繁殖生態調査を継続している。

富士演習林

環境教育および森林教育のプログラム開発、自然解説に関する研究

地球環境問題だけでなく、地域の自然環境に対する関心の高まりの中で、富士演習林が山中湖村の学校教育や社会教育の場面において果たすべき役割は大きくなってきている。また、山中湖村は観光地あるいはリゾートとして多くの来訪者を受け入れており、来訪者に地域理解を促すための有効な手段としてエコツアーガイドの活用が検討されている。富士演習林が目指す環境教育および森林教育のプログラム開発は、こうした地域の事情に合致するものであり、来訪者だけでなく地域住民に対して効果的なプログラムを提供することが重要な課題である。

森林のアメニティに関する研究

森林が人に与える快適性を解明するには人の生理と心理の両面からの検討が必要である。平成22(2010)年度は全学体験ゼミや総合科目を開講し、教養学部の学生に対してアメニティについて考える機会を提供した。

森林のレクリエーション機能に関する研究

現在、世界的に森林の持続的な維持が課題となっているが、森林レクリエーション利用においても健全な森林を維持しつつ快適なレクリエーション機能を提供し続けるということが求められている。本演習林は、日本を代表する自然レクリエーション地域である富士伊豆国立公園富士団地の特別地域に位置し、利用拠点である旭日丘集団施設地区に隣接している。また、重要な自然資源である山中湖に面すると同時に、主要な利用動線である国道138号線が内部を横断している。このように自然環境面の優れた立地特性を持ち、森林レクリエーションに関する調査、研究を実証的に行うのが本演習林の大きな特徴である。この立地特性を活かし研究を進展させるためには、レクリエーションの場として利用する人間へのアプローチが必要であり、その行動を通じた森林環境のあり方の追求が求められる。また、利用者の行動を特定する要因として空間構成やシーズンごとの特性などが考えられ、シーズンごとの利用に関する定期的な調査を行うことで、各要因の関係性を明らかにし空間計画へ繋げることができる。

森林景観研究

これまで富士演習林では、景観への影響が大きいと考えられる皆伐等の施業は行わずに風致林として慎重に取り扱いが為されてきた。また、日本人の原風景と言われる富士山、更に風光明媚な山中湖畔に立地するという特性を活かしつつ1980年代より継続して行ってきた定点における景観観測など景観研究への資料が蓄積されており景観研究の一層の進展が望まれる。本演習林では、これまでの風致施業を踏まえながら「隠す」、「見せる」施業について再検討し、景観の類型化を通して研究サイトの多様性を向上させるとともに利用者から得られる森林景観の評価データを基に風致施業により生じる評価の差異を抽出し実際の施業へと活かす実践的研究を推進する。

長期生態系プロット

試験地は、標高 1,050m の 3 林班 3 小班。1920 年代後半の植栽されたカラマツ人工林から天然生の落葉広葉樹林に遷移しつつある植生において遷移の過程を追跡し、東京大学の各演習林に設置されている長期生態系プロット等と比較して、森林動態の一般法則を発見することを目的に行っている。平成 22 年(2010)年度に行った調査は無い。

気象観測

II 林班の標高 1,000m 地点において、昭和 27(1952)年 1 月から気象観測結果の記録を行っている。富士山の東麓にあつて変化の激しい山地気象で、冬は富士山からの寒風を受け、近隣の地区よりも低温・多雪であるなど、特殊な山地気象の様相を呈している。観測データについては『演習林』等を参照されたい。

樹芸研究所

暖帯常緑広葉樹林の持続的維持に関する繁殖生態学的研究

暖帯の常緑広葉樹林において、現在の主林木がどのような更新過程を経て新しく森林として再生するか、特に種子散布から稚樹の初期成長過程を中心に解明して、森林生態系を持続的に維持保全する上での計画の基礎として役立てたい。本研究は科研費の補助金を得て、暖帯常緑広葉樹林としてシイ類(スダジイ、コジイおよびその中間的形質を示すものを含む)が優占する二次林、クスノキ人工林を対象にして、林分の構造、種子生産、種子の動態、林床稚樹の動態、種子の発芽・稚樹の成長条件等について現地調査や実験を行っている。

ヤマガラとシジュウカラの繁殖生態調査

青野研究林では 1972～75 年にヤマガラ・シジュウカラについて巣箱設置による詳細な研究が行われた。その調査から 30 年が経過し、その間の森林構造の変化が鳥類相への様な影響を及ぼしたのか大変興味深い。そこで、30 年前と同じ調査区に巣箱を設置して、巣箱を利用する種や利用率の違いなど、森林の時間経過による鳥類相への影響について検証を行った。

大面積長期生態系プロット調査

森林の長期的な動態を明らかにするため、当所では 1998 年から、1ha の長期生態系プロット 2 箇所を設定し定期的に調査を行っている。50 年生二次林及び 45～46 年生二次林内に調査地を設定し、木本種の群落構造と種の多様性を調査する。調査地の内部を 25m×25m の小区に区切り胸高直径 4cm 以上の個体について胸高直径を測定し、新規登録木はその立木位置を記録した。今後継続して調査を行い、暖温帯林の代表的な林相である常緑広葉樹二次林の森林群集の動態を解明する。

森林水文・水質研究

樹芸研究所研究林域内の量水観測は降雨量と流出量について3流域(広葉樹天然林、針葉樹人工林、広葉樹人工林)で観測を行っている。東京農工大学との共同研究のより、それぞれ3流域の植生の違いによる流出量の違いなどのデータの分析を行った。今後とも引き続きデータを蓄積して、植生の違いによる水源涵養機能の差異を明らかにしたい。

ニホンジカの生育密度と植生への影響に関する研究

ニホンジカの生育密度の変化とその植生に与える影響を明らかにするため生息密度調査を行った。アオキの食痕調査、区画法による目視調査、糞粒法による調査を実施した。今後も毎年同様の調査を継続し、また植生の変化も調査することで、ニホンジカ個体数の変動とその影響を明らかにしていく。

自然体験プログラムの開発に関する研究

樹芸研究所の森林は、地域の自然体験学習の場として利用されており、充実した自然体験プログラムの提供を近年ますます求められてきている。森林における自然体験学習を充実させ、身近で自然を体験できる場所を提供することを目的とし、本研究は公開講座等の自然体験学習の参加者を対象とし、森林体験直後にアンケートをとり、参加者の意識調査を行い、世代ごとの森林体験学習の内容とその具体的方法について提案する。

南伊豆におけるユーカリ林業の可能性の総合的検討

現地適応試験として植栽後二十余年を経過したユーカリ材を用いて、物理特性・製品化特性・二次代謝成分特性を調べ、利用形態の在り方を探り始めた。

田無試験地

都市生態系に関する研究

外来種であるニワウルシの更新特性を明らかにするとともに、環境の違いによる動態比較を行うことによって、日本におけるニワウルシの拡大更新様式を検討することを目的として、コドラート内のニワウルシ全個体調査を行った。実生個体は10月初めまでに調査区内のすべての個体が枯死したが、根萌芽個体は調査終了時まで生存している個体もあった。成長量に関しては根萌芽個体・株萌芽個体の方が大きく、実生個体はあまり旺盛な成長を示さなかった。以上のことから、株や根からの萌芽個体の繁殖力が強いという傾向が見られたものの、実生による分布拡大についての知見は得られなかった。

都市林の環境特性およびそれに対する動植物の反応に関する研究

都市林生態系における大気負荷量を定量的に把握し、メカニズムの解明、モデル化を行うことを目標として、林内雨法、大気吸引法、葉面洗浄法の3つの手法を用い、湿性沈着量と乾性沈着量(ガス、粒子状物質)をそれぞれ観測した。湿性沈着量と純林内雨沈着量の比較から、無機態硫黄の負荷量は湿性沈着量の影響が大きいこと、無機態窒素の負荷量は乾性沈着量の影響が大きいことがわかった。また、その傾向はスギで顕著であった。これはスギ林分への無機態窒素の大気負荷には、乾性沈着による影響が大きいことを示している。

都市林の社会的価値に関する研究

以前より近隣住民から外にはみ出した枝条剪定の依頼があり、可能な範囲で職員が枝の剪定を行ってきた。しかし、近年田無演との境界付近の樹木が成長するに伴い、枝が大きくなり外にはみ出して、日当たりが悪いことや、落葉が多いことで樹木の伐採または枝条剪定の依頼が多くある。今後さらに近隣住民からの依頼の増加が想定される。今後計画的に支障木(以下、伐採候補木)の伐採が必要であることから、調査を行ったところ、伐採候補木は178本存在した。今後伐採木は研究試料として活用していく計画である。

都市環境における樹木の生理特性に関する研究

葉からの水分吸収がスギ成木の水分生理状態を改善する効果を検証するために、樹高20mのスギ成木10個体の通水抵抗などを調べた。葉面から吸収された水が当年枝木部の仮道管に含まれていた。また、夜間にスギの葉に水滴を付着させることによって当年枝木部の日中の通水抵抗が低下する傾向が見られた。

研究基盤整備

第一苗畑北側のスギ観測鉄塔での観測を充実させるために、AC100Vの電線を樹木園から鉄塔南西端まで延長、配置した。

演習林技術職員等試験研究・研修会議

場所 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所

日程 [平成 22 年 11 月 11 日 (木)]

試験研究発表会 (於: 樹芸研究所 東京大学保険体育寮スポーツアピア下賀茂)

13:00 開会式 挨拶 白石則彦 本部長

13:10 試験研究発表 (○: 発表者) 司会: 樹芸研究所 村瀬一隆、渡邊良広
「マツの挿し木試験」

○米道学・塚越剛史・里見重成 (千葉演習林)

13:30 「秩父演習林におけるサワラ人工林固定測定地の成長解析」

○原口竜成・丹羽悠二・高德佳絵・千嶋武・神塚武一・相川美絵子・吉田弓子・
五十嵐勇治 (秩父演習林)

13:50 「ユーカリ属現地適応試験開始 24 年後の一結論」

○渡邊良広・村瀬一隆・辻 和明・辻 良子 (樹芸研究所)

14:10 「クスノキ人工林の管理手法及び萌芽更新」

○辻 和明・渡邊良広・村瀬一隆・辻 良子 (樹芸研究所)

14:30 「コナラの直径-辺材率関係と地域間比較」

○井上淳 (愛知演習林)

14:50 「秩父演習林大面積長期生態系プロットの沿革と植生型別に見る
主要樹種の 10 年間の変化」

千嶋武 (秩父演習林)・芝野伸策 (研究部)・澤田晴雄 (愛知演習林)・○大村和也
(秩父演習林)・才木道雄 (愛知演習林)・齋藤俊浩 (研究部)・五十嵐勇治
(秩父演習林)

15:10 「富士演習林における景観林施業が植生に及ぼす影響」

○西山教雄 (富士演習林)・五十嵐勇治 (秩父演習林)・千嶋茂・齋藤俊浩
(富士演習林)

15:30 休憩

15:40 「キヨスミミツバツツジの挿木増殖技術確立に関する研究」

○里見重成・米道学・塚越剛史・軽込勉 (千葉演習林)

16:00 「新居試験地のマツ枯死木の分解速度」

○渡部 賢 (愛知演習林)

16:20 「田無試験地に隣接する民地にかかる樹木の伐採計画」

○栗田直明・鶴見康幸 (田無試験地)

16:40 「北海道演習林における野鼠発生予察 11 年間の調査結果」

○岡平卓巳 (北海道演習林)

17:00 「南伊豆地方における巣箱設置によるヤマガラとシジュウカラの繁殖生態 (II)」
— 設置後 6 シーズンの結果から —

○村瀬一隆 (樹芸研究所)・高德佳絵 (秩父演習林)・阿達康真 (千葉演習林)・
才木道雄 (愛知演習林)・荒木田善隆 (生態調和農学機構)

17:20 「演習林出版物の季節別販売傾向 (2005 年 4 月から 2010 年 6 月)」

○近澤静恵・齋藤俊浩 (研究部)

17:40 講評 石橋整司 研究部長

18:10 懇親会 挨拶 鴨田重裕 准教授 (スポーティア下賀茂)

宿泊：スポーティア下賀茂

[平成 22 年 11 月 12 日 (金)]

講義

8:45 井上広喜 助教「樹芸研究所の芳香植物とその利用」

9:15 芝野伸策 統括技術長「技術職員の業務時間配分」

9:30 河原博之 環境安全担当係長「安全衛生について」

現地研修 (温室見学も含む)

9:45 鴨田重裕 准教授

12:00 昼食後解散

参加者

本 部：白石則彦・芝野伸策

千葉演習林：米道学・里見重成

北海道演習林：岡平卓巳

秩父演習林：大村和也・原口竜成・吉田弓子・相川美絵子

愛知演習林：井上 淳・渡部 賢

富士演習林：西山教雄

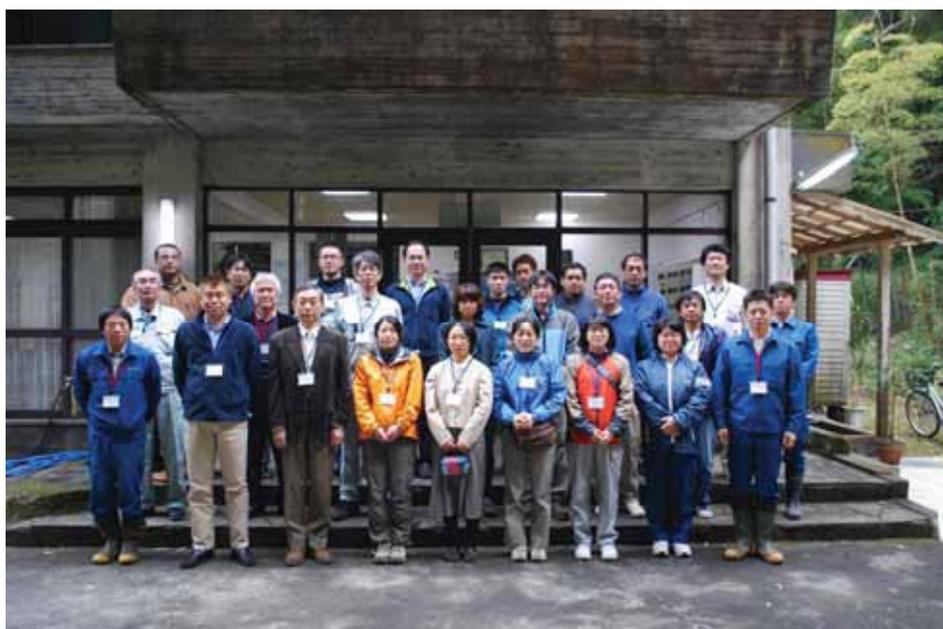
樹芸研究所：鴨田重裕・井上広喜・渡邊良広・村瀬一隆・辻 和明・辻 良子

田無試験地：栗田直明

研究部：石橋整司・齋藤俊浩・近澤静恵

生態調和機構：荒木田善隆・白井深雪・島津佳由

農学部事務：高野 稔・河原博之



教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
石塚 航・梶 幹男	DEMを用いた秩父天然林における小地形の抽出とブナとイヌブナの分布特性	東京大学農学部演習林報告	123	53-69	2010
後藤晋・小川瞳・石塚航・松井理生・木村徳志・岡村行治	東京大学北海道演習林における採種地の違いがアカエゾマツ植栽個体の生存と成長に及ぼす影響	東京大学演習林報告	124	107-118	2011
浅野友子・芝野博文・田中延亮・大川あゆ子・浅井和由	フロン類をトレーサに用いた西達布源流湧水の平均滞留時間推定	演習林	50	41-48	2011
森田えみ・永野純・山本博一・村川功雄・相川美絵子・SirakawaTaro	Two Thirds of Forest Walkers with Jpaponese Cedar Pollinosis Visit Forests even During the Pollen Season	Allergology intemational	58	383-388	2009
Matsunaga SN, Mochizuki T, Ohno T, Endo Y, Kusumoto D, Tani A	Monoterpene and sesquiterpene emissions from Sugi (Cryptomeria japonica) based on a branch enclosure measurements.	Atmospheric Pollution Research	2	16-23	2011
Masashi Murakami, Toshihide Hirao	Lizard predation alters the effect of habitat area on the species richness of insect assemblages on Bahamian isles	Diversity and Distributions	16	952-958	2010
Dai Fukui, Toshihide Hirao, Masashi Murakami, Hirofumi Hirakawa	Effects of treefall gaps created by windthrow on bat assemblages in a temperate forest	Forest Ecology and Management	261	1546-1552	2011
Owari, T., Kimura, N., Shimizume, M., Takuma, R., Nakagawa, Y., Tookuni, M.	Using global positioning system (GPS) technology for tree marking in a natural forest under a single-tree selection system	Forest Resource Management and Mathematical Modeling	10	105-121	2011
Asano, Y. and Uchida T.	Is representative elementary area defined by a simple mixing of variable small streams in headwater catchments?	Hydrological Processes	24	666-671	2010
Gomi T., Asano Y., Uchida T., Onda Y., Sidle R.C., Miyata S., Kosugi K., Mizugaki S., Fukuyama T., and Fukushima T.	Evaluation of storm runoff pathways in steep nested catchments draining a Japanese cypress forest in central Japan: a geochemical approach	Hydrological Processes	24	550-566	2010
Nobuaki Tanaka, Koichiro Kuraji, Chatchai Tantasirin, Hideki Takizawa, Nipon Tangtham and Masakazu Suzuki	Relationships between rainfall, fog and throughfall at a hill evergreen forest site in northern Thailand	Hydrological Processes	25	384-391	2011
Uchida, T., and Asano Y.	Spatial variability in the flowpath of hillslope runoff	Hydrological Processes	24	2277-2286	2010
Yumiko Hayashi, Masahiro Takagi, Koji Kodera, Koichiro Kuraji and Tetuo Murakami	Factors affecting long-term reduction in river flow in a large forested catchment in Aya, Miyazaki Prefecture, Japan	Hydrological Research Letters	5	21-26	2011
Masashi Murakami, Toshihide Hirao	Nestedness of insect assemblages on small Bahamian islands: importance of spatial processes	Insect Conservation and Diversity	3	229-235	2010
鎌田直人	IUFRO国際委員会・拡大理事会報告	IUFRO-J NEWS	101	1-5	2010
Kochi K, Kagaya T, Kusumoto D	Does mixing of senescent and green leaves result in nonadditive effects on leaf decomposition?	J. N. Am. Benthol. Soc	29	454-464	2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Komatsu, H., Hashimoto, H., Kume, T., Tanaka, N., Yoshifuji, N., Otsuki, K., Suzuki, M., Kumagai, T.	Modeling seasonal changes in the temperature lapse rate in a northern Thailand mountainous area.	Journal of Applied Meteorology and Climatology	49	1233-1246	2010
Yasuhiro Kubota, Toshihide Hirao, Shin-jiro Fujii, Masashi Murakami	Phylogenetic beta diversity reveals historical effects in the assemblage of the tree floras of the Ryukyu Archipelago	Journal of Biogeography	38	1006-1008	2011
Owari, T., Matsui, M., Inukai, H., Kaji, M.	Stand structure and geographic conditions of natural selection forests in central Hokkaido, northern Japan	Journal of Forest Planning	16	207-214	2011
Goto S, Iijima H, Ogawa H, Ohya K	Long-term effects on tree regeneration of soil scarification with microtopography manipulation in mixed forests of central Hokkaido, northern Japan	Journal of Forest Research	Online Early	10.1007/s10310-010-0190-0	2010
Toshiaki Owari; Naoto Kamata; Takeshi Tange; Mikio Kaji; Akio Shimomura	Effects of silviculture treatments in a hurricane-damaged forest on carbon storage and emissions in central Hokkaido, Japan	Journal of Forestry Research	11	13-20	2011
Hotta, N., Tanaka, N., Sawano, S., Shiraki, K., Kuraji, K., Suzuki, M.	Changes in groundwater level dynamics after low-impact forest harvesting in steep, small watersheds	Journal of Hydrology	385	120-131	2010
Mayuka Marugame, Isao Izumi, Masaki Matsui, Takumi Okahira, Tatsuo Oshida and Yoshihiro Hayashi	Cavity resources for Siberian flying squirrel, <i>Pteromys volans orii</i> , in two different habitats in Hokkaido, Japan	Russian journal of theriology	9 (1)	39-43	2010
Nami Kadoya, Kazunobu Iguchi, Masaki Matsui, Takumi Okahira, Ami Kato, Tatsuo Oshida and Yoshihiro Hayashi	A preliminary survey on nest cavity use by Siberian flying squirrels, <i>Pteromys volans orii</i> , in forests of Hokkaido Island, Japan	Russian journal of theriology	9 (1)	27-32	2010
Makoto Kobayashi, Naoto Kamata, Hiroshi Tani	Insect damage accelerates charcoal production on snag surfaces during forest fires on Kenai Peninsula, southern Alaska. 平成22年度IARC-JAXA情報システム(IJS2)及び衛星データ等を利用した北極圏研究業務委託成果報告書(研究代表者 本間利久)			23-30	2011

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Naoto Kamata, Makoto Kobayashi, Hiroshi Tani	Interaction between forest fire damage and spruce beetle attacks on white spruce trees. 平成22年度IARC-JAXA情報システム(IJIS2)及び衛星データ等を利用した北極圏研究業務委託成果報告書(研究代表者 本間利久)			17-21	2011
Hiroshi Tani, Norihisa Kamibayashi, Makoto Kobayashi, Naoto Kamata	Detection of forest decline and burned area using ALOS/AVNIR-2 and QuickBird imagery in Kenai Peninsula. 平成22年度IARC-JAXA情報システム(IJIS2)及び衛星データ等を利用した北極圏研究業務委託成果報告書(研究代表者 本間利久)			11-16	2011
Luki Subehi, Takehiko Fukushima, Yuichi Onda, Shigeru Mizugaki, Takashi Gomi, Ken'ichirou Kosugi, Shinya Hiramatsu, Hikaru Kitahara, Koichiro, Kuraji, Tomomi Terajima, Noriatsu Ozaki	Influences of forested watershed conditions on stream water temperature fluctuations with special reference to watershed area and forest type	Limnology	11	115-124	2010
Yoko HISAMOTO, Mikio KOBAYASHI	Protoplast isolation from bamboo leaves	Plant Biotechnology	27		2010
Zuhair S, Fukuda K & Yamada T	Response of four tree species to mechanical wounding made at different seasons	Tree and Forest Health	15(1)	1-8	2011
Hayami Kasuga, Kazunobu Iguchi, Masaki Matsui and Katsumi Togashi (春日速水・井口和信・松井理生・富樫一巳)	Diel activity and behaviour of <i>Monochamus urussovi</i> adults on <i>Abies sachalinensis</i> and <i>Picea jezoensis</i> stumps (トドマツとエゾマツの切株におけるシラフヨツボシヒゲナガカミキリ成虫の日周活動と行動)	Tree and Forest Health (樹木医学研究)	14(4)	174-179	2010
坂上大翼・山田利博・楠本 大	ブナ科5樹種の辺材抽出物がブナ科樹木萎凋病菌 <i>Raffaelea quercivora</i> の菌糸伸長に及ぼす影響	樹木医学研究	14(3)	108-109	2010
楠本 大・米道学・村田政穂・渡辺敦史・磯田圭哉・平尾知士・山田利博	材線虫病抵抗性マツ類における組織の反応と線虫の分布・増殖	樹木医学研究	14(3)	98-100	2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
蔵治光一郎	流域圏学特集(1)流域圏における上流の立場から	しらぬいくま(不知火海・球磨川流域圏学会ニューズレター)	8	5	2010
齋藤暖生・三俣学	温泉資源の持続的利用と管理制度に関する一考察—長野県上田市別所温泉財産区の事例に基づいて—	温泉地域研究	16	1-13	2011
尾張敏章	天然林施業における森林情報管理の技術革新	機械化林業	675	1-7	2010
齋藤 暖生	地産地消型木質バイオマス利用研究会	山村活性化のための地産地消型木質バイオマス利用に関する調査報告書			2010
鎌田直人	カシノナガキクイムシが媒介するナラ枯れ被害について	会報しおじ	28	14-15	2011
蔵治光一郎	森林の伐採は湿原の乾燥化を防げるか～神話と逆神話の狭間で～	照葉樹林だより	26	4-6	2011
蔵治光一郎	水をめぐる戦略 「水のガバナンス」確立に向けて	FUJITSU飛翔	63	14-17	2010
蔵治光一郎	ハゲ山からの森林再生	月刊なごや	339	14	2010
蔵治光一郎	緑のダム構想とは何か	月刊自治研	Vol.53 No.621	32-40	2011
後藤晋	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立.	北海道の林木育種	53	26-28	2011
尾張敏章・後藤 晋	林分動態の長期モニタリングに基づく択伐林の持続的管理システムの構築,『平成20年度AGS研究成果報告書』			207-212	2010
楠本大	樹皮でおこる防御反応について	グリーンエージ		38-41	2010

学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Naoto Kamata, Kyung-He Kim	Oak Decline caused by ambrosia beetles/Raffaelea Complex in Japan and Korea	XXIII IUFRO World Congress	Proceedings of the 23rd World Congress of IUFRO		2010
Sunisa Sanguansub, Hideaki Goto, Naoto Kamata	Influence of JOW Incidences on Ambrosia Beetle Guild Attacking Deciduous Oak (<i>Quercus serrata</i>) Trees.	XXIII IUFRO World Congress	Proceedings of the 23rd World Congress of IUFRO		2010
Akio FUJIWARA, Kaoru SAITO, Kazuhiko NAKAMURA, Hiroki KOBAYASHI, Koji ANDO	Browsing Forest Information in AR Space with a Smartphone	XXIII IUFRO World Congress			2010
Ito, S., Murata, M., Matsuda, Y. and Yamada, T.	Differential spread of discoloured and non-conductive sapwood among four Fagaceae species inoculated with <i>Raffaelea quercivora</i>	XXIII IUFRO World Congress			2010
Kaoru SAITO, Akio FUJIWARA, Kazuhiko NAKAMURA, Masahiro IWAOKA, Hiroki KOBAYASHI, Koji ANDO	A “sense of forest” by audiovisual telepresence of forest phenology through real-time streaming and archive systems at The Tokyo University Forest in Chichibu, central Japan	XXIII IUFRO World Congress			2010
Kazuhiko NAKAMURA, Noriko YONEYA, Kaoru SAITO, Akio FUJIWARA, Masahiro IWAOKA, Hiroki KOBAYASHI	Analysis of Tree Phenology in nonurban area for fifteen years by Fixed Point Observation Video at the Tokyo University Forest in Chichibu, central Japan	XXIII IUFRO World Congress			2010
Yamada T, Karukome T & Ikeda H	Chemical control of scab canker caused by <i>Scolecotigmina chibaensis</i> on <i>Pinus parviflora</i>	XXIII IUFRO World Congress			2010
Yamada T, Nagaishi N, Yamashita T, Koyama T, Kaniwa M & Tokue I	Effects of surface condition of stem wounds on wood discoloration and decay: An example of <i>Zelkova serrata</i>	XXIII IUFRO World Congress			2010
Matsuoka, K., Owari, T.	The role of the CASBEE green building initiative in the Japanese housing industry	XXIII IUFRO World Congress	International Forestry Review	261	2010
Owari, T.	Customer-perceived value in the Japanese structural lumber market	XXIII IUFRO World Congress	International Forestry Review	261	2010
Tatsumi, S., Owari, T., Yamamoto, H., Shiraishi, N.	Forty-two years of stand structure development in a natural forest under selection system in central Hokkaido, Japan	XXIII IUFRO World Congress	International Forestry Review	87	2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Owari, T., Okamura, K.	Timber production, prices and end-use in a forest business in central Hokkaido, Japan	IUFRO 5.10.00 – Forest Products Marketing and Business Management & the UNECE/FAO Team of Specialists on Forest Products Markets and Marketing: Joint Pre-Conference to the IUFRO World Congress in Seoul	Abstracts of IUFRO 5.10.00 – Forest Products Marketing and Business Management & the UNECE/FAO Team of Specialists on Forest Products Markets and Marketing: Joint Pre-Conference to the IUFRO World Congress in Seoul	14	2010
Owari, T., Inukai, H., Koike, Y., Minowa, Y., Nakajima, T.	Capturing expert knowledge of tree marking practices using a single-tree selection system in central Hokkaido, Japan	7th IUFRO International Conference on Uneven-aged Silviculture	Diaci, J. (ed.) 21st Century Forestry: Integrating Ecologically-based Silviculture with Increased Demands for Forests/ 7th IUFRO International Conference on Uneven-aged Silviculture (Book of Abstracts)		2010
Naoto Kamata, Nori-hisa Kamibayashi, Mamoru Kubo, Ken-ichiro Muramoto	Some novel trials on estimation of insect defoliation in the Siebold's beech forests by the beech catrerpillar, Syntypistis punctatella, using satellite images		Proceedings: 2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	17-26	2010
Nobuaki Tanaka, Koichiro Kuraji, Hirofumi Shibano, Norifumi Hotta, Toshihiro Yamada, Akio Fujiwara, Shigehiro Kamoda, Toshiaki Owari, Yuko Asano, Kiyotatu Yamamoto, Naoto Kamata	Monitoring network investigation the response and vulnerability of forest ecosystems to the changing climate: long-term data sets of meteorology, hydrogy and hydrochemistry of Tokyo University Forests		Proceedings: 2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	37-38	2010
Ryotaro Komura, Naoto Kamata	Analysis of trend if forest declination using aerial photograph and DEM		Proceedings: 2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	33-36	2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Shota Kusaka, Mamoru Kubo, Ken-ichiro Muramoto, Naoto Kamata	Tree Image correspondance from multiple forest panoramic images		Proceedings: 2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	144-150	2010
Naoto Kamata	Role of University Forests of the University of Tokyo under Climate Change	2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	Proceedings of EMEA 2010		2010
Toshihide Hirao, Masashi Murakami	Scale-dependent effects of windthrow disturbance on bird and insect assemblages in a cool-temperate forest	2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	Proceedings of EMEA 2010		2010
Kuraji Koichiro	The importance of long-term, high temporal and spatial rainfall data.	Integrated study on Hydro- Meteorological Prediction and Adaptation to Climate change in Thailand (IMPAC- T) 1st forum	Integrated study on Hydro- Meteorological Prediction and Adaptation to Climate change in Thailand (IMPAC-T) 1st forum		2010
Kuraji Koichiro and Arthorn Boonsaner	Rainfall variability over mountainous area in Northern Thailand	JSPS International Forum "Climate Changes in Monsoon Asia" (CCMA)	JSPS International Forum "Climate Changes in Monsoon Asia" (CCMA)		2011
Kuraji Koichiro	Forest, water and people interactions - mechanisms, services and perceptions	China-Japan Interdisciplinary Academic Salon for Young Scientists	China-Japan Interdisciplinary Academic Salon for Young Scientists		2010
Owari, T.	Precision management of selection forests using innovative surveying technologies in Hokkaido, Japan	International Conference on Managing Forest Resources for Multiple Ecosystem Services under Robust and Fragile Environments	Abstracts of International Conference on Managing Forest Resources for Multiple Ecosystem Services under	43	2010
Koichiro Kuraji and Mie Gomyo	Inter-annual, seasonal and diurnal variation in rainfall over Malaysian Borneo	SARAWAK BIOLOGICAL RESOURCES FORUM 2010	SARAWAK BIOLOGICAL RESOURCES FORUM 2010		2010
Mayumi Horikawa, Tetsuzo Yasunari, Hironari Kanamori, Naoyuki Kurita and Koichiro Kuraji	Stable isotope variations in rainwater in Sarawak associated with large-scale tropical disturbances	SARAWAK BIOLOGICAL RESOURCES FORUM 2010	SARAWAK BIOLOGICAL RESOURCES FORUM 2010		2010
Mie Gomyo, Taeko WAKAHARA, Katsushige SHIRAKI, Koichiro KURAJI, Kanehiro KITAYAMA and Masakazu SUZUKI	Studies on water and nutrient balances and their mechanisms in tropical lowland and montane rain forests in Malaysian Borneo	SARAWAK BIOLOGICAL RESOURCES FORUM 2010	SARAWAK BIOLOGICAL RESOURCES FORUM 2010		2010
Toshihide Hirao, Yasuhiro Kubota, Masashi Murakami	Geographical patterns of butterfly species diversity in the subtropical Ryukyu Islands: the importance of a unidirectional filter between two source islands	5th International Conference of the International Biogeography Society			2011

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Yasuhiro Kubota, Shin-jiro Fujii, Toshihide Hirao	Linking ecological and evolutionary processes in the formation of tree species diversity in the Japanese Archipelago	5th International Conference of the International Biogeography Society			2011
SAITO, Haruo	Administrative centralization threatens commons-owning municipal sub-unit: Property Wards (zaisanku) in Toyota City, Japan	the 13th Biennial Conference of the International Association for the Study of Commons			2011
ISHIZUKA Wataru, OGAWA Hitomi, GOTO Susumu	Testing the home-site advantage hypothesis in <i>Abies sachalinensis</i> consequence of 36-year reciprocal transplant experiments along an altitudinal gradient	日森学術講	121	J03	2010
広嶋 卓也・藤本 典之	大学演習林におけるJ-VER申請の試み	日森学術講	121	Pb1-44	2010
今村直広・田中延亮・山本博一・藤原章雄	秩父山地ブナ・イヌブナ林における純林内雨沈着の観測と解析	日森学術講	121	Pb2-31	2010
斎藤 馨・中村和彦・大辻 永・豊田かおり・中山雅哉・藤原章雄・安東孝二・岩岡正博	ブナの枝葉と映像を用いた小学校理科遠隔授業	日森学術講	121	G14	2010
小泉紀彰・鎌田直人・山中征夫	ヤマビル(<i>Haemadipsa zeylanica japonica</i>)のトラップ開発と行動生態学的研究	日森学術講	121	C19	2010
中村和彦・斎藤馨・藤原章雄・米谷法子	15年間の森林モニタリング映像を用いた樹木フェノロジーの年変動解析	日森学術講	121	L42	2010
辰巳晋一・尾張敏章・犬飼 浩・白石則彦・山本博一	北海道中央部の択伐天然林における樹種構成と立地条件の関係	日林学術講	121	Pb1-10	2010
芝野 博文・浅野 友子・田中 延亮・大川あゆ子	天然林施業がもたらす生態系サービスとしての渓流水質・水温・流量とその空間分布特性	日森学術講	121		2010
Sunisa Sanguansub, Hideaki Goto, Naoto Kamata	Ambrosia beetle fauna attacking deciduous oak <i>Quercus serrata</i> : Freshness of wood, seasonality, and biological conditioning	日森学術講	121	726	2010
伊藤進一郎・村田政穂・松田陽介・佐橋憲生・窪野高德・山田利博	ナラ枯れ被害の名称	日森学術講	121		2010
梶 幹男・犬飼 浩・岡村行治・木村徳志・松井理生・笠原久臣・五十嵐勇治・福士憲司・尾張敏章	針広混交林に設置した長期生態系観測プロットにおける15年間の動態	日森学術講	121	J05	2010
鴨田 重裕・坂上 大翼・後藤 晋・井上 広喜・楠本 大・小川 瞳・犬飼 浩・鎌田 直人・山田 利博・梶 幹男	エゾマツの更新における諸問題	日森学術講	121	318	2011
五名 美江・蔵治 光一郎・春田 泰次・大村和也・千嶋 武・才木道雄・齋藤 俊浩	大規模山岳道路工事が渓流水質に及ぼす影響	日森学術講	121		2010
今村直広, 田中延亮, 山本博一, 藤原章雄	秩父山地ブナ・イヌブナ林における純林内雨沈着の観測と解析	日森学術講	121		2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
山田利博・唐鎌 勇・永石憲道・山下得男・小山常夫・神庭 正則・徳江 泉	傷口の状態がケヤキの材変色腐朽に及ぼす影響	日森学術講	121		2010
山本博一・梶 幹男・尾張敏章・辰巳晋一・犬飼 浩	北海道中央部における天然林択伐施業の持続性について	日森学術講	121	J06	2010
小林真・鎌田直人・上村真由子・上林徳久・小池孝良・谷宏	虫害と山火事の同所的発生が枯死木の分解に与える影響－南東アラスカ・トウヒ林の事例－	日森学術講	121	450	2010
松岡健二郎・尾張敏章	住宅ビジネスにおける「CASBEE」と「持続可能な森林から産出された木材」の役割	日森学術講	121	Pb2-46	2010
石橋整司・山本清龍・藤原章雄・坂上大翼・田中延亮・齋藤暖生・尾張敏章・広嶋卓也	環境教育素材としての天然林施業	日森学術講	121	J11	2010
楠本 大	樹木のストレス応答シグナルを活用した生物間相互作用解明へのアプローチ	日森学術講	121	302	2010
尾張敏章・松井理生・廣川俊英・犬飼 浩・梶 幹男・辰巳晋一・山本博一	北海道中央部の択伐天然林における林分配置、構造、収穫の長期的変化	日森学術講	121	J07	2010
福原一成・遠藤良太・米道 学・山田利博・池田裕行・里見重成・塚越剛史	千葉県海岸砂地におけるマツノサイセンチュウ抵抗性クロマツ実生苗への接種試験	日森学術講	121		2010
鈴木 牧・鎌田 直人・藤原 章雄・鴨田 重裕・山中 征夫・齋藤暖生・前原 忠・松井理生・井口 和信	北海道演習林におけるシカ剥皮害の発生リスク分析	日森学術講	121	319	2010
鈴木牧, 鎌田直人, 藤原章雄, 鴨田重裕, 山中征夫, 齋藤暖生, 前原忠, 松井理生, 井口和信	北海道演習林におけるシカ剥皮害の発生リスク分析	日森学術講	121		2010
齋藤暖生・三俣学	平成の市町村合併がもたらした財産区有林経営の苦難	日森学術講	121		2010
鴨田重裕, 辻和明, 渡邊良広, 村瀬一隆, 辻良子, 井上広喜	いま、南伊豆で薪炭林的施業は可能か	日林北支論	59		2010
渡邊良広, 鴨田重裕, 村瀬一隆, 辻和明, 辻良子, 井上広喜	ユーカリ属現地適応試験開始24年後の一結論	日林北支論	59		2010
犬飼慎也・富士憲司・小池征寛・高橋功一・算用子麻未・尾張敏章	東京大学北海道演習林の中標高域における択伐施業林と保存林の林分構造	日林北支論	59		2010
高橋功一・富士憲司・小池征寛・犬飼慎也・算用子麻未・尾張敏章	天然林択伐作業に伴う残存木の損傷と稚幼樹の消失・発生－東京大学北海道演習林51林班の事例－	日林北支論	59		2010
尾張敏章・犬飼 浩・富士憲司・小池征寛・犬飼慎也・算用子麻未・高橋功一・美濃羽靖	林分施業法の選木技術－エゾマツ・トドマツ・シナノキ・イタヤカエデ混交林の事例－	日林北支論	59		2010
辰巳晋一・尾張敏章・山本博一・白石則彦	天然林択伐施業による42年間の林分構造の変化－東京大学北海道演習林の事例－	関東森林研究	61	53-56	2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
軽込勉・鈴木祐紀・米道学・塚越剛史・里見重成・藤平晃司・阿達康真・三次充和・廣嶋卓也・池田裕行・鈴木牧	房総半島南部における二次林の林分構造とニホンジカの影響	関東森林研究	61	191-194	2010
井上淳・澤田晴雄・鎌田直人	コナラの直径一辺材率関係の地域間比較	中部森林研究	59	253-256	2011
梯公平・倉西良一・鎌田直人	ベイトトラップを用いたヒメボタル幼虫の移動分散距離の推定	日本生態学会要旨	57	P2-300#	2009
Panisara PINKANTAYONG, Mamoru KUBO, Ken-ichiro Muramoto, Naoto KAMATA	Spatial density dependence in pupal mortalities of the larch sawfly, <i>Pristiphora erichsoni</i> , in epidemic period	第26回個体群生態学会大会要旨集		P1-21	2010
Sunisa Sanguansub, Hideaki Goto, Naoto Kamata	Ambrosia Beetles Guild Attacking <i>Quercus serrata</i> at Three Locations in Central Japan: Ecological Niche of the Four Major Species in a Location with Japanese oak Wilt Incidence	第26回個体群生態学会大会要旨集		P3-05	2010
小泉紀彰・山中征夫・鎌田直人	熱源トラップを用いたヤマビル (<i>Haemadipsa zeylanica japonica</i>) の分布推定	個体群生態学会大会要旨集	第26回	P1-17	2010
梯公平・鎌田直人・倉西良一	ヒメボタル幼虫の生態; 移動分散距離の推定、および局所分布と活動性に影響を与える環境要因の解析	個体群生態学会大会要旨集	第26回	P1-18	2010
林明日香・鈴木愛未・加藤アミ・松井理生・井口和信・岡平卓巳・押田龍夫・林良博	異なる繁殖期におけるエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の産仔数およびその性の比較: 季節による繁殖戦略の違いについて (予報)	第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (岐阜大学) 要旨集		P-072	2010
和泉功・松井理生・押田龍夫・林良博	北海道の天然林におけるエゾリスのエゾマツ球果利用率: 41,000個の球果が物語るその実態とは?	第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (岐阜大学) 要旨集		P-070	2010
前原 忠・鎌田直人	どれだけのクロカタビロオサムシが越冬期を生き残れるのか?	日本土壤動物学会大会講演要旨集	第33回	29	2010
浅野 友子, 丹下健, 大槻恭一, 智和正明, 高木正博, 館野隆之輔, 浅井和由	山地源流域における平水時流出水の平均滞留時間	日本地球惑星科学連合2010年大会			2010
浅野 友子, 星野晋一郎, 内田太郎	山地源流域における流域のスケールと降雨-流出の関係	日本地球惑星科学連合2010年大会			2010
内田 太郎, 田村圭司, 浅野友子	複数の花崗岩山地における水文観測	日本地球惑星科学連合2010年大会			2010
今村直広・田中延亮・大手信人・山本博一	秩父山地ブナ・イヌブナ林の樹冠部における物質循環プロセス	日本地球惑星科学連合2010年大会予稿集		Disc 1 MIS006-P02	2010
坂江哲・堀田紀文・鈴木雅一・執印康裕・広嶋卓也・沼本晋也	斜面安定解析による樹木根系の崩壊防止機能の評価について—東大千葉演習林1970年斜面崩壊事例を対象として—	平成22年度砂防学会研究発表会長野大会	平成22年度砂防学会研究発表会長野大会講演要旨集		2010
高橋真哉・恩田裕一・内田太郎・地頭齒隆・浅野友子・馬場茂彰・田中健太・戸田博康	宮崎県鰐塚山における深層崩壊発生場と渓流水の水質の関係	平成22年度砂防学研究発表会			2010
前田賢治・田中隆文・田中延亮	里山流域 (東大愛知演白坂流域) における長期流出・土壌水分動態とそのモデル化	水文・水資源学会2010年研究発表会要旨集	23	134	2010
五名美江・蔵治光一郎・大村和也・千嶋武・才木道雄・齋藤俊浩・春田泰次	トンネル掘削残土の渓谷への埋め立てが渓流水質に及ぼす影響	水文・水資源学会2010年度研究発表会要旨集			2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
林裕美子・高木正博・ 小寺浩二・蔵治光一 郎・村上哲生	宮崎県綾町の照葉樹林帯における河川流量 の減少と拡大造林との関係	水文・水資源学会2010年度研 究発表会要旨集			2010
蔵治光一郎	日本における森林の役割の変遷と今後の森 林との関わり合いのあり方	水環境学会誌	33 (A) No.10	320-323	2010
山田利博・村田政徳	数種樹木の自然傷害枝のNRGおよび組織化 学的観察	樹木医学会講要	15	45	2010
松井優一・山田利博	材線虫病抵抗性アカマツにおけるマツノザ イセンチュウの移動パターン	樹木医学会講要	15		2010
山田利博・米道 学 里見重成・井上広喜	千葉演習林産材線虫病抵抗性マツのセグメ ントを用いた抵抗性機構探索	樹木医学研究	14, 3	114-115	2010
森本康永・山田利博	地上型3次元レーザー計測による樹木診断 の試み	樹木医学研究	14, 3	103-105	2010
蔵治光一郎	何がもったいないのかー「再生プラン」は 防災、水資源涵養機能と調和しうるかー	(財) 林業経済研究所シンポ ジウム「森林資源の多様性と 山村再生」	63 (12)		2010
鎌田直人	虫の多様性と森林生態	CDB-COP10パートナーシ ップ事業【6人の生態学者によ る毎月一回の講演と観察会】		13p.	2010
久本洋子	一斉開花を起こしたモウハイチクおよびト ウオカメザサの生活史における花成遺伝子 群の単離と発現解析	竹林景観ネットワーク 第7 回研究集会			2010
小林五月, 石黒晃美, 江目悠子, 井上広喜, 大谷典正	ゴム作出植物におけるゴムの分子量 (分 布) に関する研究	平成22年度化学系学協会東北 大会			2010
山田利博・軽込 勉・ 池田裕行	ヒメコマツかさぶたがんしゅ病の薬剤防除 試験	平成22年度日本植物病理学会 大会			2010
蔵治光一郎	木材生産と公益的機能の両立は可能か	西播磨地区林業改良普及協会 「ふるさとの森講演会」			2010
蔵治光一郎	産業、防災、地球環境、生態系の観点から みた人工林の間伐	不知火海・球磨川流域圏学会 2010年度研究発表会		9-11	2010
蔵治光一郎	森林と水量、水質の関係	平成22年度桂川・相模川流域 協議会定期総会			2010
山田利博・永石憲道・ 山下得男・小山常夫・ 神庭 正則・飯倉 寛	傷害樹木木部における反応帯形成過程の NRGによる観察	JRR-3改造20周年記念シンポ ジウムー研究用原子炉JRR-3 の利用成果と今後の展開			2011
岡平卓巳	北海道演習林における野鼠発生予察11年間 の調査結果	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	7-8	2010
丹羽悠二	海外研修報告：インドネシアの植物園と博 物館	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	11-12	2010
辻和明	クスノキ人工林の管理手法及び萌芽更新に 関する研究	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	15-16	2010
藤平晃司・軽込勉・三 次充和	千葉演習林の基盤データ植物部門活動報告 -千葉県中央博物館とのフロラ調査-	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	21-22	2010
大川あゆ子・松井理生	北海道演習林における大面積長期生態系プ ロット測定結果	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	23-24	2010
千島武・芝野伸策・澤 田晴雄・大村和也・才 木道雄・齋藤俊浩・五 十嵐勇治	秩父演習林大面積長期生態系プロットの植 生型別に見る主要樹種の10年間の変化	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	25-26	2010
才木道雄	スポットセンサスによる鳥類調査と教育活 動への活用	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	27-28	2010
村瀬一隆・高徳佳絵・ 阿達康眞・才木道雄・ 荒木田善隆	南伊豆地方における巣箱設置によるヤマガ ラとシジュウカラの繁殖生態 (II)	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	29-30	2010
齋藤俊浩	演習林における利用者情報のデータベース 化	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	31-32	2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
芝野伸策	演習林技術職員の業務別の時間配分	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	33-34	2010
岡村行治	北海道演習林市売木の旭川銘木市への出品 について	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	43-44	2010
西山教雄	富士演習林における計景観林施業	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	45-46	2010
栗田直明・鶴見康幸	田無試験地に隣接する民地にかかる樹木の 伐採計画	農学生命科学研究科技術職員 研修会報告集	2010年度	47-48	2010

著書

著者名	題 目	書名・編者	出版社名	頁	年
蔵治光一郎	「森と水」の関係を解き明かす 現場からのメッセージ	「森と水」の関係を解き明かす 現場からのメッセージ	(社)全国林業改良普及協会		2010
蔵治光一郎	20世紀の河川思想を振り返る	社会的共通資本としての川・宇沢弘文・大熊孝(編)	東京大学出版会	33-49	2010
蔵治光一郎	東京大学の森林再生－自然の遷移か、人間の都合か－	蔵治光一郎(編)	東京大学演習林出版局		2010
蔵治光一郎	水と森と人	水の知－自然と人と社会をめぐる14の視点・東京大学「水の知」(サントリー)(編), 沖大幹(監修)	化学同人	33-52	2010
蔵治光一郎	第二回ため池シンポジウムinあいち二〇〇七の成果と今後の課題	知多半島の歴史と現在No.15・日本福祉大学知多半島総合研究所(編)	校倉書房	71-100	2010
尾張敏章	天然林択伐施業の収穫調査にGPSを活用	続林業GPS徹底活用術 応用編・全国林業改良普及協会編	全国林業改良普及協会	53-59	2010
尾張敏章	森林利用研究のレビュー：リモートセンシング・GPS・経営	森林利用学会誌25年のあゆみ・森林利用学会	森林利用学会		2010
齋藤暖生	地方行政の広域化と財産区：愛知県稲武地区の事例	ローカル・コモンズの可能性・三俣学・菅豊・井上真編著	ミネルヴァ書房		2010
白石則彦	諸言	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	5-6	2010
山本清龍	白砂青松	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	8-21	2011
齋藤暖生	マツの文化	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	22-35	2011
芝野博文	海岸のマツ	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	36-52	2011
浅野友子	海岸林の防潮機能	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	40-41	2011
芝野博文	文学作品に現れた海岸林	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	51-52	2011
坂上大翼	松枯れの歴史と松が枯れるメカニズム	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	56-66	2011
鎌田直人	松枯れ発生拡大と防除法	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	68-77	2011
高德佳絵	新居試験地海岸砂丘の成立	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	90-98	2011
高德佳絵	新居試験地の歴史的変遷	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	98-106	2011
渡部賢	新居試験地の植物	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	106-116	2011

著者名	題 目	書名・編者	出版社名	頁	年
田中延亮	森林の炭素収支とマツ枯れ	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	121-127	2011
井上淳	マツ枯れの経過	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	128-132	2011
澤田晴雄	防除と予防	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	132-137	2011
井上淳	現在の森林資源	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	138-141	2011
澤田晴雄	整備計画	マツ林をまもる(東京大学演習林「マツの森をまもる」演習委員会編)	東京大学演習林出版局	141-145	2011

外部資金によって行われた研究

科学研究費

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
山田利博・ 嶋田重裕	基盤研究(B)	マツノザイセンチュウに対する 抵抗性マツの抵抗性発現機構 の解明	山田利博	東京大学
鎌田直人・ 楠本 大	基盤研究B(海外)	媒介昆虫と病原菌の遺伝的変 異と病原性の変異からナラ枯れ の起源に迫る	鎌田直人	東京大学
尾張敏章	若手研究(B)	地理空間情報技術を用いた森 林生態系の精密管理システム の構築	尾張敏章	東京大学
浅野友子	若手研究(B)	山地源流域における降雨一流 出特性の広域比較手法の開発	浅野友子	東京大学
広嶋卓也	若手研究(B)	天然林の寿命分布の推定	広嶋卓也	東京大学
後藤 晋・ 尾張敏章・ 嶋田重裕	基盤研究(B)	北方針葉樹における環境適応 の実態と遺伝的メカニズムの解 明	後藤 晋	東京大学
田中延亮	若手研究(B)	山地林生態系における湿性・乾 性沈着量の定量化と樹冠収支 モデルの適用	田中延亮	東京大学
久本洋子	研究活動スタート 支援	タケ亜科植物における推定雑 種検出を可能とするDNAバー コーディングの検討	久本洋子	東京大学
齋藤暖生	特定領域研究	持続可能な発展の重層的環境 ガバナンス(A03:グローバル時 代のローカル・コモンズの管理)	室田武	同志社大学
鎌田直人	基盤研究A(一般)	森林の時空間的存在様式が昆 虫の遺伝的特性に及ぼす影響 ーブナ林の昆虫を対象としてー	久保田耕平	東京大学
鎌田直人	基盤研究A(海外)	高解像度衛星データ活用のため の東アジアの植生調査	村本健一郎	金沢大学
坂上大翼	基盤研究(B)	マツ材線虫病におけるキャビ テーション発生機構の解明	福田健二	東京大学
田中延亮	基盤研究(A)	タワー観測のネットワーク化によ る東南アジアの大気ー森林相 互作用の解明	平野高司	北海道大学
山田利博	基盤研究(B)	ブナ科樹木萎凋病菌の病原性 に関与する要因に関する研究	伊藤進一郎	三重大学
蔵治光一 郎	基盤研究(B)	マレーシア・サラワク州の熱帯雨 林における流出・水質形成プロ セスの研究	鈴木雅一	東京大学

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
山本清龍	基盤研究(B)	視覚障害者と協働して展開する森林ESDモデル	小林修	愛媛大学
広嶋卓也	基盤研究C(一般)	リモートセンシングに基づく地域資源予測モデルに立脚した風害危険管理システムの構築	白石則彦	東京大学
蔵治光一郎	基盤研究A(海外)	ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	北山兼弘	京都大学
尾張敏章	基盤研究(A)(海外)	トルコ・韓国・日本における森林資源の高次元多機能経済評価と国際生態系保全政策分析	吉本 敦	統計数理研究所
齋藤暖生	基盤研究(B)	限界集落における持続可能な森林管理のあり方についての研究	奥田裕規	森林総合研究所
山本清龍	基盤研究(B)	国立公園のリスクマネジメント-観光立国・高齢社会にふさわしいあり方	愛甲哲也	北海道大学

その他補助金

氏名	補助金等名称	研究課題	研究代表者	代表者所属
後藤晋・山田利博・鴨田重裕・尾張敏章・楠本大・坂上大翼	平成22年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立	後藤晋	東京大学
尾張敏章	財団法人日本科学協会海外発表促進助成	Customer-perceived value in the Japanese structural lumber market	尾張敏章	東京大学
尾張敏章	東京大学農学国際交流事業・国際シンポジウム開催経費補助費	林産物マーケティング・経営管理に関するIUFRO国際会議	尾張敏章	東京大学
久本洋子	知の頂点に向かって加速！東大プラン	女性研究者養成システム改革加速	久本洋子	東京大学
広嶋卓也	知の頂点に向かって加速！東大プラン	女性研究者養成システム改革加速	久本洋子	東京大学
山田利博	知の頂点に向かって加速！東大プラン	女性研究者養成システム改革加速	久本洋子	東京大学

奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
鎌田直人	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
蔵治光一郎	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
溝口隼平	ダム撤去を核とした自然再生、地域社会再生に関する総合的研究	(財)日本生命財団
安村直樹・齋藤暖生・高野充広	「緑と水の森林基金」調査研究事業	(社)国土緑化推進機構
北海道演習林 芝野博文	農学研究助成金	サントリー酒類(株)
北海道演習林 芝野博文	農学研究助成金	河内十郎
北海道演習林 芝野博文	農学研究助成金	東京大学運動会ワンダーフォーゲル部OB会長

受託研究費

氏名	研究課題名	委託機関
鎌田直人	平成22年度IARC-JAXA情報システム(IJIS)及び衛星データ等を利用した北極圏研究業務	JAXA
蔵治光一郎	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	独立行政法人科学技術振興機構
蔵治光一郎、 田中延亮	愛知フィールドにおける間伐による水・土砂流出の変化	独立行政法人科学技術振興機構
石橋整司	地球環境保全等試験研究費:種特性に基づいた里山二次林の多様性管理技術の開発:(小課題名)萌芽構造に関する種特性の解明	環境省
広嶋卓也	平成22年度農林水産省プロジェクト研究:農林水産分野における地球温暖化対策のための緩和及び適応技術の開発ー森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発	農林水産省

他機関との共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
芝野博文	北海道演習林と周辺の農地および河川に関する景観生態学的研究	王子木材緑化(株)北海道支店

■ 社会連携 ■

公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
房総の自然・植物・昆虫に関する調査・研究会	房総の自然・植物・昆虫に関する調査・研究会	千葉演習林	2010.4.1～2
鴨川市交流事業 「野鳥の巣箱をかけよう【野鳥観察会】」	鴨川市 千葉演習林	千葉演習林	2010.4.3
千葉県森林インストラクター会 「もりこん」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2010.4.10～11
千葉演習林「春の一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2010.4.14
尾瀬の自然を守る山ゆりの会 「自然観察会」	尾瀬の支線を守る 山ゆりの会	千葉演習林	2010.4.29
環境系「東大演習林」校外学習	千葉県立君津青 葉高等学校	千葉演習林	2010.6.2～3
戸村学園コスモス幼稚園 「ハイキング」	戸村学園コスモ ス幼稚園	千葉演習林	2010.7.16
(社)鴨川市青年会議所 青少年社会開発委員会「野外イベント」	(社)鴨川市青年 会議所 青少年社会開発 委員会	千葉演習林	2010.7.19
高校生のための 森と海のゼミナール実行委員会 「高校生のための森と海のゼミナール」	高校生のための 森と海のゼミ ナール実行委員 会	千葉演習林	2010.7.27～29
神奈川県足柄林業協会 「視察」	神奈川県足柄林 業協会	千葉演習林	2010.8.2
君津市周西公民館 「水生生物観察会」	君津市周西公民 館	千葉演習林	2010.8.4
日本地衣類研究会第39回大会	日本地衣類研究 会	千葉演習林	2010.9.4～5
千葉市立稲毛小学校 「農山村留学」	千葉市立稲毛小 学校	千葉演習林	2010.9.21
千葉県森林インストラクター会 「野外特別講座」	千葉県 森林インストラク ター会	千葉演習林	2010.10.20
内浦山県民の森主催 「天津～小湊・歴史をたどるハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2010.10.22
鴨川市立天津小学校 「総合学習【緑の教室】」	鴨川市天津小学 校	千葉演習林	2010.10.26
鴨川市交流事業 「野鳥の巣箱をかけよう【巣箱作り】」	鴨川市 千葉演習林	千葉演習林	2010.11.6

講座名	主催	開催場所	日程
千葉県立鴨川青年の家 「フレッシュイン鴨川」	千葉県立鴨川青年の家	千葉演習林	2010.11.11
千葉県議会事務局政務調査課 「議員視察」	千葉県議会事務局政務調査	千葉演習林	2010.11.12
鴨川市交流事業 「東京大学キャンパスツアー」	鴨川市 千葉演習林	本郷・弥生キャン	2010.11.13
日光市栗山地区林業振興会「視察」	日光市栗山地区 林業振興会	千葉演習林	2010.11.17
千葉県森林インストラクター会「野外特別講座」	千葉県 森林インストラクター会	千葉演習林	2010.11.21
千葉演習林「秋の一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2010.11.26～27
千葉県勤労者山岳連盟 「自然林観察会&紅葉ハイク」	千葉県 勤労者山岳連盟	千葉演習林	2010.11.28
どうだん山の会 周南公民館サークル	どうだん山の会	千葉演習林	2010.11.29
君津市上総地区民生児童委員	君津市上総地区 民生児童委員会	千葉演習林	2010.12.1
山の遠足クラブ「地形・地図読み実習」	山の遠足クラブ	千葉演習林	2010.12.1～2
千葉県森林インストラクター会「野外特別講座」	千葉県 森林インストラクター会	千葉演習林	2010.12.2
千葉演習林「秋の一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2010.12.3～4
千葉県勤労者山岳連盟「ロングハイク」	千葉県 勤労者山岳連盟	千葉演習林	2010.12.3
内浦山県民の森主催 「房総を歩こうロングハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2010.12.4
千葉県森林インストラクター会 「野外特別講座」	千葉県 森林インストラクター会	千葉演習林	2010.12.5
樹木・環境ネットワーク協会OB会「樹木観察会」	樹木環境ネットワーク協会 OB会	千葉演習林	2010.12.6～7
君津市教育委員会「植物観察会」	君津市教育委員会	千葉演習林	2010.12.9
東京山楽会「地形・植生実習」	東京山楽会	千葉演習林	2010.12.11～12

講座名	主催	開催場所	日程
蓑会体力作りサークル班 「森林博物資料館見学」	蓑会体力作り サークル班	千葉演習林	2010.12.14
千葉県木更津市郷土博物館 金のすず「自然観察会」	千葉県木更津市 郷土博物館 金のすず	千葉演習林	2010.12.19
内浦山県民の森主催 「初参りでハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2011.1.6
千葉演習林「森林博物資料館一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2011.2.3
鴨川市里山を守る会「樹木観察会」	鴨川市里山を守る 会	千葉演習林	2011.2.5
森林GISフォーラム東京シンポジウム	森林GISフォーラ ム	東京	2011.2.7
内浦山県民の森主催 「石尊山からハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2011.2.13
フィールズ 「トレイルラン&ハイク」	房総丘陵 トレイルラン&ハ イク	千葉演習林	2011.3.4～6
内浦山県民の森主催 「春の花火大会と石尊山ハイク」	内浦山県民の森	千葉演習林	2011.3.7
千葉県森林インストラクター会	千葉県 森林インストラク ター会	千葉演習林	2011.3.26
市民公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	2010.6.15
富良野地区合同ワークショップ 富良野地方の 美しい農山村景観維持のために一若々しく力 強い農山村と魅力的な観光都市の発展を願っ てー	北海道演習林・ 富良野地区広域 市町村圏振興協 議会・富良野市・ 上富良野町・中 富良野町・南富 良野町・占冠村・ 森林総合研究 所・北海道大学 サステナビリ ティー学教育研 究センター (CENSUS)	富良野市 文化会館	2010.11.27
第28回麓郷ラングラウフ	麓郷ラングラウフ 実行委員会	北海道演習林	2011.3.13
富良野市博物館・富良野の自然に親しむ会共 催講座「富良野の自然に親しむ集い 早春の森 を歩こうin東大演習林」	富良野市生涯学 習センター・博物 館・北海道演習 林	北海道演習林	2011.3.21

講座名	主催	開催場所	日程
サポーター養成講座第1回「秩父演習林の教育研究」	秩父演習林	秩父演習林	2010.4.24
木が香る秩父フェスティバル	木が香る秩父フェスティバル実行委員会	道の駅ちちぶ	2010.5.8～9
自由見学日	秩父演習林	秩父演習林	2010.5.14～15
サポーター養成講座第2回「秩父演習林(森林・施設)の管理・運営」	秩父演習林	秩父演習林	2010.5.27
サポーター養成講座第3回「秩父演習林の植物(樹木・草本)」	秩父演習林	秩父演習林	2010.6.19
サポーター養成講座第5回「秩父演習林の動物」	秩父演習林	秩父演習林	2010.7.8
公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	2010.7.17～18
サポーター養成講座第6回「森林生態系の管理と利用」	秩父演習林	秩父演習林	2010.8.7
サポーター養成講座第7回「林業生産と育林技	秩父演習林	秩父演習林	2010.9.9
サポーター養成講座第8回「森林の公益的機能(水源涵養・防災・景観)」	秩父演習林	秩父演習林	2010.10.7
自由見学日	秩父演習林	秩父演習林	2010.10.29
ワサビ沢展示室特別開室	秩父演習林	ワサビ沢展示室	2010.11.6～7
サポーター養成講座第9回「秩父演習林と秩父地方の歴史」	秩父演習林	秩父演習林	2010.11.11
サポーター養成講座第10回「森林における安全管理」	秩父演習林	秩父演習林	2010.11.18
サポーター養成講座第11回「森林環境教育」	秩父演習林	秩父演習林	2010.12.11
影森祭	秩父演習林	影森苗畑	2010.12.12
公開講座「大学って何してるの？—キャンパスの外での研究—」	秩父演習林	秩父演習林	2011.2.19
森林調査学習ツアー	愛知演習林	愛知演習林	2010.11.7
森林調査学習ツアー	愛知演習林	愛知演習林	2010.11.13
シンポジウム「ナラ枯れと身近な森の管理について考える」	愛知演習林・犬山市	犬山市役所	2011.1.30
マツ枯れ跡地に一緒にマツを植えませんか	愛知演習林	愛知演習林	2011.2.13
東大職員向け特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士演習林	富士演習林	2010.4.24
公開講座「薪・ペレット利用で創る癒しの森」	富士演習林	富士演習林	2010.9.12
教職員向け特別ガイド「富士演習林のきのこ」	富士演習林	富士演習林	2010.10.2
東京大学基金・特別体験セミナー「富士演習林できのこに親しむ」	富士演習林	富士演習林	2010.10.8
教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士演習林	富士演習林	2011.2.5
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2010.4.15
公開講座「新緑の森を歩こう」	樹芸研究所	樹芸研究所	2010.5.9

講座名	主催	開催場所	日程
公開講座「子ども樹木博士」	樹芸研究所	樹芸研究所	2010.7.4
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2010.10.14
森林教室	南伊豆町立南上 小学校	樹芸研究所	2010.11.5
温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2011.1.13
特別ガイド「香りを楽しもう」	樹芸研究所	樹芸研究所	2011.3.5～6
第16回西東京市「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を 育てる会	田無試験地	2010.6.6
第17回西東京市「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を 育てる会	田無試験地	2010.11.7
田無の森の探検隊ミッション9	西東京市保谷駅 前公民館・田無 演習林	田無試験地	2010.8.29
公民館講座	西東京市保谷駅 前公民館	西東京市保谷駅 前公民館、田無 演習林講義室	2010.4.26・7.28・8.18・ 12.1・12.8

講師の派遣等

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
軽込勉	環境系「東大演習林」校外学習	千葉県立君津青葉高等学校	千葉演習林	2010.6.3
三次充和	水生生物観察会	君津市立蔵玉小学校	七里川オートキャンプ場	2010.7.10
阿達康真	(社)鴨川市青年会議所 青少年社会開発委員会「野外イベント」	(社)鴨川市青年会議所 青少年社会開発委員会	千葉演習林	2010.7.19
井口和信	神奈川県足柄林業協会 「視察」	神奈川県足柄林業協会	千葉演習林	2010.8.2
三次充和	君津市周西公民館 「水生生物観察会」	君津市周西公民館	千葉演習林	2010.8.4
三次充和	千葉市立稲毛小学校 「農山村留学」	千葉市立稲毛小学校	千葉演習林	2010.9.21
技術職員全員	鴨川市立天津小学校 「総合学習【緑の教室】」	鴨川市天津小学校	千葉演習林	2010.10.26
井口和信	千葉県議会事務局政務調査課 「議員視察」	千葉県議会事務局政務調査	千葉演習林	2010.11.12
井口和信	鴨川市交流事業 「東京大学キャンパスツアー」	鴨川市 千葉演習林	本郷・弥生キャンパス	2010.11.13
井口和信	日光市栗山地区林業振興会 「視察」	日光市栗山地区 林業振興会	千葉演習林	2010.11.17
大川あゆ子	市立東山保育所、市立山部 保育所春の小遠足	富良野市立東山保育所	北海道演習林	2010.5.11
大川あゆ子	ことぶき大学山部校研修	富良野市生涯学習センター	北海道演習林	2010.5.12
松井理生・岡平卓巳	林内の見学	北海道帯広農業高等学校・森林科学科	北海道演習林	2010.9.15
松井理生	北理研旭川支部巡検	北海道高等学校理科研究会旭川支部	北海道演習林	2010.9.21
松井理生・木村徳志	森の自然観察学習	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2011.2.1
相川美絵子・原口竜成・吉田弓子	林間学校	秩父市立影森中学校	秩父演習林	2010.5.20
大村和也・相川美絵子・高野充広	職場体験	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	2010.7.7～9
大村和也	荒川の環境	埼玉県立寄居城北高等学校	秩父演習林	2010.7.26～27
大村和也	森と水を考える	埼玉県立熊谷西高等学校	秩父演習林	2010.8.12
大村和也・高野充広	生物実習「森と川を考える」	東京都立墨田川高等学校	秩父演習林	2010.8.12

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
原口竜成	原生林や溪流の素晴らしさと環境との関わりを学ぶ	秩父市立尾田蒔中学校	秩父演習林	2010.9.17
原口竜成・吉田弓子	総合的な学習における体験学習	秩父市立大滝小学校	秩父演習林	2010.11.29
才木道雄・高德佳絵・荒木田善隆	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2010.4.23
才木道雄	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2010.5.11
才木道雄・高德佳絵・荒木田善隆	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2010.6.11
才木道雄	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2010.7.21
澤田晴雄・才木道雄	森林保全方法と生物相の中 高生研修	灘中学校高等学校	愛知演習林	2010.8.3～4
澤田晴雄・後藤太成・井上淳・渡部賢・荒木田きよみ・才木道雄	特別授業「森林を通して、環境を科学の視点で考えよう」	梅村学園三重中学校	愛知演習林	2010.8.26
才木道雄・渡部賢	犬山市の里山の成り立ちについて	犬山市立南部中学校	愛知演習林	2010.10.28
才木道雄	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市立城東小学校	2010.11.8
才木道雄・荒木田善隆	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2010.11.19
才木道雄・荒木田善隆	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市立今井小学校	2011.2.5
澤田晴雄	水に親しむ親子体験ツアー	愛知中部水道企業団	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	2010.8.4
渡部賢	夏の森で「自然」をいっぱい体感しよう	コープあいち地域組合員活動支援部	赤津研究林	2010.8.22
澤田晴雄	次世代を担う子供達の感性を育む環境教育とまちづくり	地域環境活性化協議会	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	2010.8.31
才木道雄・渡部賢	いきものたんけん隊「夏の森で水生昆虫を探そう」	あいち自然環境団体・施設連絡協議会	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	2010.8.31
才木道雄	瀬戸の歴史講座館外学習	瀬戸市萩山公民館	赤津研究林	2010.9.11
才木道雄	せと環境塾	瀬戸市市民生活部環境課	赤津宿泊施設内講義室・赤津研究林	2011.3.20
鶴見康幸・栗田直明	西東京市公民館講座	西東京市保谷駅前公民館、田無演習林講義室	西東京市	2010.7.28・8.18・12.1・12.8

学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
山田利博	樹木医研修カリキュラム委員会	(財)日本緑化センター
山田利博	コーディネーター	(財)放射線利用振興協会
山田利博	千葉県森林審議会	千葉県
山田利博	千葉県試験研究機関評価委員会農林総合研究センター課題評価専門部会	千葉県
山田利博	千葉県国土利用計画地方審議会	千葉県
山田利博	千葉県土砂採取対策審議会	千葉県
山田利博	千葉県ヒメコマツ保全協議会	千葉県
山田利博	鴨川市文化財保護審議会	鴨川市
山田利博	樹木医学研究編集委員会	樹木医学会
広嶋卓也	常任理事	森林計画学会
広嶋卓也	関東地区運営委員	森林GISフォーラム
広嶋卓也	事務局	FORMATH研究会
広嶋卓也	千葉県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)策定検討委員会	千葉県環境生活部
広嶋卓也	英文誌編集委員会	日本森林学会
芝野博文	「地域管理経営計画等に関する懇談会」委員	北海道森林管理局
芝野博文	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
芝野博文	富良野市環境審議会委員	富良野市
芝野博文	南富良野区域環境情報協議会非常任委員	森林総合研究所森林農地整備センター
尾張敏章	森林・林業再生プラン実践事業検討委員	鶴居村森林組合
尾張敏章	大型計算機システムプログラム指導員	北海道大学情報基盤センター
尾張敏章	森林利用学会誌編集委員	森林利用学会
尾張敏章	南富良野地域環境情報協議会委員	森林総合研究所森林農地整備センター
尾張敏章	日本森林学会北海道支部幹事	日本森林学会北海道支部
坂上大翼	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
鎌田直人	兼六園マツ等樹木保全対策指導者	石川県
鎌田直人	「ふるさとの森 再び」推進委員会委員	テレビ金沢
鎌田直人	カモシカ対策協議会委員	埼玉県
鎌田直人	外部評価委員	森林総合研究所
鈴木牧	秩父地域獣害対策協議会幹事会	埼玉県
相川美絵子	技術部会	日本樹木医会
蔵治光一郎	日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会	文部科学省
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会	愛知県豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会	愛知県岡崎市
蔵治光一郎	環境審議会	愛知県瀬戸市
蔵治光一郎	せと環境塾運営委員会	愛知県瀬戸市
蔵治光一郎	理事会	日本森林学会中部支部
蔵治光一郎	国際委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	アジア太平洋水文水資源協会準備委員会対応小委員会	水文・水資源学会

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
蔵治光一郎	研究推進委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	編集委員会	不知火海・球磨川流域圏学会
齋藤暖生	日本森林学会理事会	日本森林学会
齋藤暖生	西和賀町地域活性化事業推進計画策定委員会	岩手県西和賀町
齋藤暖生	国際コモンズ学会招致DVD作成委員会	山中浅間神社有地入会管理組合
楠本 大	理事会	日本森林学会
楠本 大	理事会	樹木医学会

■ 国際交流 ■

交流事業

相手大学および 機関名	国名	協定締結 の有無	交流期間	目的
国立台湾大学	台湾	有	2010.9.28 ～30	共同研究打合せ・交歓会

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主 催	開催地	日 程
山田利博	XXIII IUFRO WORLD CONGRESS	IUFRO	ソウル（韓国）	2010.8.23～28
尾張敏章	XXIII IUFRO WORLD CONGRESS	IUFRO	ソウル（韓国）	2010.8.23～28
尾張敏章	International Conference on Managing Forest Resources For Multiple Ecosystem Services under Robust and Fragile Environments	RARC,ISM,GSAI,Univer sity of Hyogo,FORMATM Research Group	カンボジア	2010.8.9～10
尾張敏章	7th IUFRO International Conference on Uneven-aged Silviculture	IUFRO Unit 1.05.00 Uneven-aged silviculture,University of Ljubljana	スロベニア	2010.9.23～26
鎌田直人	EMEA, Kanazawa 2010	金沢大学	金沢大学	2010.9.27～28
蔵治光一郎	JSPS International Forum “Climate Changes in Monsoon Asia” (CCMA)	JSPS	バンコク	2011.1.6～7
蔵治光一郎	China-Japan Interdisciplinary Academic Salon for Young Scientists	JST	福州	2010.11.3

蔵治光一郎	Integrated study on Hydro-Meteorological Prediction and Adaptation to Climate change in Thailand (IMPAC-T) 1st forum	地球規模課題対応国際科学技術協力事業 (SATREPS)	バンコク	2010.8.4～6
田中延亮	2010 International Symposium on Environmental Monitoring in East Asia	金沢大学	金沢大学	2010.9.27～28
山本清龍	2011 International Workshop on Governance in Asian Protected Areas	the World Commission on Protected Areas Japan and Akita International University	Akita International University	2011.1.8～11
齋藤暖生	The 13th Biennial Conference of the International Association for the Study of Commons	The International Association for the Study of Commons	Hyderabad, India	2011.1.10～14

共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
鎌田直人	媒介昆虫と病原菌の遺伝的変異と病原性の変異からナラ枯れの起源に迫る	ベトナム森林科学研究所	Pham Quan Thu	ベトナム

外国人研究者の来訪

来 訪 目 的	日 程	国 籍	来訪人数
JICA札幌主催 平成22年度(地域別研修)「アジア・中南米地域C&I森林認証コース」	2010.6.27	アルゼンチン、中国、コロンビア、ミャンマー、ニカラグア、ペルー、ベトナム	13
JICA研修(地域住民の参加による多様な森林保全)	2010.9.26	アルゼンチン、中国、インド、ケニヤ、モザンビーク、フィリピン、スリランカ	17
見学	2010.9.24～25	アメリカ合衆国	1

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰国日
尾張敏章	北海道	韓国	「トルコ・韓国・日本における森林資源の高次元多機能経済評価と国際生態系保全政策分析」に関する研究打合せ	2010.5.20	2010.5.24
尾張敏章	北海道	韓国	森林資源高次元多機能評価モデリング現地調査のため	2010.6.29	2010.7.2
尾張敏章	北海道	カンボジア	国際会議「頑健で脆弱な環境下における多面的生態系サービスのための森林資源管理」における研究発表のため	2010.8.7	2010.8.11
尾張敏章	北海道	韓国	第23回国際森林研究機関連合世界大会における研究発表のため	2010.8.22	2010.8.29
尾張敏章	北海道	スロベニア・クロアチア	異齢林管理に関するIUFRO国際会議における研究発表および資料収集のため	2010.9.21	2010.10.2
鎌田直人	秩父	韓国	IUFRO拡大理事大会・国際委員会・IUFRO世界大会シンポジウムオーガナイザー・講演	2010.8.18	2010.8.29
鎌田直人	秩父	アメリカ	温暖化とキクイムシの大発生と山火事の相互作用に関する調査	2010.9.2	2010.9.10
鎌田直人	秩父	ロシア	ナラ枯れ調査	2010.9.12	2010.9.19
鎌田直人	秩父	中国	共同研究打合せ	2010.10.10	2010.10.11
鎌田直人	秩父	ベトナム	カシノナガキクイムシと共生菌の調査	2010.10.12	2010.10.17
鎌田直人	秩父	インドネシア	共同研究打合せ	2010.12.21	2010.12.28
丹羽悠二	秩父	インドネシア	インドネシアの植物園・博物館における管理方法の情報収集	2010.12.21	2010.12.28
平尾聡秀	秩父	ギリシャ	国際生物地理学会における講演	2011.1.5	2011.1.13
鎌田直人	秩父	インド	カシノナガキクイムシと共生菌の調査	2011.2.2	2011.2.13
鎌田直人	秩父	ベトナム	カシノナガキクイムシと共生菌の調査	2011.3.21	2011.3.23
蔵治光一郎	愛知演習林	マレーシア	マレーシア・サラワク州の熱帯雨林における流出・水質形成プロセスの研究	2010.6.25	2010.7.1
蔵治光一郎	愛知演習林	エクアドル	Walker循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	2010.7.19	2010.7.30
蔵治光一郎	愛知演習林	タイ	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	2010.8.3	2010.8.7
蔵治光一郎	愛知演習林	マレーシア	雲霧林生態系調査	2010.8.9	2010.8.17
蔵治光一郎	愛知演習林	マレーシア	雲霧林生態系調査	2010.10.7	2010.10.20
蔵治光一郎	愛知演習林	中国	日中異分野研究交流会	2010.11.2	2010.11.6
蔵治光一郎	愛知演習林	タイ	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	2011.1.5	2011.1.15
蔵治光一郎	愛知演習林	マレーシア	マレーシア・サラワク州の熱帯雨林における流出・水質形成プロセスの研究	2011.1.30	2011.2.7
田中延亮	愛知演習林	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査	2010.6.26	2010.7.2
田中延亮	愛知演習林	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査	2010.7.24	2010.7.31
田中延亮	愛知演習林	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査	2010.10.18	2010.10.26
田中延亮	愛知演習林	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査、研究打ち合わせ	2010.2.19	2010.2.25
山本清龍	愛知演習林	アメリカ・カナダ	科研調査	2010.9.14	2010.9.29
山本清龍	愛知演習林	ニュージーランド	科研調査	2010.12.7	2010.12.14
齋藤暖生	富士演習林	フィンランド	万人権に関する現地調査	2010.9.18	2010.9.25
齋藤暖生	富士演習林	インド	IASC世界大会への参加	2011.1.9	2011.1.15
安村直樹	田無	ニュージーランド	ニュージーランド(NZ)における林地投資に関する調査	2010.9.5	2010.9.11
小川瞳	北海道	スウェーデン・デンマーク	スウェーデン式コンテナ苗生産の現地検討、植物園における遺伝資源の収集と配置に関する調査	2010.11.1	2010.11.9
後藤晋	研究部	スウェーデン	スウェーデンにおける針葉樹コンテナ苗生産の現地検討	2010.11.2	2010.11.9

■ 出版広報活動 ■

演習林報告

「演習林報告」123号・124号を発行した。

演習林報告第123号 2010年7月25日発行

奥山洋一郎・永田 信 立地条件による学校林の相違と地域社会の関係 :2001年学校林現況調査の結果から	1-15
堀田紀文・奈良康平・小田智基・鈴木雅一 降雨イベント中の土壌中二酸化炭素濃度と土壌呼吸速度の変化	17-32
指村奈穂子・池田明彦・井出雄二 ユビソヤナギの広域的な潜在生育域推定及び分布変遷に関する考察	33-51
石塚 航・梶 幹男 DEMを用いた秩父天然林における小地形の抽出とブナとイヌブナの分布特性	53-69
林 宇一 林業におけるMincer型賃金関数の作成 —兵庫県但馬地域内森林組合作業班員を対象として	71-86

演習林報告第124号 2011年3月25日発行

伊藤 弘 近代における海岸林の風景生成過程	1-16
後藤晋・小川瞳・石塚航・松井理生・木村徳志・岡村行治 東京大学北海道演習林における採種地の違いが アカエゾマツ植栽個体の生存と成長に及ぼす影響	107-118

演習林

「演習林」50号を発行した。

演習林第50号 2011年3月31日発行

林 宇一 兵庫県北部但馬地域内森林組合作業班員の就業意識	1-39
浅野友子・芝野博文・田中延亮・大川あゆ子・浅井和由 フロン類をトレーサに用いた西達布川源流湧水の平均滞留時間推定	41-48
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林愛知演習林 愛知演習林量水観測結果報告(VII)	49-71
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 東京大学演習林気象報告(自2009年1月至2009年12月)	73-98

科学の森ニュース



■第50号 ■ 2010年6月10日発行

【表紙記事】北海道演習林長 梶幹男先生の最終講義が行われました

《記事》

- ・豊英島にてヒメコマツ植栽イベント開催（千葉演習林）
- ・大温室、源泉櫓の改修工事の竣工（樹芸研究所）
- ・愛知演習林リーフレット4 出版のご案内（愛知演習林）
- ・演習林所属学生岡田桃子さん学部長賞受賞
- ・演習林のイベントダイジェスト 2010年3月～2010年9月

<クローズアップ>

東京大学附属中等教育学校の宿泊研修（北海道演習林）

<科学の森の動植物紹介>

ツタウルシ（富士演習林）

<名所・名物紹介>

樹芸研名物「伊豆ゼミ」（樹芸研究所）



■第51号 ■ 2010年9月10日発行

【表紙記事】田無試験地80周年記念出版（田無試験地）

《記事》

- ・全学体験ゼミナール特集！（教育推進委員会）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2010年6月～2010年12月

<クローズアップ>

自然環境デザインスタジオ（秩父演習林）

<科学の森の動植物紹介>

アカボシゴマダラ（田無試験地）

<コラム>

竹の“花咲かじいさんの灰”を発見！？（千葉演習林 久本洋子）



■第52号 ■ 2010年12月10日発行

【表紙記事】湖畔広場に新しい東屋ができました（富士演習林）

《記事》

- ・市民公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産 ～初秋の演習林を訪ねて～」が開催されました（北海道演習林）
- ・秋の自由見学日（秩父演習林）
- ・温室特別公開日（樹芸研究所）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2010年9月～2011年3月

<クローズアップ>

地域交流紹介（教育編）－君津青葉高校－（千葉演習林 軽込勉）

<科学の森の動植物紹介>

オオシマザクラ（樹芸研究所）

<名所・名物紹介>

秋の猪ノ川溪谷（千葉演習林）



■第53号 ■ 2011年3月10日発行

【表紙記事】全国銘木展示大会（2011.1.25名古屋）に初出品！（北海道演習林）

《記事》

- ・ニホンジカ生育調査（千葉演習林）
- ・シンポジウム「ナラ枯れと身近な森の管理について考える」（愛知演習林）
- ・千葉演習林のケヤキが館銘板になりました（千葉演習林・広報情報室）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2010年11月～2011年6月

<クローズアップ>

気象データ解析研究会（気象データ解析研究会）

<科学の森の動植物紹介>

カシノナガキクイムシ（愛知演習林）

<コラム>

種の多様性が維持される仕組みを考える（秩父演習林 平尾聡秀）

演習林出版物

■ 東京大学愛知演習林リーフレット① ■

【東京大学赤津研究林の見どころ－2010年改訂版－】

編集 東京大学愛知演習林 2011年5月28日 第1刷発行

発行者 東京大学愛知演習林

発行所 東京大学演習林出版局

税込価格 500円 A5判 30頁

ISBN4-903321-10-3 C0037 ¥476 E

《目次》

- ・森に入る前に ・ようこそ赤津研究林へ
- ・森林, 植物 ・鳥類, 動物, 昆虫
- ・モデルコース ・モデルコースの概要
- ・A赤津宿泊施設 ・B気象観測露場
- ・C白坂量水堰 ・水質の調査
- ・白坂量水堰の砂出し ・ヤマガラとシジュウカラの繁殖生態調査
- ・D～G小流域水位観測施設 ・長期生態系モニタリング
- ・H, J, K測量学実習用測点, IIはげ山
- ・L東海豪雨による崩壊跡地 ・M間伐を遅らせたヒノキ人工林
- ・Nスギ第一見本林 ・Oヒノキ密度試験地



■ 東京大学愛知演習林ブックレット③ ■

【東京大学の森林再生－自然の遷移か, 人間の都合か－】

蔵治 光一郎 編集 2011年1月30日発行

発行者 東京大学愛知演習林

発行所 東京大学演習林出版局

税込価格 1,000円 A5判 126頁

ISBN4-903321-11-0 C0061 ¥953 E

《目次》

はじめに

主催者挨拶

歓迎の挨拶

【基調講演】

「愛知県尾張地方の森と水の過去, 現在, 未来」 蔵治光一郎

【パネルディスカッション】

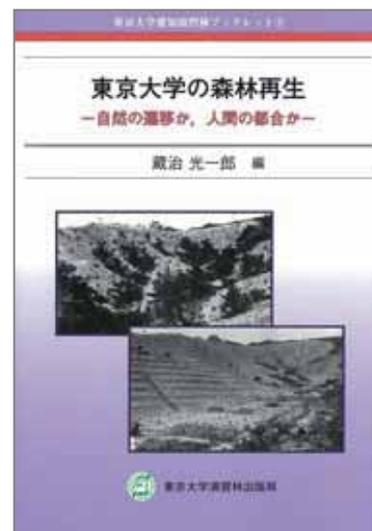
コーディネーター 芝野博文

パネラー 大竹勝・古市博之・大澤春都詩

【寄稿】

「犬山の森」の未来-基調講演の感想と市民活動について 紀藤 昌仁

今犬山の森を考えるととき 福田 秀雄



【マツの森をまもる】

編者 東京大学演習林「マツの森をまもる」編集委員会 2011年3月31日発行

税込価格 1,200円 四六判 148項

ISBN4-903321-12-7 C0061 ¥1143 E

《目次》

- 緒言
 - 日本人とマツ
 - ・白砂青松 ・マツの文化 ・海岸のマツ
 - マツ材線虫病の歴史
 - ・松枯れの歴史とマツが枯れるメカニズム ・松枯れ発生拡大と防除法
 - ・失われゆく松原の風景
 - 東大新居試験地と松枯れ
 - ・東大の森「新居のマツ林」
新居試験地海岸砂丘の成立, 新居試験地の歴史の変遷,
新居試験地の植物, 森林の炭素収支と松枯れ
 - ・松枯れの進行
マツ枯れの経過, 防除と予防
 - ・松枯れ対策の現状と今後
現在の森林資源, 整備計画
 - あとがき
- 【コラム】
- ・海岸林の防潮機能
 - ・文学作品に現れた海岸林



新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	房日新聞	2010.4.9	久留里から布良まで 房総分水嶺⑧札郷へ
千葉演習林	房日新聞	2010.4.9	卵が産んであった！東大演習林自然教室 児童ら手作り巣箱を観察
千葉演習林	房日新聞	2010.4.10	久留里から布良まで 房総分水嶺⑨吊り橋へ
千葉演習林	房日新聞	2010.4.11	久留里から布良まで 房総分水嶺⑩四郎治へ
千葉演習林	房日新聞	2010.4.13	久留里から布良まで 房総分水嶺⑪郷台林道へ
千葉演習林	房日新聞	2010.4.14	久留里から布良まで 房総分水嶺⑫四方木へ
千葉演習林	房日新聞	2010.4.16	久留里から布良まで 房総分水嶺⑭田代林道へ
千葉演習林	読売新聞	2010.4.27	生き物は訴える シカに乗りヤマビル里へ
千葉演習林	少年写真新聞	2010.5.28	理科教育ニュース787号掲載記事(画像提供)
千葉演習林	放送大学	2010.10.15	大学の窓「モミ・ツガ天然林の紹介」
千葉演習林	NHK首都圏	2010.12.15	こんにちは関東いっと6けん「秋の一般公開について」
千葉演習林	千葉日報	2011.1.11	絶滅危機のヒメコマツ 接ぎ木苗で種子生産成功
千葉演習林	毎日新聞	2011.2.4	新燃岳噴火:空振、関東でも観測 千葉で7パスカル
北海道演習林	北海道新聞	2010.5.22	防護柵着実に効果 富良野のエゾシカ対策
北海道演習林	日刊富良野	2010.5.22	春の自然観察会
北海道演習林	北海道新聞	2010.6.4	野生生物を定点観測 森林総研道支所など道内9カ所自動撮影
北海道演習林	北海道新聞	2010.7.8	東大演習林で高校生が研修 大麓山に登る
北海道演習林	北海道新聞	2010.7.22 2010.7.29	富良野市博物館「シマフクロウ特別展」森の神の生態知ろう
北海道演習林	北海道新聞	2010.8.25	「演習林や木材工場視察」IUFRO国際会議
北海道演習林	北海道新聞	2010.9.8	クスサン大量発生
北海道演習林	社会新報	2010.9.22	森の扉の向こうには 第6回 壮大な森林実験その1
北海道演習林	日刊富良野	2010.10.5	ふらの環境展 本当のエコとは？ 大勢の市民や子ども達が訪れる
北海道演習林	日刊富良野	2010.10.5	十勝岳望岳台でエゾナキウサギの観察を楽しむ
北海道演習林	社会新報	2010.10.20	森の扉の向こうには 第7回 壮大な森林実験その2
北海道演習林	NHKテレビテキスト「住まい自分流」	2010.10月号	ニッポンの材産 天然林
北海道演習林	日刊富良野	2010.11.13	「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」ワークショップ案内
北海道演習林	日刊富良野	2010.11.13 2010.11.16	「富良野の木と森」－私の散歩道－ 倉橋先生のコラム
北海道演習林	北海道新聞	2010.11.27	「守って活力に 農山村の景観」富良野市ワークショップ
北海道演習林	木材工業新聞	2011.1.19	第33回全国銘木展示大会新春初市(木材展開催案内)

演習林名	メディア	日付	内容
北海道演習林	木材工業新聞	2011.2.2	全天連名国有林 木曾ヒノキ80万円、セン35万円 品薄の良材に活発応札で活況(全国銘木展示大会)
北海道演習林	北海道新聞	2011.3.22	「森で感じる野生の息吹」 シカ・ワシウォッチング
秩父演習林	NHKラジオ第一	2010.11.11	ラジオあさいちばん 「ナラ枯れについて」
秩父演習林	市報ちちぶ	2010.6.10	公開講座「東大の森林で昆虫採集」 募集記事
秩父演習林	広報よこぜ	2010.10.1	自由見学日 募集記事
秩父演習林	広報おがの	2010.10.1	自由見学日 募集記事
秩父演習林	市報ちちぶ	2010.10.10	自由見学日 募集記事
秩父演習林	NHK教育	2010.10.14	10min.ボックス国語/現代文(2007年制作)の番組
秩父演習林	広報はんのう	2010.10.15	自由見学日 募集記事
秩父演習林	市報ちちぶ	2010.11.10	影森祭 募集記事
秩父演習林	広報おがの	2011.1.1	公開講座「大学って何してるの?—キャンパスの外での研究—」 募集記事
秩父演習林	広報みなの	2011.1.1	公開講座「大学って何してるの?—キャンパスの外での研究—」 募集記事
秩父演習林	広報はんのう	2011.1.1	公開講座「大学って何してるの?—キャンパスの外での研究—」 募集記事
秩父演習林	市報ちちぶ	2011.1.10	公開講座「大学って何してるの?—キャンパスの外での研究—」 募集記事
秩父演習林	弥生	2011. Spring	演習林からのおくりもの ~秩父演習林~
秩父演習林 田無試験地	sarai	2010年8月号	秩父演習林と田無試験地(生態調和農学機構)の紹介
愛知演習林	朝日新聞	2010.5.16	サカキ9本伐採、盗まれる
愛知演習林	中日新聞	2010.5.16	演習林からサカキ盗難
愛知演習林	毎日新聞	2010.5.16	サカキ伐採持ち去り
愛知演習林	読売新聞	2010.5.16	瀬戸のサカキ9本切られる
愛知演習林	シヨッパー(地元広報誌)	2010.6.3	街トピ:演習林源流体験ツアーの紹介
愛知演習林	中日新聞	2010.6.6	『森と水』の関係を解き明かす 現場からのメッセージ」 著書
愛知演習林	福井新聞	2010.6.8	湿地に重要な水量左右
愛知演習林	朝日新聞	2010.6.19	『森と水』の関係を解き明かす」
愛知演習林	神戸新聞	2010.6.21	森林と水の関係探る 初の報告会 水位・水質
愛知演習林	WEDGE第22巻第9号	2010.8.20	日本の森林「孤独死」寸前 インタビュー掲載
愛知演習林	読売新聞	2010.8.23	親子ら森を観察 瀬戸で野外講座
愛知演習林	矢作新報	2010.10.22	森づくりシンポ 豊田市長講演も
愛知演習林	矢作新報	2010.10.29	森づくりシンポジウム 土石流の体験談も
愛知演習林	中日新聞	2010.11.9	「ダム建設根拠過大設定か」

演習林名	メディア	日付	内容
愛知演習林	中日新聞	2010.11.9	こちら特捜部「計画手法転換せよ」「進まぬ前提工事」
愛知演習林	月刊なごや第339号	2010.12.1	私の意見 ハゲ山からの森林再生
愛知演習林	熊本日日新聞	2011.1.4	荒瀬ダム「廃ダム」記録残したい 東大大学院 研究員溝口さん移住
愛知演習林	読売新聞	2011.3.21	学ぼう「森林の4割以上、「森の砂漠」
富士演習林	山梨日日新聞	2010.9.8	公開講座「ペレット・薪利用で創る癒しの森」の 案内
富士演習林	山梨日日新聞	2010.9.17	東大富士演習林でペレット作り学ぶ
富士演習林	林政ニュース	2010.9.22	ペレット製造実演で交流
富士演習林	山梨日日新聞	2011.1.7	2年後、北麓で国際学会 富士山麓の入会地 海外に発信
富士演習林	Deutschlandfunk	2011.1.19	研究紹介
富士演習林	山梨日日新聞	2011.2.23	遠隔授業 森林の四季学ぶ 超高速回線でやり とり
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.4.2	温室特別公開見学者募集
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.4.16	温室特別公開
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.5.11	公開講座「新緑の森を歩こう」
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.6.21	公開講座「子ども樹木博士」参加者募集
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.6.28	公開講座「子ども樹木博士」参加者募集
樹芸研究所	下田有線テレビ	2010.7.1	全面改修された大温室
樹芸研究所	小林テレビ	2010.8.4	公開講座「子ども樹木博士」
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.10.15	温室特別公開
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.10.20	記者コラム「狩猟シーズン、有害獣減期 待」
樹芸研究所	伊豆新聞	2010.12.16	温室特別公開見学者募集
樹芸研究所	伊豆新聞	2011.3.1	全学体験ゼミ
田無試験地	タウン通信第56号	2010.5.12	田無試験地の80年、本に
研究部	理系女性のきらめく未来 (科学技術振興機構)	2010.4.5	山や森での調査によって自然のしくみを知る
本部	U7(学士会)	2010.10月号	U7 Interview FILE 070

■ 利用状況 ■

演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
滝川寛之	ウダイカンバ二次林資源の再生に関する研究	東京大学卒業論文			2011
倉持佳弘	スギ成木の光合成速度と葉肉CO2拡散抵抗	東京大学卒業論文			2011
五十嵐 隼	秩父山地におけるオノオレカンバの生育地環境と遺伝構造	東京大学卒業論文			2011
塚田幹人	東京大学千葉演習林におけるヒノキ高齢林の地位評価	東京大学卒業論文			2011
大杉拓人	都市部のキツネと山間部のキツネの食性の違い	千葉大学卒業論文			2011
※ 角谷奈美	北海道の天然林においてエゾモモンガが利用する樹洞に関する研究	帯広畜産大学卒業論文			2008
※ 丸亀麻由香	トドマツおよびエゾマツ優占針広混交林における樹洞資源—エゾモモンガの営巣可能性を探る—	帯広畜産大学卒業論文			2009
※ 和泉功	北海道の天然林におけるエゾリスの生息環境	帯広畜産大学卒業論文			2009
鈴木愛未	山間部天然林に生息するエゾモモンガの巣箱調査—個体数推定について—	帯広畜産大学卒業論文			2010
林明日香	異なる繁殖期におけるエゾモモンガの産仔数およびその性比の比較—季節による繁殖戦略の違いについて—	帯広畜産大学卒業論文			2011
上田裕之	北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガの巣箱利用性に関する研究	帯広畜産大学卒業論文			2011
鈴木麻衣	東京都田無東大演習林におけるニワウルシの根切りと生態	日本大学卒業論文			2011
本田結実	東京大学田無試験地におけるニワウルシの動態	日本大学卒業論文			2011
梯公平	ヒメボタルの分布と活動性に影響を与える環境要因の解析	東京大学修士論文			2011
土金慧子	ニホンカナヘビの生息地としての棚田畦畔の評価	東京大学修士論文			2011
葛鋒	東京大学千葉演習林におけるスギ高齢林の地位評価	東京大学修士論文			2011
辰巳晋一	立地環境と伐採方法が異なる条件下での針広混交林の動態と木材収穫—個体ベースモデルによるシミュレーション—	東京大学修士論文			2011
新田一仁	暖温帯常緑広葉樹二次林における地上部木質バイオマスと植物種の多様性	東京大学修士論文			2010
花岡健太	夜間の葉への水滴付着がスギ成木の水分生理状態に与える影響	東京大学修士論文			2011
※ 春日速水	昆虫嗜好性線虫の侵入定着と遺伝的構造に及ぼす種間交雑と媒介昆虫種数の影響	東京大学修士論文			2009
阪口翔太	歴史的分布変遷がハリギリの遺伝的多様性と空間的遺伝構造に及ぼす影響	京都大学修士論文			2010
中村光一朗	房総半島における洞窟棲コウモリの分布とねぐら選択要因	筑波大学修士論文			2011
※ 加藤アミ	北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガの巣箱利用に関する研究	帯広畜産大学修士論文			2009
山口珠輝	森林環境におけるオサムシ科甲虫類群集—特に植生および攪乱歴の違いとの関係について—	帯広畜産大学修士論文			2010
和泉功	北海道の天然林に生息するエゾリスのエゾマツ球果資源利用性	帯広畜産大学修士論文			2011
石塚 航・梶 幹男	DEMを用いた秩父天然林における小地形の抽出とブナとイヌブナの分布特性	東京大学農学部演習林報告	123	53-69	2010
浅野友子・芝野博文・田中延亮・大川あゆ子・浅井和由	フロン類をトレーサに用いた西達布源流湧水の平均滞留時間推定	演習林	50	41-48	2011
孫芝英・酒井秀夫・仁多見俊夫・櫻井倫	3次元地質情報を利用した路網計画	日森学術講	121	Pa1-84	2010
小泉紀彰・鎌田直人・山中征夫	ヤマビル(<i>Haemadipsa zeylanica japonica</i>)のトラップ開発と行動生態学的研究	日森学術講	121	C19	2010

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
	辰巳晋一・尾張敏章・犬飼 浩・白石則彦・山本博一	北海道中央部の択伐天然林における樹種構成と立地条件の関係	日林学術講	121	Pb1-10	2010
	春日速水・富樫一巳	2樹種の針葉樹切株におけるニセマツノザイセンチュウ密度の時間的変化に及ぼす伐採時期の影響	日林学術講	121	C36	2010
	ISHIZUKA Wataru, OGAWA Hitomi, GOTO Susumu	Testing the home-site advantage hypothesis in <i>Abies sachalinensis</i> consequence of 36-year reciprocal transplant experiments along an altitudinal gradient	日林学術講	121	J03	2010
	斎藤 馨・中村和彦・大辻 永・豊田かおり・中山雅哉・藤原章雄・安東孝二・岩岡正博	ブナの枝葉と映像を用いた小学校理科遠隔授業	日森学術講	121	G14	2010
	中村和彦・斎藤馨・藤原章雄・米谷法子	15年間の森林モニタリング映像を用いた樹木フェノロジーの年変動解析	日森学術講	121	L42	2010
	今村直広・田中延亮・山本博一・藤原章雄	秩父山地ブナ・イヌブナ林における純林内雨沈着の観測と解析	日森学術講	121	Pb2-31	2010
	三輪 誠	埼玉県秩父における大気中オゾン濃度の測定ーブナ林に対する影響に着目してー	日森学術講	121	Pb2-32	2010
	赤見亜衣・梅林利弘・福田健二	コンパクトMRI からみたマツ材線虫病における通水阻害進展と線虫分布の関係	日林学術講	121	D11	2010
	小松雅史・松下 範久・高橋由紀子・宝月岱造	サクラてんぐ巣病菌のソメイヨシノ樹体内における潜伏部位	日林学術講	121	C03	2010
	孫 貞阿・宝月 岱造	抵抗性と感受性マツにおけるマツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの移動	日林学術講	121	C14	2010
	長山美由貴	森林生態系への窒素流入における樹冠の役割に関する研究	日林学術講	121	Pb2-30	2010
	土肥和貴・田中延亮・蔵治光一郎	過密ヒノキ人工林の樹冠遮断量	日林学術講	122	663	2011
	渡辺翔・田中延亮・秋山梢・加藤拓実・後藤太成	Granier法で求めたコナラの吸水量と実吸水量との比較	日林学術講	122	656	2011
	今村直広・田中延亮・大手信人・山本博一・藤原章雄	奥秩父ブナ・イヌブナ林における無機イオン物質の純林内雨沈着量の季節変動	日林学術講	122	723	2011
	永井牧子・櫻井尚武	ニワウルシの根切り処理による応答	日林学術講	122	C08	2011
	長山美由貴・大手信人・小田智基・鈴木雅一	森林生態系への窒素流入における樹冠の役割に関する研究	日林学術講	122	Pb2-30	2011
	安村直樹	一般家庭における木質バイオエネルギーの経済性	日林学術講	122		2011
※	土金慧子・宮下直	ニホンカナヘビの生息地としての棚田景観の評価	日本生態学会要旨	57	P3-125#	2009
※	梯公平・倉西良一・鎌田直人	ベイトトラップを用いたヒメボタル幼虫の移動分散距離の推定	日本生態学会要旨	57	P2-300#	2009
	永井牧子・大貫真孝・竹内野衣・櫻井尚武・上村真由子	異なる環境下でのニワウルシ動態比較ー日本大学藤沢演習林と東京大学田無試験地ー	日本生態学会要旨	58		2011
	今村直広・大手信人・田中延亮・小田智基・長山美由貴・鈴木雅一	大気負荷が異なる環境下における樹体での栄養塩の吸収・溶脱の比較	日本生態学会要旨	58	P1-166	2011
	和泉功・松井理生・押田龍夫・林良博	北海道の天然林におけるエゾリスのエゾマツ球果利用率：41,000個の球果が語るその実態とは？	第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会	P-070	121	2010
	林明日香・鈴木愛未・加藤アミ・松井理生・井口和信・岡平卓巳・押田龍夫・林良博	異なる繁殖期におけるエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の産仔数およびその性比の比較：季節による繁殖戦略の違いについて（予報）	第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会	P-072	122	2010
	梶村 恒, 小角隆文, 伊藤昌明, 軸丸祥大	イチジク樹に穿孔するアイノキイムシの分布域と系統	第54回日本応用動物昆虫学会大会			2010
※	森田えみ・永野純・山本博一・村川功雄・相川美絵子・SirakawaTaro	Two Thirds of Forest Walkers with Japanese Cedar Pollinosis Visit Forests even During the Pollen Season	Allergology international	58	383-388	2009

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
※	森田えみ・福田早苗・永野純・中島皇・山本博一・岩井吉彌・H,Ohira・T,Shirakawa	Psychological effects of forest environments on Healthy adults: Shinrin-yoku(forest-air athing,walking)as a possible method of stress reduction	Public Health	121	54-63	2007
※	森田えみ・永野純・福田早苗・中島皇・岩井吉彌・山本博一・浜島信之	森林に行く頻度と主観的健康状態に関する横断的研究	日本生気象学会雑誌	46-4	99-107	2009
	辰巳晋一・尾張敏章・山本博一・白石則彦	天然択伐林施業による42年間の林分構造の変化	関東森林研究	61	53-56	2010
	Nami Kadoya, Kazunobu Iguchi, Masaki Matsui, Takumi Okahira, Ami Kato, Tatsuo Oshida and Yoshihiro Hayashi	A preliminary survey on nest cavity use by Siberian flying squirrels, Pteromys volans orii, in forests of Hokkaido Island, Japan	Russian journal of theriology	9 (1)	27-32	2010
	Mayuka Marugame, Isao Izumi, Masaki Matsui, Takumi Okahira, Tatsuo Oshida and Yoshihiro Hayashi	Cavity resources for Siberian flying squirrel, Pteromys volans orii, in two different habitats in Hokkaido, Japan	Russian journal of theriology	9 (1)	39-43	2010
	Hayami Kasuga, Kazunobu Iguchi, Masaki Matsui and Katsumi Togashi (春日速水・井口和信・松井理生・富樫一巳)	Diel activity and behaviour of Monochamus urussovi aduts on Abies sachalinensis and Picea jezoensis stumps (トドマツとエゾマツの切株におけるシラフヨツボシヒゲナガカミキリ成虫の日周活動と行動)	Tree and Forest Health (樹木医学研究)	14(4)	174-179	2010
※	辰巳晋一・尾張敏章・山本博一・白石則彦	天然択伐林の林分構造の違いによる成長の比較ー東京大学北海道演習林の事例ー	日林北支	58		2009
	Hotta, N., Tanaka, N., Sawano, S., Shiraki, K., Kuraji, K., Suzuki, M.	Changes in groundwater level dynamics after low-impact forest harvesting in steep, small watersheds	Journal of Hydrology	385	120-131	2010
	Tanaka, N., Kuraji, K., Shibano, H., Hotta, H., Yamada, T., Fujiwara, A., Kamoda, S., Owari, T., Asano, Y., Yamamoto, K., Kamata, N.	Monitoring network investigating the response and vulnerability of forest ecosystems to the changing climate: long-term data sets of meteorology, hydrology and hydrogeochemistry of Tokyo University Forests	Proceedings of Environmental Monitoring in East Asia in Kanazawa		37-38	2010
	今村直広・田中延亮・大手信人・山本博一	秩父山地ブナ・イヌブナ林の樹冠部における物質循環プロセス	日本地球惑星科学連合2010年大会予稿集	Disc 1	MIS006-P02	2010
	松永壮・望月智貴・遠藤由希子・大野卓夫・谷晃	スギからの高分子量VOC (セスキテルペン) 放出	日本地球惑星科学連合2010年大会予稿集			2010
	前田賢治・田中隆文・田中延亮	里山流域(東大愛知演白坂流域)における長期流出・土壌水分動態とそのモデル化	水文・水資源学会2010年研究発表会要旨集	23	134	2010
	長山美由貴・大手信人・尾坂兼一・小田智基・鈴木雅一	森林生態系への降水とともに流入する栄養塩の樹冠における生物地球化学変化について	日本陸水学会第75回大会		2B-06	2010
	望月智貴・松永壮・谷晃	温度がスギ、ヒノキのモノテルペン放出量に及ぼす影響と四季の基礎放出速度	日本農業気象学会2010年大会			2010
	松永壮・中塚誠次・望月智貴・遠藤由希子・大野卓夫・谷晃	スギからの揮発性有機化合物放出量推計	日本地球化学会年会			2010
	松永壮・中塚誠次・茶谷聡・谷晃	資源構成表によるスギとヒノキの資源量推計と、モノ・セスキテルペンの放出量推定	生物起源微量ガスワークショップ2010			2010

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
山田利博・村田政穂	数種樹木の自然傷害枝のNRGおよび組織化学的観察	樹木医学会講要	15	45	2010
楠本 大・米道学・村田政穂・渡辺敦史・磯田圭哉・平尾知士・山田利博	材線虫病抵抗性マツ類における組織の反応と線虫の分布・増殖	樹木医学研究	14	98-100	2010
坂上大翼・山田利博・楠本 大	ブナ科5樹種の辺材抽出物がブナ科樹木萎凋病菌 <i>Raffaelea quercivora</i> の菌糸伸長に及ぼす影響	樹木医学研究	14(3)	108-109	2010
楠本大	樹皮でおこる防御反応について	グリーンエージ		38-41	2010
Kochi K, Kagaya T, Kusumoto D	Does mixing of senescent and green leaves result in nonadditive effects on leaf decomposition?	J. N. Am. Benthol. Soc	29	454-464	2010
Komatsu M, Taniguchi M, Takahashi Y, Matsushita N, Hogetsu T	Overwintering of <i>Taphrina wiesneri</i> within cherry shoots monitored with species-specific PCR	Journal of General Plant Pathology	76	363-369	2010
Shiraishi A, Matsushita N, Hougetsu T	Nodulation in black locust by the Gammaproteobacteria <i>Pseudomonas</i> sp. and the Betaproteobacteria <i>Burkholderia</i> sp.	Systematic and Applied Microbiology		269-274	2010
Son J, Komatsu M, Matsusita N, Hogetsu	Migration of pine wood nematodes in the tissues of <i>Pinus thunbergii</i> .	Journal of Forest Research	15	186-193	2010
Sou N, Matsunaga, Tomoki Mochizuki, Takuo Ohno, Yukiko Endo, Dai Kusumoto, Akira Tani	Monoterpene and sesquiterpene emissions from Sugi(<i>Cryptomeria japonica</i>) based on a branch enclosure measurements	Atmospheric Pollution Research	2	16-23	2011
Zuhair S, Fukuda K & Yamada T	Response of four tree species to mechanical wounding made at different seasons	Tree and Forest Health	15(1)	1-8	2011
落合啓二・繁田真由美	千葉県にムササビは生息しているか？	千葉中央博自然誌研究報告	11-1	37-49	2010
岩坂佳和	2008年東京大学千葉演習林（清澄山）荒瀬沢特別自然保護区の蛾類調査採集品目録	房総の昆虫	42	13-21	2010

※は、これまで発行の年報に未掲載の論文である。2010年度の集計には反映されていない

2010年度 演習林を利用して行った論文数	
千葉	9
北海道	17
秩父	7
愛知	9
富士	0
樹芸	1
田無	29
合計	72

全利用者

演習林名: 千葉演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	2	君津市 経済部農林振興課				2	2	有害獣駆除(箱わな)	日帰り
2	4	29	鴨川市有害鳥獣対策協議会				36	36	有害鳥獣捕獲	日帰り
3	4	2	東大 教育・附属中等教育学校	4				4	生物部合宿のための森林の下見	札郷宿泊施設
4	4	2	房総の自然・植生・昆虫に関する調査・研究会				24	24	房総の自然・植生・昆虫に関する調査・研究	清澄宿泊施設
5	4	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
6	4	1	東大 農・千葉演習林(鴨川市生涯学習課)	3			33	36	鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」実施	日帰り
7	4	2	千葉県昆虫談話会				5	5	昆虫調査	日帰り
8	4	2	東大 新領域・自然環境学専攻	25	72	2		99	自然環境野外総合実習	清澄宿泊施設
9	4	2	千葉県森林インストラクター会				36	36	千葉県森林インストラクター会もりこん(森に親しむ懇談会)研修会	清澄宿泊施設
10	4	1	打ち浦山県民の森				39	39	企画事業「春のハイキング」実施	日帰り
11	4	2	千葉演習林ボランティア会Abies				12	12	Abies活動「千葉県森林インストラクター会との交流会」	清澄宿泊施設
12	4	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	Abies活動「春の一般公開準備」	日帰り
13	4	1	東大 農・千葉演習林				128	128	春の一般公開	日帰り
14	4	3	千葉演習林ボランティア会Abies				23	23	Abies活動「春の一般公開サポート」	日帰り
15	4	2	千葉県昆虫談話会				22	22	昆虫調査	札郷宿泊施設
16	4	1	茨城大学 農学部資源生物科学科	1	1	1		3	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
17	4	4	東大 農・生物多様性科学研究室			4		4	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
18	4	7	東大 農・生物多様性科学研究室			7		7	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
19	4	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査 非汚染地域大気環境調査	日帰り
20	4	1	東大 農・森林利水及び砂防工学研究室		1	2		3	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	日帰り
21	4	1	慶応義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
22	4	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
23	4	1	工学博士(元通産省電子技術総合研究所)				2	2	新しい水力発電の可能性を探るための研究下見	日帰り
24	4	1	東大 農・演習林研究室			1		1	マツ枯れ試験準備	日帰り
25	4	3	東大 農・生物多様性化学研究室			3		3	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
26	4	1	尾瀬の自然を守る山ゆりの会				12	12	自然観察を通じた環境学習会及びハイキング	日帰り
27	4	1	千葉大学 大学院理学研究科地球生命圏科学専攻地球科学コース	2		2		4	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
28	5	6	東大 農・生物多様性化学研究室			6		6	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
29	5	2	君津市 経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除(箱わな駆除)	日帰り
30	5	28	鴨川市有害鳥獣対策協議会				39	39	有害鳥獣捕獲	日帰り
31	5	4	千葉県昆虫談話会				10	10	昆虫調査	日帰り
32	5	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
33	5	12	東大 農・森林科学専攻			12		12	ヤマビル捕獲用とラップの開発, マーキング法開発及び密度測定	清澄宿泊施設2
34	5	5	東大 農・造林学研究室	13	90	10		113	2010年度造林学実験	清澄宿泊施設
35	5	8	東大 農・生物多様性科学研究室			8		8	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
36	5	8	東大 農・生物多様性科学研究室	2		8		10	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
37	5	1	茨城大学 農学部資源生物科学科	1	1	1		3	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
38	5	2	慶応義塾大学 経済学部生物学教室	2		2		4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
39	5	1	東大 農・演習林研究部			1		1	マツ枯れ試験準備	日帰り
40	5	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
41	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	Abies活動「猪ノ川林道自然観察」	日帰り
42	5	3	東大 農・森林植物学教室	6	45	3		54	2001年度森林植物学実験	清澄宿泊施設
43	5	1	千葉大学 理学研究科	1	2			3	森林河川における炭素滞留と陸上への資源供給について	日帰り
44	5	4	東大 農・森林経理学研究室	7	52			59	2010年度森林経理学実習	札郷宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
45	5	2	千葉県 環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
46	5	1	東大 新領域・自然環境学専攻	1		1		2	千葉産樹木の樹幹における水分通道様式の解明	日帰り
47	5	2	東大 農・造林学研究室	2	2	2		6	ヒノキ高齢林の立地評価のための予備調査	清澄宿泊施設
48	5	1	洋光台自然観察会				5	5	千葉演習林内自然観察会	日帰り
49	5	2	千葉県立中央博物館	4				4	フロア調査	清澄宿泊施設
50	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			3		3	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	日帰り
51	5	7	東大 農・生物多様性科学研究室			7		7	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
52	5	4	東大 農・森林科学専攻			4		4	ヤマビル捕獲用とラップの開発, マーキング法開発及び密度推定	清澄宿泊施設2
53	5	1	慶應義塾大学 経済学部 生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
54	5	1	東大 農・千葉演習林	22				22	平成22年度春の研修会	日帰り
55	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				1	1	春の研修会聴講, 押葉標本整理	日帰り
56	5	1	東大 農・応用生命化学専攻			1		1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
57	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2		3		5	森林溪流周辺の食物網構造に関する研究	日帰り
58	5	1	千葉大学 大学院理学研究科地球生命圏科学専攻地球科学コース	2		1		3	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
59	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	春の研修会聴講, 押葉標本整理	日帰り
60	6	2	君津市経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除のため(箱わなにて駆除)	日帰り
61	6	19	鴨川市有害鳥獣対策協議会				23	23	有害鳥獣捕獲	日帰り
62	6	3	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	化学物質大気環境調査, ダイオキシン類大気環境調査, 非汚染地域大気環境調査	日帰り
63	6	2	千葉県立君津青葉高等学校 総合学科	7			26	33	樹木の種類とその特徴を学習し, 樹木に対する興味・関心を高めるとともに, さらにその過程で起こるさまざまな体験を通して, 生きる力をはぐくむ。	清澄宿泊施設
64	6	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
65	6	2	東京大学演習林(交歓会幹事)	77			20	97	演習林交歓会実施	清澄宿泊施設
66	6	2	環境三四郎(理学系研究科地球惑星科学専攻)		6	2		10	環境三四郎「東大からの架け箸」素材の材の回収	札郷宿泊施設
67	6	2	千葉県昆虫談話会				6	6	昆虫調査	日帰り
68	6	1	東大 農・保全生態学研究室	2				2	水生昆虫の生態学的研究	日帰り
69	6	2	東大 農・森林経理学研究室	4	2	14		20	マツ人工林の樹高成長に影響を与える要因の解析	清澄宿泊施設
70	6	1	社団法人 学士会	3				3	学士会U7巻頭インタビュー 白石本部林長の取材	日帰り
71	6	3	東大 農・生物多様性科学研究室			3		3	表現型可塑性が植物-植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
72	6	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設
73	6	2	慶應義塾大学 経済学部 生物学教室	2		2		4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
74	6	2	東大 農・生圏システム学専攻			2		2	マツ枯れ試験準備	清澄宿泊施設2
75	6	1	東大 農・生圏システム学専攻(演習林研究部)			1		1	媒介昆虫と病原菌の遺伝的変異と病原性の変異からナラ枯れの起源に迫る	日帰り
76	6	1	埼玉県農林総合研究センター(森林・緑化担当)	1				1	植木・盆栽類の輸出促進に向けた線虫対策及び生産・輸送技術の開発	日帰り
77	6	2	名古屋大学 大学院農学研究科	2				2	森林昆虫(キクイムシ類など)の地理的変異	日帰り
78	6	1	東大 農・国際植物材料科学研究室	2		2		4	竹のサンプリング見学	日帰り
79	6	5	東大 農・国際森林環境学研究室	5				5	多様な森林管理に対応した成長予測システムの構築	清澄宿泊施設
80	6	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		6		7	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	清澄宿泊施設
81	6	2	東大 農・演習林研究部	2				2	教養学部体験ゼミ「危険生物ゼミ」の準備	清澄宿泊施設
82	6	3	東大 農・千葉演習林	61	3	26	6	96	千葉演習林第15回利用者説明会	清澄宿泊施設
83	6	3	東大 農・森林科学専攻			3		3	ヤマビル捕獲用とラップの開発, マーキング法開発及び密度推定	清澄宿泊施設2
84	6	15	東大 農・森林科学専攻(演習林研究部)			15		15	ヒメボタルと他種陸生ホタルの分布調査	清澄宿泊施設2
85	6	10	東大 農・生物多様性科学研究室			10		10	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
86	6	1	茨城大学 農・資源生物科学科	1	1	1		3	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
87	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	Abies活動(郷台苗畑除草作業)	日帰り
88	6	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
89	6	2	NPO法人房総の野生生物調査会				14	14	自然観察の総合研修及びNPO総会	札郷宿泊施設
90	6	2	日本地衣類研究会(佐賀大学文化教育学部理数教育講座)	6				6	日本地衣類研究会第39回大会準備	清澄宿泊施設
91	6	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	音声モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
92	6	1	東大 人事企画部	6				6	就労管理システム(試行)説明会	日帰り
93	6	2	千葉大学 理学部生物学科		8			8	河川最上流部の炭素収支と系外への移動の空間パターンに関する研究	郷台宿泊施設
94	6	6	東大 農・生物多様性科学研究室			6		6	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
95	6	1	東大 農・演習林研究部	3	29			32	教養学部体験ゼミ「危険生物ゼミ」	日帰り
96	6	3	東大 農・森林科学専攻(演習林研究部)			3		3	ヤマビル捕獲用トラップの開発, マーキング法開発及び密度推定	清澄宿泊施設2
97	6	2	東大 農・附属演習林	48				48	第13回関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	清澄宿泊施設
98	6	1	千葉大学 大学院理学研究科地球生命圏科学専攻地球科学コース	2		2		4	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
99	7	15	東大 農・森林科学専攻(演習林研究部)			15		15	ヤマビル捕獲用トラップの開発, マーキング法開発及び密度推定	清澄宿泊施設2
100	7	2	東大 農・附属演習林	38				38	第13回関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	清澄宿泊施設2
101	7	2	君津市 経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除(箱わな駆除)	日帰り
102	7	18	鴨川市有害獣対策協議会				20	20	有害鳥獣捕獲	日帰り
103	7	2	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	2		2		4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
104	7	11	千葉県 環境生活部大気保全課				14	14	非汚染地域大気環境調査(7/1), 科学物質大気環境調査(7/8~9), ダイオキシン類大気環境調査(7/21~28)	日帰り
105	7	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
106	7	2	千葉演習林ボランティア会Abies				9	9	Abies活動(菖蒲移植, 郷台苗除草)	日帰り
107	7	8	東大 農・生物多様性科学研究室			8		8	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
108	7	2	名古屋大学 大学院生命農学研究科	2				2	森林昆虫(キクイムシ類など)の地理的変異	日帰り
109	7	5	東大 農・演習林研究部			5		5	マツ枯れ試験	清澄宿泊施設2
110	7	1	東大 新領域・自然環境学専攻	1		1		2	千葉産樹木の樹幹における水分通道様式の解明	日帰り
111	7	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	間接伝播される侵入生物の定着に及ぼす外来生態系の反応と定着の評価	日帰り
112	7	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロラ調査	清澄宿泊施設
113	7	1	国立科学博物館 植物研究部陸上植物研究グループ	1				1	蘚苔類に関する研究	日帰り
114	7	1	戸村学園コスモス幼稚園	37			174	211	清澄寺~麻綿原天拝園間のハイキング	日帰り
115	7	2	千葉県昆虫談話会				24	24	昆虫調査	札郷宿泊施設
116	7	1	(社)鴨川青年会議所 青少年社会開発委員会				64	64	鴨川市内の小学生を対象とした講座「森は生きている~もっと使おう日本の木~」	日帰り
117	7	3	東大 農・千葉演習林	3		21		24	持続的森林圏経営論 現地講義	清澄宿泊施設
118	7	1	茨城大学 農学部資源生物科学科	1	1	1		3	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
119	7	8	東大 農・森林科学専攻(演習林研究部)			8		8	マツ枯れ試験	清澄宿泊施設2
120	7	6	東大 農・森林科学専攻			6		6	ヤマビル捕獲用トラップの開発, マーキング法開発及び密度推定	清澄宿泊施設2
121	7	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
122	7	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	音声モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
123	7	5	東大 農・生物多様性科学研究室			5		5	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
124	7	1	東大 農・生圏システム学専攻(演習林研究部)			1		1	媒介昆虫と病原菌の遺伝的変異と病原性の変異からナラ枯れの起源に迫る	日帰り
125	7	3	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	12			47	59	高校生のための森と海のゼミナール実施	清澄宿泊施設
126	7	3	千葉演習林ボランティア会Abies				9	9	「高校生のための森と海のゼミナール」サポート	清澄宿泊施設
127	7	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			6		6	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	札郷宿泊施設
128	7	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1				1	水ストレスとマツ材線虫病通水阻害進展との関係	日帰り
129	7	1	千葉大学 大学院理学研究科地球生命圏科学専攻地球科学コース	2			5	7	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
130	7	1	筑波大学 生命環境科学研究科育林学研究室			2		2	千葉県全域における洞穴棲コウモリの生息環境調査	日帰り
131	7	1	東大 農・生物多様性科学研究室			1		1	表現型可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	日帰り
132	7	4	西 泰弘				11	11	昆虫調査	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
133	8	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境学専攻	1				1	水ストレスとマツ材線虫病通水阻害進展との関係	日帰り
134	8	1	筑波大学 生命環境科学研究科育林学研究室			2		2	千葉県全域における洞穴棲コウモリの生息環境調査	日帰り
135	8	2	君津市 経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除のため(箱わなにて駆除)	日帰り
136	8	28	鴨川市有害鳥獣対策協議会				38	38	有害鳥獣捕獲	日帰り
137	8	3	千葉県 環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査(8/2) 化学物質大気環境調査(8・4-5)	日帰り
138	8	5	東大 農・演習林研究部			5		5	ヒメボタル幼虫のトラップ調査	清澄宿泊施設2
139	8	3	東大 農・森林経理学研究室	3	3	6		12	高齢スギ人工林の成長モデルの作成	清澄宿泊施設
140	8	2	名古屋大学 大学院生命農学研究科	2				2	森林昆虫(キクイムシ類など)の地理的変異	日帰り
141	8	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1				1	森林水文に関わる現地観測	日帰り
142	8	1	君津市立周西公民館	3			12	15	水生生物観察会	日帰り
143	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	周西公民館観察会サポート	日帰り
144	8	2	東大 農・生物多様性科学研究室			2		2	表現型可塑性が植物-植食者相互作用動態にもたらす影響	日帰り
145	8	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
146	8	1	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	Abies活動「さく葉標本整理」及び役員会	日帰り
147	8	3	千葉県昆虫談話会				7	7	昆虫調査	日帰り
148	8	10	東大 農・演習林研究部			10		10	マツ枯れ試験	清澄宿泊施設2
149	8	3	首都大学東京 大学院理工学研究科生命科学専攻植物系統分類学研究室			3		3	海洋島における適応放散の種分化の機構を保全する一集団内遺伝構造仮説の検討一	清澄宿泊施設
150	8	1	日本鳥類標識協会				1	1	サンコウチョウの基礎的研究と鳥類相、鳥類標識調査	日帰り
151	8	1	森林環境研究所 統括研究員	1			2	3	千葉演習林スギ・ヒノキ間伐材の付加価値向上に関する研究	日帰り
152	8	2	東大 農・生物多様性科学研究室			2		2	表現型可塑性が植物-植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
153	8	3	東大 教育学部附属中等教育学校	5			69	74	毎木調査、昆虫採集、水生昆虫採集、観察会、ブリ縄体験	札郷宿泊施設
154	8	8	東大 農・演習林研究部				8	8	Spatial distribution of old-growth stands and patterns of fagaceous trees at the Tokyo university Forest in Chiba.	札郷宿泊施設
155	8	1	東大 新領域創成科学・自然環境評価学分野 特任研究員	1		2		3	千葉産広葉樹の水分通道経路の解明	日帰り
156	8	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			3		3	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	日帰り
157	8	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
158	8	6	京都大学 大学院理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室	18	96	12		126	課題演習 E 1 / 地質調査法野外実習(3回生必修)	清澄宿泊施設
159	8	4	東大 農・演習林研究部			4		4	マツ枯れ試験	清澄宿泊施設2
160	8	2	千葉県立中央博物館 上席研究員	6				6	フロラ調査	清澄宿泊施設2
161	8	1	千葉県立鴨川青年の家 事業課指導員	2	5			7	鴨川青年の家主催事業「リフレッシュイン鴨青」の下見	日帰り
162	8	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	3				3	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	日帰り
163	8	2	帯広畜産大学 畜産生命化学研究部門環境生態学分野	3	4			7	シカが森林生態系に与える影響評価に関する野外調査	清澄宿泊施設2
164	8	2	茨城大学 農学部資源生物科学科	2	6	2		10	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	清澄宿泊施設
165	8	2	東大 サステイナブルキャンパスプロジェクト室	7				7	J-VER 検証	日帰り
166	8	1	千葉大学 大学院理学研究科			2		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	日帰り
167	9	1	鴨川市有害鳥獣対策協議会				1	1	有害鳥獣捕獲	日帰り
168	9	2	帯広畜産大学 畜産生命化学研究部門環境生態学分野	4	4			8	シカが森林生態系に与える影響評価に関する野外調査	清澄宿泊施設2
169	9	23	鴨川市有害鳥獣対策協議会				25	25	有害鳥獣捕獲	日帰り
170	9	2	君津市 経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除のため(箱わなにて駆除)	日帰り
171	9	3	東大 農・演習林研究部			3		3	マツ枯れ試験	清澄宿泊施設2
172	9	4	千葉県 環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査, 化学物質大気環境調査	日帰り
173	9	3	名古屋大学 大学院生命農学研究科	3				3	森林昆虫(キクイムシ類など)の地理的変異	日帰り
174	9	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	日帰り
175	9	1	神奈川県 足柄上地域県政総合センター森林部森林課	2			30	32	神奈川県林業協会足柄上支部視察旅行	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
176	9	1	東大 新領域創成科学研究科・自然環境評価分野	1		1		2	千葉県産広葉樹の水分通道経路の解明	日帰り
177	9	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
178	9	1	千葉県昆虫談話会				4	4	昆虫調査	日帰り
179	9	2	日本地衣類研究会 (佐賀大学教授)	38	4	6	2	50	日本地衣類研究会 第39回大会開催	清澄宿泊施設
180	9	6	東大 農・生物多様性科学研究室			6		6	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
181	9	3	日本鳥類標識協会				6	6	サンコウチョウの基礎研究, 鳥類標識調査, 鳥相の把握	日帰り
182	9	5	東大 農・千葉演習林	26	61			87	全学体験ゼミ「野生動物の保護管	清澄宿泊施設
183	9	2	東大 新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	2				2	水ストレスとマツ材線虫病通水阻害進展との関係	日帰り
184	9	1	東大 農・生物多様性科学研究室			1		1	表現可塑性が植物・植食者相互作用動態にもたらす影響	日帰り
185	9	10	東大 農・演習林研究部			10		10	マツ枯れ試験	清澄宿泊施設2
186	9	3	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	5	9	3		17	森林流域における栄養塩吸収に関する研究	清澄宿泊施設2
187	9	1	千葉県立稲毛小学校	2			19	21	農山村留学	日帰り
188	9	2	立正大学 地球環境学部	2			2	4	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
189	9	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	猪ノ川林道自然観察&天津小実習地草取り	日帰り
190	9	1	東大 産業医 (環境安全本部)	1				1	産業医による職場巡視	日帰り
191	9	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木一種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
192	9	1	NPO法人房総の野生生物調査会				2	2	ブナ科植物の堅果落下量調査	日帰り
193	9	5	東大 農・生物多様性科学研究室			5		5	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
194	9	1	立正大学 地球環境学部	1				1	流水による岩盤の侵食	日帰り
195	9	1	東大 地震研究所	1				1	地震観測設備点検 (現在欠測中)	日帰り
196	9	1	立正大学 地球環境科学	1				1	モウソウチクの開花実生株の見学	日帰り
197	9	1	放送大学 総務部広報課	3			3	6	放送大学広報番組収録のため	日帰り
198	9	1	筑波大学 生命環境科学研究科育林学研究室			2		2	調査事前打合せ (千葉県全域に生息する洞穴棲コウモリのねぐら環境の把握)	日帰り
199	9	2	千葉県立中央博物館 上席研究員	6				6	フロラ調査	清澄宿泊施設
200	9	1	筑波大学 大学院生命環境科学研究科育林学研究室			2		2	千葉県全域に生息する洞穴棲コウモリのねぐら環境の把握	清澄宿泊施設2
201	10	7	筑波大学 大学院生命環境科学研究科育林学研究室		3	15		18	千葉県全域に生息する洞穴棲コウモリのねぐら環境の把握	清澄宿泊施設2
202	10	1	君津市 経済部農林振興課				2	2	有害獣駆除のため (箱わなにて駆除)	日帰り
203	10	20	鴨川市有害鳥獣対策協議会				21	21	有害鳥獣捕獲	日帰り
204	10	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
205	10	2	日本鳥類標識協会				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 鳥類標識調査, 鳥相の把握	日帰り
206	10	2	千葉県昆虫談話会				6	6	昆虫調査	日帰り
207	10	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
208	10	5	東大 農・秩父演習林	5				5	伐採と防護柵設置が広葉樹二次林の土壤動物相に及ぼす影響	清澄宿泊施設2
209	10	3	東大 農・造林学研究室	3	3			6	ヒノキ高齢林の地位評価	札郷宿泊施設
210	10	1	東大 農・生物制御化学研究室			1		1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
211	10	4	地学情報サービス株式会社	12			20	32	地質の調査研修	日帰り
212	10	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	化学物室大気環境調査	日帰り
213	10	1	千葉大学 理学研究科	1		1		2	羽化トラップの設置, 同位体サンプルの採集	日帰り
214	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				8	8	研修会下見 (お月見研修)	日帰り
215	10	1	千葉大学 理学研究科	1	1			2	羽化トラップの設置, 同位体サンプルの採集	日帰り
216	10	1	茨城大学 農・資源生物学科	1	1			2	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
217	10	3	東大 農・造林学研究室	3	3			6	ヒノキ高齢林の地位評価	札郷宿泊施設
218	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会				1	1	ブナ科植物の堅果落下量調査	日帰り
219	10	19	東大 農・森林科学専攻			19		19	熟源とトラップを用いたヤマビルの分布推定	清澄宿泊施設2
220	10	1	千葉大学 理学部生物学科		1			1	河川最上流部の炭素収支と系外への移動の空間パターンに関する研究	日帰り
221	10	2	千葉演習林ボランティア会Abies	5			18	23	研修会 (お月見研修)	札郷宿泊施設
222	10	5	静岡大学 理学部地球科学科	10	80			90	地質調査法実習	清澄宿泊施設
223	10	3	東大 農・造林学研究室	3	3			6	ヒノキ高齢林の地位評価	札郷宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
224	10	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設
225	10	1	千葉大学 理学研究科	1	2			3	羽化トラップの設置, 同位体サンプルの採集	日帰り
226	10	4	東大 農・秩父演習林	4		4		8	媒介昆虫と病原菌の遺伝的変異と病原性の変異からナラ枯れの起源に迫る	清澄宿泊施設2
227	10	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2		6		8	森林流域の流域面積と流量・溶存物質濃度の関係	清澄宿泊施設2
228	10	2	東大 農・生物多様性科学研究室			2		2	表現型可塑性が植物-植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
229	10	1	千葉県立中央博物館	1				1	蘚苔類観察会打合せ	日帰り
230	10	1	千葉県森林インストラクター会				7	7	千葉県森林インストラクター会野外特別講座下見	日帰り
231	10	2	東大 農・生物多様性科学研究室			2		2	ニホンカナヘビの生息適地の解明	清澄宿泊施設2
232	10	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
233	10	1	千葉大学 理学部生物学科		2			2	河川最上流部の炭素取支と系外への移動の空間パターンに関する研究	日帰り
234	10	1	内浦山県民の森	4			30	34	企画事業「天津小湊ハイキング」実施のため	日帰り
235	10	1	北海道大学 北方生物圏フィールド科学研究センター厚岸臨海実験所	1				1	調査道具の片づけ	日帰り
236	10	1	山階鳥類研究所 鳥類標識調査員	2				2	鳥類標識調査による鳥類相の把握	日帰り
237	10	1	鴨川市立天津小学校	4			73	77	総合的な学習の時間「緑の教室」	日帰り
238	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	天津小学校「緑の教室」サポート	日帰り
239	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会				1	1	ブナ科植物の堅果落下量調査	日帰り
240	10	1	ヤマビル産業開発部研究チーム				3	3	ヤマビル忌避剤試験	日帰り
241	10	2	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	2		2		4	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
242	10	1	千葉県勤労者山岳連盟				6	6	紅葉観察会の下見	日帰り
243	11	16	東大 農・森林科学専攻			16		16	熱源とラップを用いたヤマビルの分布推定	清澄宿泊施設2
244	11	2	君津市経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除のため(箱わなにて駆除)	日帰り
245	11	26	鴨川市有害鳥獣対策協議会				26	26	有害鳥獣捕獲	日帰り
246	11	1	茨城大学 農学部資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
247	11	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査(11/1), 化学物質大気環境調査(11/11~11/12)	日帰り
248	11	1	千葉県勤労者山岳連盟				5	5	企画事業「紅葉観察会」下見	日帰り
249	11	5	山形大学 大学院理工学研究科生物学専攻			15		15	樹上性アリの調査	清澄宿泊施設2
250	11	3	西 泰弘				12	12	昆虫調査	日帰り
251	11	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
252	11	3	千葉大学 理学部生物学科		3			3	河川最上流部の炭素取支と系外への移動の空間パターンに関する研究	日帰り
253	11	1	東大 地震研究所	1			2	3	地震観測装置点検	日帰り
254	11	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
255	11	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			4		4	森林水文研究に関する観測	清澄宿泊施設2
256	11	1	東大 農・千葉演習林(鴨川市障害学習振興課)	3			39	42	鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」	日帰り
257	11	2	千葉大学 園芸学研究科緑地環境学	2	16	2		20	モミ・ツガ天然林の見学	札郷宿泊施設
258	11	2	東大 農・造林学研究室	2	2			4	ヒノキ高齢林の地位評価	札郷宿泊施設
259	11	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設
260	11	1	千葉県立鴨川青年の家事業課		12		24	36	鴨川青年の家主催事業「リフレッシュイン鴨川」	日帰り
261	11	1	東大 新領域創成科学研究科自然環境評価学分野	1		1		2	千葉産樹木の樹幹における水分通道様式の解明	日帰り
262	11	2	千葉大学 理学部生物学科		2			2	河川最上流部の炭素取支と系外への移動の空間パターンに関する研究	日帰り
263	11	1	千葉県議会事務局政務調査課	5			14	19	千葉県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟視察	日帰り
264	11	2	東大 農・生圏システム学専攻森圏管理学研究室	4	18			22	森圏管理学実験	清澄宿泊施設
265	11	1	茨城大学 農学部資源生物科学科	1	1	1		3	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
266	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会				1	1	ブナ科植物の堅果落下量調査	日帰り
267	11	2	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	秋の職員研修会聴講(11/16)及びクラブ作成(11/17)	日帰り
268	11	1	東大 農・千葉演習林	28			2	30	平成22年度秋の職員研修会(研究発表, 交通安全講習, 自衛消防訓練)	日帰り
269	11	3	東大 農・森林経理学研究室	3	3	3		9	ヒノキ林の地位区分図の作成	清澄宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
270	11	1	東大 農・演習林研究部			1		1	マツ枯れ試験研究	日帰り
271	11	1	日光市栗山地区林業振興会(日光市役所湯西川地区)				10	10	栗山地区林業振興会先進地視察研修会	日帰り
272	11	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
273	11	4	東大 農・造林学研究室	4	4			8	ヒノキ高齢林の地位評価	札郷宿泊施設
274	11	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		3		4	林流域における集水面積と流量・水質の関係	日帰り
275	11	2	東大 附属図書館企画渉外係	8			8	16	東大図書系職員による自然観察会	札郷宿泊施設
276	11	1	千葉県立中央博物館 植物学研究科	1			13	14	コケ植物の観察会	日帰り
277	11	1	千葉県森林インストラクター会				5	5	千葉県森林インストラクター会野外特別講座直前下見	日帰り
278	11	1	千葉県立中央博物館(歴史民俗博物館)	9			1	10	札郷及び四方木地区の民地の視察	日帰り
279	11	2	東大 農・千葉演習林				1906	1906	公開講座「秋の一般公開」	日帰り
280	11	2	千葉演習林ボランティア会Abies				13	13	秋の一般公開サポート	日帰り
281	11	1	東大 農・演習林研究部			1		1	マツ枯れ試験研究	日帰り
282	11	1	千葉県勤労者山岳連盟				20	20	モミ・ツガ自然林観察会と紅葉ハイク下見	日帰り
283	11	1	クラブツーリズムスポーツ旅行センター				119	119	自然を学び学習しながらのハイキングツアー	日帰り
284	11	1	千葉大学 理学研究科	1	1			2	羽化トラップの設置, 同位体サンプルの採集	日帰り
285	11	1	鈴木 恵子				25	25	ハイキングを楽しみながら自然観察を行う	日帰り
286	11	1	内浦山県民の森	6				6	「房総を歩こうロングハイキング」	日帰り
287	12	1	東大 農・千葉演習林				1222	1222	公開講座「秋の一般公開」	日帰り
288	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies				4	4	秋の一般公開サポート	日帰り
289	12	2	君津市 経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除のため(箱わなにて駆除)	日帰り
290	12	26	鴨川市 有害鳥獣対策協議会				32	32	有害鳥獣駆除	日帰り
291	12	4	千葉県 環境生活部大気保全課				6	6	非汚染地域大気環境調査(12/1, 28) 化学物質大気環境調査(12/13~14)	日帰り
292	12	1	千葉県君津市上総地区民生児童委員				18	18	上総地区民生児童委員による演習林内の見学と自然観察	日帰り
293	12	3	東大 農・森林経理学研究室	3		6		9	ヒノキ林の地位区分図の作成	清澄宿泊施設
294	12	2	無名山 塾(山の遠足クラブ)				20	20	鴨川君津地域の地形の違いと地図読み	清澄宿泊施設
295	12	2	東大 農・技術基盤センター	4				4	施設訪問・交流	清澄宿泊施設
296	12	1	千葉県森林インストラクター会				72	72	千葉県森林インストラクター会 野外特別講座	日帰り
297	12	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
298	12	1	千葉県勤労者山岳連盟				52	52	紅葉観察会	日帰り
299	12	2	山階鳥類研究所 鳥類標識調査員	4				4	鳥類標識調査による鳥類相の把握	日帰り
300	12	1	内浦山県民の森				33	33	主催事業「房総を歩こうロングハイキング」実施のため	日帰り
301	12	1	トラベルグリーン				14	14	山野見学とハイキング	日帰り
302	12	1	クラブツーリズムスポーツ旅行センター				108	108	自然を学び学習しながらのハイキングツアー	日帰り
303	12	2	日本ミクニヤ東京店 環境防災部3課				5	5	林野庁委託事業「森林生態系多様性基礎調査」の実施(樹木毎木調査)	日帰り
304	12	2	樹木環境ネットワークOB				14	14	自然観察会	清澄宿泊施設
305	12	1	東京農工大学 大学院農学研究科・学振特別研究員				1	1	年輪情報を用いた樹木の成長と気候変動との関係の解明	日帰り
306	12	1	東大 地震研究所	1				1	地震観測設備点検	日帰り
307	12	1	君津市教育委員会				18	18	演習林内の植物観察会	日帰り
308	12	2	東京山楽会				26	26	千葉の地形及び植生を学ぶ	札郷宿泊施設
309	12	4	東大 農・森林経理学研究室	8	28	4		40	2010年度森林計測学実習-野外実習-	清澄宿泊施設
310	12	1	養会 体力作りサークル班				9	9	千葉演習林についての理解を深める(森林博物館の見学)	日帰り
311	12	2	千葉県立中央博物館	6				6	フロア調査	清澄宿泊施設2
312	12	1	NHK千葉放送局アナウンス・チーフアナウンサー	1				1	番組放映「こんにちはいっと6けん」での視聴者投稿ビデオ放映(秋の一般公開)	日帰り
313	12	1	NHK千葉放送局 放送部アナウンス	1				1	千葉放送局HP「キャスター日記」に一般公開の写真を掲載	日帰り
314	12	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	6	6	9		21	森林水文研究に関する観測	清澄宿泊施設
315	12	1	木更津市郷土博物館 金のすず	1			5	6	房総半島の植生の学習	日帰り
316	12	2	山階鳥類研究所 鳥類標識調査員	4				4	鳥類標識調査による鳥類相の把握	郷台宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
317	12	1	千葉大学 理学研究科		1			1	羽化トラップの設置, 同位体サンプルの採集	日帰り
318	1	2	君津市 経済部農林振興課				4	4	有害獣駆除のため(箱わなにて駆)	日帰り
319	1	30	鴨川市有害鳥獣対策協議会				30	30	有害鳥獣捕獲	日帰り
320	1	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	総合対照流域法による水文課程や水質形成	日帰り
321	1	1	内浦山県民の森	4			20	24	自主事業「初参りでハイキング」実施	日帰り
322	1	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
323	1	1	東大 新領域・自然環境評価学分野	1		2		3	千葉産樹木の樹幹における水分通道様式の解明	日帰り
324	1	1	東京農工大学 大学院農学研究院・学振特別研究員				1	1	年輪情報を用いた樹木の成長と気候変動との関係の解明	日帰り
325	1	9	千葉県 環境生活部大気保全課				11	11	化学物質大気環境調査 (1/12-13) ダイオキシン類大気環境調査 (1/25-2/2) 非汚染調査 (1/31)	日帰り
326	1	2	千葉県立中央博物館	2				2	千葉演習林旧植物標本の再同定	清澄宿泊施設
327	1	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
328	1	1	東大 地震研究所	1			1	2	地震観測用GPSアンテナ交換	日帰り
329	1	1	東大 農・演習林研究部			1		1	マツ枯れ試験研究	日帰り
330	1	1	千葉大学 理学部生物学科		1			1	河川最上流部の炭素収支と系外への移動の空間パターンに関する研究	日帰り
331	1	3	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	3		8		11	森林流域における栄養塩吸収に関する研究	清澄宿泊施設2
332	1	1	野生動物保護管理事務所				2	2	ニホンジカの個体数推定のための糞粒調査	日帰り
333	1	1	茨城大学 農学部資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り
334	1	1	東京農工大学 農学研究院植物資源形成学研究室(学振特別研究員)				1	1	年輪情報を用いた樹木の成長と気候変動との関係の解明	日帰り
335	1	1	野生動物保護管理事務所				3	3	ニホンジカの個体数推定のための糞粒調査	日帰り
336	1	1	東大 農・演習林研究部			1		1	マツ枯れ試験調査	日帰り
337	1	3	東大 農・千葉演習林	2			8	10	ニホンジカ生息数調査2011	清澄宿泊施設
338	1	3	千葉演習林ボランティア会Abies				12	12	ニホンジカ生息数調査2011	清澄宿泊施設
339	1	1	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	Abies活動「冬の森を歩こう(下見1/31)」	日帰り
340	1	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木一種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊のプロセスの解明	日帰り
341	2	2	千葉県 環境生活部大気保全課				3	3	化学物質大気環境調査 (1/12-13) ダイオキシン類大気環境調査 (1/25-2/2) 非汚染調査 (1/31)	日帰り
342	2	1	千葉演習林ボランティア会Abies				12	12	Abies活動「冬の森を歩こう(下見1/31)」	日帰り
343	2	2	君津市経済部農林効果				3	3	有害獣駆除のため 箱わなにて駆除	日帰り
344	2	26	鴨川市有害鳥獣対策協議会				27	27	有害鳥獣駆除	日帰り
345	2	3	東大 農・森林経理学研究室			9		9	長期成長試験地調査手伝い	清澄宿泊施設
346	2	1	東大 農・千葉演習林				80	80	森林博物館の一般開放	日帰り
347	2	4	NPO法人 房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
348	2	1	鴨川里山を守る会				20	20	鴨川市における森林ボランティア活動の参考とするため	日帰り
349	2	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	7	2	4		13	森林流域における集水面積と流量・水質の関係	札郷宿泊施設
350	2	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査, 非汚染地域大気環境調査	日帰り
351	2	1	東京農工大学 大学院農学研究院植物資源形成学研究室・学振特別研究員				1	1	年輪情報を用いた樹木の成長と気候変動との関係の解明	日帰り
352	2	1	内浦山県民の森				2	2	「石尊山からハイキング」下見のた	日帰り
353	2	2	千葉県立中央博物館	2				2	千葉演習林旧植物標本の再同定	清澄宿泊施設
354	2	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木一種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
355	2	1	早稲田大学 理工学研究	1	1	1		3	三浦層群の堆積学的研究	日帰り
356	2	4	東大 農・千葉演習林		16			16	全学体験ゼミ「房総の森で『木づかい』を学ぶ」	清澄宿泊施設
357	2	3	東京農工大学 大学院農学研究院植物資源形成学研究室・学振特別研究員	6	6			12	年輪情報を用いた樹木の成長と気候変動との関係の解明	清澄宿泊施設
358	2	1	東大 農・森林動物学研究室	1		1		2	森林の時空間的存在様式が昆虫の遺伝的特性に及ぼす影響	日帰り
359	2	3	立正大学 地球環境学部	5	9	3		17	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
360	2	1	千葉県森林インストラクター会				2	2	3月6日実施の房総トレイルラン&ハイイク 観察ルートの下見	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
361	3	1	君津市経済部農林振興課				1	1	有害獣駆除のため（箱わなにて駆除）	日帰り
362	3	26	鴨川市有害鳥獣対策協議会				27	27	有害鳥獣捕獲	日帰り
363	3	3	千葉県環境生活部大気保全課	5				5	化学物質大気環境調査, 非汚染地域大気環境調査	日帰り
364	3	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1	2	2		5	森林流域における流域面積と流量・水質の関係	日帰り
365	3	1	東大 新領域・自然環境学専攻	1		2		3	千葉産樹木の樹幹における水分通道様式の解明	日帰り
366	3	4	NPO法人 房総の野生生物調査会				4	4	研究用ヤマビルの飼育管理と研究支援	日帰り
367	3	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	2				2	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
368	3	3	房総丘陵トレイルラン&ハイク事務局				27	27	「房総丘陵トレイルラン&ハイク」実行のため	清澄宿泊施設
369	3	1	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	Abies総会と「冬の森を歩こう」の下見	日帰り
370	3	3	東京学芸大学 環境科学分野	3	27	8		38	地質調査法の実習	札郷宿泊施設
371	3	3	東大 農・生物多様性科学研究室			3		3	表現型可塑性が植物-植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
372	3	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
373	3	2	東大 農・生物多様性科学研究室			2		2	表現型可塑性が植物-植食者相互作用動態にもたらす影響	清澄宿泊施設2
374	3	1	東大 農・造林学研究室	2				2	「造林学実験」実習地の下見と実習内容打合せ	日帰り
375	3	1	千葉県森林インストラクター会				4	4	房総丘陵の自然林等の植生状況や木本・草本を観察し植生知識の取得を図り、演習林内のフィールドガイド知識を高める	日帰り
376	3	1	東大 農・演習林研究部			1		1	マツ枯れ試験研究	日帰り
377	3	2	山階鳥類研究所				2	2	鳥類標識調査による鳥類相の把握	日帰り
378	3	1	茨城大学 農・資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えいの形成誘導機構の解明	日帰り

利用者数合計 7,887

利用件数 378

演習林名:北海道演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	2	秋田県立大学		8			8	野生動物の観察又はその足跡の観察	山部宿泊施設 2
2	4	8	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学			8		8	現地検討会の参加、研究計画の打合せ、施業記録のデータ整備	山部宿泊施設 2
3	4	2	北海道大学大学院・農学研究科・森林資源生物学研究室	2				2	積雪期における樹木種子への病害菌の感染の調査	山部宿泊施設 2
4	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	3				3	苗畑における暗色雪腐れ病の発生状況と菌検出	山部宿泊施設 2
5	4	5	国立科学博物館・動物研究部・研究員	5				5	北海道における鳥類のDNAバーコーディングに関する研究	山部宿泊施設 2
6	4	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林学部		4			4	卒論研究のための調査「ウダイカンバの更新、成長に関する研究(仮)」	山部宿泊施設 2
7	4	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 附属演習林			5		5	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
8	4	5	東京大学大学院農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森圏管理学研究室	5	5			10	樹木の更新プロセスによる林分内遺構造の時系列的変化に関する研究	山部宿泊施設 2
9	4	2	森林総合研究所・北海道支所	2				2	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	山部宿泊施設 2
10	4	3	森林総合研究所・北海道支所	3				3	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	山部宿泊施設 2
11	4	1	森林環境研究所	2			2	4	北海道主要樹種の種間競争に関する研究	山部宿泊施設 2
12	5	3	森林環境研究所	6			6	12	北海道主要樹種の種間競争に関する研究	山部宿泊施設 2
13	5	1	森林総合研究所・北海道支所	1				1	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	日帰り
14	5	2	森林総合研究所・北海道支所	2				2	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	山部宿泊施設 2
15	5	1	北海道ノルディック・フィットネス・ウォーキング協会				30	30	ウォーキング	日帰り
16	5	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	5	5			10	エゾマツの倒木更新過程、ウダイカンバ二次林の再生に関する研究	山部宿泊施設 2
17	5	10	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻		10			10	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
18	5	1	富良野市立東山保育所	8			42	50	市立東山保育所、市立山部保育所春の小遠足	日帰り
19	5	1	個人				1	1	植生調査	日帰り
20	5	1	富良野市生涯学習セン				19	19	ことぶき大学山部校研修	日帰り
21	5	2	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門野生動物管理学研究室	2	4	2		8	エゾモモンガ・エゾリスの生息地調査のサポート	山部宿泊施設 2
22	5	1	統計数理研究所 数理・推論研究系	3				3	「森林資源の高次元多機能経済評価と国際生態系保全政策分析」にかかる研究	日帰り
23	5	3	森林総合研究所・北海道支所	3				3	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	山部宿泊施設 2
24	5	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	日帰り
25	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設 2
26	5	1	北海道教育大学	1				1	演習林における蝶の生息分布調査のための下見	日帰り
27	5	3	森林総合研究所・北海道支所	3				3	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	山部宿泊施設 2
28	5	13	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 附属演習林	5		13		18	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
29	5	2	富良野市立樹海小学校	10			36	46	森の自然観察学習および事前下見	日帰り
30	5	1	北海道教育大学	1				1	ヒメギフチョウの産卵の映像をNHKに提供する	日帰り
31	5	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	生物多様性に及ぼす枯死木の影響評価と枯死木の管理指針の開発	日帰り
32	5	6	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室			6		6	間接伝播される侵入生物の定着に及ぼす在来生態系の反応と定着の評価	山部宿泊施設 2
33	5	1	個人				1	1	植生調査	日帰り
34	5	3	森林総合研究所・北海道支所	3				3	カバノキ属樹種の開花時期調査(遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価)	山部宿泊施設 2
35	5	1	富良野ロータリークラブ				33	33	ロータリークラブ研修交流会	日帰り
36	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	1				1	苗畑における暗色雪腐れ病の発生状況と菌検出	山部宿泊施設 2
37	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		1			1	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
38	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設 2
39	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林学部		1			1	卒論研究のための調査「ウダイカンバの更新、成長に関する研究」	山部宿泊施設 2
40	6	2	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門野生動物管理学研究室	2	4	2		8	エゾモモンガ・エゾリスの生息地調査のサポート	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
41	6	12	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 附属演習林			12		12	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
42	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	3				3	苗畑における暗色雪腐れ病の発生状況と菌検出	山部宿泊施設 2
43	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		4			4	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
44	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4				4	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設 2
45	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻附属演習林学部		4			4	卒論研究のための調査「ウダイカンバの更新、成長に関する研究」	山部宿泊施設 2
46	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	4				4	エゾマツ標高別試験地の母樹探索	山部宿泊施設 2
47	6	2	東京大学教育学部附属中等教育学校	2				2	7/6(火)～7/9(金)の本校の宿泊研修の事前打ち合わせ	山部宿泊施設 2
48	6	2	北海道大学農学院環境資源学専攻森林生態系管理学	6	8	24		38	研究室巡検における演習林の見学およびディスカッション	北海道演習林セミナーハウス
49	6	9	北海道立林業試験場	9				9	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験実施のためのトラップ設置および調査	日帰り
50	6	1	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構				8	8	平取地域イオル再生事業に伴う樹皮採取研修	日帰り
51	6	3	(独)森林総合研究所・森林微生物研究領域	3		3		6	ハンノキ属樹木の菌根・根粒調査採取	日帰り
52	6	4	個人				16	16	森林観察、植生調査	日帰り
53	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	4				4	苗畑における立ち枯れ病の発生状況観察と菌検出	山部宿泊施設 2
54	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	8		8		16	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析(科研費研究「高解像度衛生データ活用のための東アジアの植生調査」のための野外調査)	山部宿泊施設 2
55	6	11	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			11		11	固定標準地の立木位置図及び樹冠投影図の作成	山部宿泊施設 2
56	6	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所栽培担当	1				1	茶樹の極寒冷地栽培比較試験に係る試験実施候補地の検討	日帰り
57	6	1	社団法人 日本森林技術協会 顧問	1			5	6	天然更新とくに倒木更新の見学	日帰り
58	6	1	NPO法人ナショナルトラスト・チコロナイ	1	8		21	30	アイヌ文化に触れる	日帰り
59	6	1	国立歴史民族博物館 研究部	2				2	アイヌ文化の伝承活動の記録作成(静止画と動画による)	日帰り
60	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	平成22年度北海道東北地区大学演習林等技術職員研修参加のため	山部宿泊施設 2
61	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室			5		5	間接伝播される侵入生物の定着に及ぼす在来生態系の反応と定着の評価	山部宿泊施設 2
62	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	17				17	平成22年度 北海道東北地区大学演習林等技術職員研修	北海道演習林セミナーハウス
63	6	1	富良野市立山部小学校	3			34	37	遠足のため	日帰り
64	6	1	東京大学名誉教授	1			1	2	樹木園及び林内視察見学	日帰り
65	6	1	森林総合研究所北海道支	8			3	11	コンテナ苗生産に関する見学	日帰り
66	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	3				3	苗畑における立ち枯れ病の発生状況観察と菌検出、小苗植栽試験調査	山部宿泊施設 2
67	6	1	個人(技術職員OB)				8	8	91林班湧水地・樹木の育成・林道の維持状況見学	日帰り
68	6	1	海外林業コンサルタンツ協会				13	13	JICA札幌主催 平成22年度(地域別研修)「アジア・中南米地域C&I森林認証コース」	日帰り
69	6	1	社団法人学士会 事業部				3	3	学士会サブ会報誌「U7」白石先生インタビュー	日帰り
70	6	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境専攻	3			65	68	天然林の管理に関する学習	北海道演習林セミナーハウス
71	6	3	北海道大学大学院理学研究院地質火山研究観測センター	6				6	十勝岳火山性地殻変動観測(GPS)	日帰り
72	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 附属演習林			3		3	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
73	6	1	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門	1				1	苗畑の実生の根系共生菌の生態と利用研究	日帰り
74	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	1				1	苗畑における立ち枯れ病の発生状況観察と菌検出、小苗植栽試験調査	山部宿泊施設 2
75	7	4	北海道大学大学院理学研究院地質火山研究観測センター	8				8	十勝岳火山性地殻変動観測(GPS)	日帰り
76	7	9	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 附属演習林			9		9	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
77	7	10	北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場経営グループ	10				10	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験実施のためのトラップ設置および調査	日帰り
78	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設 2
79	7	9	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		9			9	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
80	7	1	環境NPO法人H-imagine(ひまじん)	2	3		4	9	北海道演習林における天然林施業の実際を見学	日帰り
81	7	4	東京大学教育学部附属中等教育学校	12	140			152	東大附属中東教育学校 6 1 回宿泊研修北海道コース	北海道演習林セミナーハウス
82	7	1	北海道新聞社富良野支局記者				1	1	東大附属中 研修取材	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
83	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室	4	4			8	樹木の更新プロセスによる林分内遺伝構造の時系列的変化に関する研究	山部宿泊施設 2	
84	7	1	関西東大会（東大OBの同窓会）				15	15	北海道演習林における天然林施業の実際を見学	日帰り	
85	7	20	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			33		33	第一作業級内 固定標準値の立木位置図および樹幹投影図の作成	山部宿泊施設 2	
86	7	5	国立科学博物館・分子生物多様性研究資料センター・特定非常勤講師	5			5	10	北海道における鳥類のDNAバーコーディングに関する研究	山部宿泊施設 2	
87	7	3	統計数理研究所 数理・推論研究系 教授	9				9	森林生態系動態モデリングに関わるデータ収集	山部宿泊施設 2	
88	7	1	東京大学大学院農学部森林利用学研究室				4	4	北海道演習林の見学	日帰り	
89	7	2	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門野生動物管理学研究室	2	4	2		8	エゾモモンガ・エゾリスの生息地調査のサポート	山部宿泊施設 2	
90	7	1	深川市を緑にする会（深川市役所）				3	3	平成22年度「みどりの体験学習」事前調査等について	日帰り	
91	7	1	富良野市生涯学習センター博物館係				4	4	シマフクロウ研究者の引率案内	日帰り	
92	7	5	京都府立大学大学院生命環境科学研究科	5				10	15	7林班天然林施業試験地5241における拓伐選木調査	山部宿泊施設 2
93	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	3	3			6	6	地がき後のウダンカンパの二次林再生に関する研究	山部宿泊施設 2
94	7	6	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			6		6	6	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
95	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室			4		4	4	間接伝播される侵入生物の定着に及ぼす在来生態系の反応と定着の評価	山部宿泊施設 2
96	7	1	深川市を緑にする会（深川市役所）				43	43	平成22年度「みどりの体験学習」	日帰り	
97	7	1	滝川町森林組合				13	13	森林組合役職員の視察研修	日帰り	
98	7	3	北海道札幌啓成高等学校	6			42	48	SSH道内視察研修（汎針広混交林について植生調査等を通じて理解を深める）	北海道演習林セミナーハウス	
99	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4		2		6	6	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析（科研費研究「高解像度衛星データ活用のための東アジアの植生調査」のための野外調査）	山部宿泊施設 2
100	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	2				2	2	全学体験ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」（8/1-4）の事前準備	山部宿泊施設 2
101	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	51		21		72	72	IUFRO国際会議のエクスカージョン	北海道演習林セミナーハウス
102	8	13	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			13		13	13	第一作業級内 固定標準値の立木位置図および樹幹投影図の作成	山部宿泊施設 2
103	8	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	6		31		37	37	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析（科研費研究「高解像度衛星データ活用のための東アジアの植生調査」のための野外調査）	山部宿泊施設 2
104	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	4	36			40	40	全学体験ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」	山部宿泊施設 2
105	8	10	北海道立林業試験場道東支場	10				10	10	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験実施のためのトラップ設置および調査	日帰り
106	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		3			3	3	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	日帰り
107	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	日帰り
108	8	1	東京大学農学系事務部長	1				1	1	北海道演習林見学	日帰り
109	8	2	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻景観研究室	14	12	28		54	54	森林景観を考える	北海道演習林セミナーハウス
110	8	1	よつば農産				9	9	9	北海道演習林における天然林施業、植物の実際を見学	日帰り
111	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	2	暗色雪腐病、苗木枯病に対する農薬適用拡大試験	日帰り
112	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利用学研究室	2			22	24	24	「宙の会」北海道の自然探訪	北海道演習林セミナーハウス
113	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	1	「宙の会」北海道の自然探訪との会食	日帰り
114	8	1	NPO法人森林再生ネットワーク北海道				8	8	8	研修：北演の施業と森林管理体制	日帰り
115	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	2				2	2	ミズナラ優良木の遺伝解析	日帰り
116	8	1	北海道富良野高等学校 科学部	1			7	8	8	富良野地方のコウモリ類の生態調査	日帰り
117	8	1	森林総合研究所北海道支所 地域研究監	1				1	1	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツ早出し健全苗生産システムの確立	日帰り
118	8	2	東京大学大学院総合文化研究科	2		4		6	6	演習（テーマ：自然と文明）	山部宿泊施設 2
119	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室			4		4	4	間接伝播される侵入生物の定着に及ぼす在来生態系の反応と定着の評価	山部宿泊施設 2
120	8	2	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門野生動物管理学研究室	2	4	2		8	8	エゾモモンガ・エゾリスの森林利用性に関する基礎生態学的研究	山部宿泊施設 2

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
121	8	1	北演樹木里親				5	5	里親の木に会いに行く	日帰り
122	8	1	同期会（山部中学校）				30	30	見学	日帰り
123	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析（科研費研究「高解像度衛生データ活用のための東アジアの植生調査」のための野外調査）	山部宿泊施設2
124	9	1	株式会社日本放送出版協会（NHK出版）編集局趣味実用編集部 編集長				3	3	月刊誌NHK「住まい自分流」取材のため	日帰り
125	9	1	鶴居村森林組合 代表理事組合長				27	27	平成22年度鶴居村森林組合 森林・林業再生プラン実践事業に伴う指標林（カラマツ高齢級林）現地視察	日帰り
126	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林生物学		4			4	森林経理学実習前の宿泊と林内見学	山部宿泊施設2
127	9	11	北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場経営グループ	11				11	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験実施のためのトラップ設置および調査	日帰り
128	9	8	個人				10	10	植生調査	日帰り
129	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	8	52	4		64	森林経理学実習ほか	北海道演習林セミナーハウス
130	9	1	森林総合研究所北海道支所森林育成研究グループ長	1				1	サクラの遺伝的多様性・系統解析	日帰り
131	9	1	総括プロジェクト機構「水の知」（サントリー）総括寄附講座	16		4		20	東大水フォーラム合宿の開催	日帰り
132	9	3	森林総合研究所北海道支所主任研究員	3				3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設2
133	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林生物学		3			3	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設2
134	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設2
135	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	7	48			55	夏学期全学体験ゼミ	北海道演習林セミナーハウス
136	9	3	森林総合研究所・北海道支所	3				3	カバノキ属樹種の開花時期調査（遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価）	山部宿泊施設2
137	9	1	北海道帯広農業高等学校・森林科学科				40	40	林内の見学	日帰り
138	9	1	お茶の水女子大学名誉教授	1			1	2	北海道演習林 記念植樹跡見学 他	日帰り
139	9	1	NPO法人森林再生ネットワーク北海道				12	12	北海道演習林の天然林施業と保全の研修	日帰り
140	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森園管理学研究室	3				3	樹木の更新プロセスによる林分内遺伝構造の時系列的変化に関する研究	山部宿泊施設2
141	9	11	東京大学大学院農学生命科学研究科森林学専攻附属演習林学部		11			11	卒論研究のための調査「ウダイカンバの更新、成長に関する研究（仮）」	山部宿泊施設2
142	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林利用学研究室	11				11	林分施業法の見学	北海道演習林セミナーハウス
143	9	1	北海道高等学校理科研究会旭川支部	30				30	北理研旭川支部巡検	日帰り
144	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	3				3	倒木上のエゾマツ近傍にいる菌検出	山部宿泊施設2
145	9	2	森林総合研究所・北海道支所・地域研究監	2				2	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツ早出し健全苗生産システムの確立	日帰り
146	9	1	山部文化協会 会長				12	12	山部文化協会「自然に親しむ集い」の自然探訪	日帰り
147	9	1	海外林業コンサルタンツ協会				17	17	JICA研修（地域住民の参加による多様な森林保全）	日帰り
148	9	4	京都府立大学大学院生命環境科学研究科	8				8	天然林施業地における拓伐選木調査	山部宿泊施設2
149	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	4				4	エゾマツ・コンテナ苗の活着試験	山部宿泊施設2
150	9	4	農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	8				8	小果樹近縁野生種の変異幅の解析と野生種を利用した機能性成分等の多い育種素材の開発	日帰り
151	9	2	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所栽培担当	2				2	茶樹の極寒冷地栽培比較試験に係る予備生育調査	日帰り
152	9	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境専攻	4				4	自然環境学専攻野外実習の下見（森林管理学）	日帰り
153	9	2	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門野生動物管理学的研究室	2	8	2		12	エゾモモンガ・エゾリスの生息地調査のサポート	山部宿泊施設2
154	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	2				2	基盤データ整備委員会生物部門鳥類打合せ	山部宿泊施設2
155	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林学専攻附属演習林学部		2			2	卒論研究のための調査「ウダイカンバの更新、成長に関する研究（仮）」	山部宿泊施設2
156	10	11	北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場経営グループ	11				11	森林性甲虫群集の多様性に関わる林相別比較試験実施のためのトラップ設置および調査	日帰り
157	10	16	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	8		20		28	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析（科研費研究「高解像度衛生データ活用のための東アジアの植生調査」のための野外調査）	山部宿泊施設2
158	10	9	東京大学大学院農学生命科学研究科森林生物学専攻			9		9	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設2

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
159	10	6	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			6		6	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
160	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	8		28		36	森林圏流域管理学講義	北海道演習林セミナーハウス
161	10	1	富良野教育委員会社会教育課富良野市ことぶき大学				13	13	富良野市ことぶき大学4年生が学年別研究で「富良野の水」をテーマとし自主的に活動しており、そこで普段見ることのできない東大演習林内の湧水を研究させていただきたい。	日帰り
162	10	1	富良野市立東山保育所 富良野市役所	1			43	44	市立東山保育所、市立山部保育所秋の小遠足	日帰り
163	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	2				2	エゾマツの早出し健全苗生産システムの確立	山部宿泊施設 2
164	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10				10	エゾマツの育苗および天然更新促進のための技術開発	山部宿泊施設 2
165	10	1	とわの森三愛高校(獣医進学コース)	2			17	19	北海道の森林・シカの食害・生態系保護と獣医師の役割	日帰り
166	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	森林圏流域管理学講義の後泊	山部宿泊施設 2
167	10	19	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		19			19	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
168	10	1	遠軽地区林業推進協議会				13	13	演習林内での天然林施業に関する技術習得	日帰り
169	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	12				12	暗色雪腐病、苗立枯病に対する農薬適用拡大試験	山部宿泊施設 2
170	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設 2
171	10	1	NPO法人北広島森林ボランティア・メイプル				23	23	会員に研修の機会を作り、林業の技能及び知識の向上を図り、今後の森林づくりに貢献したい。	日帰り
172	10	1	空知総合振興局 森林室普及課				20	20	林業経営者育成研修会のため	日帰り
173	10	2	帯広畜産大学畜産生命科学研究部門野生動物管理学研究室	2	4	2		8	エゾモモンガ・エゾリスの生息地調査のサポート	山部宿泊施設 2
174	10	2	森林総合研究所北海道支所	2			2	4	生物多様性に及ぼす枯死木の影響評価と枯死木の管理指針の開発	山部宿泊施設 2
175	10	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	生物多様性に及ぼす枯死木の影響評価と枯死木の管理指針の開発	日帰り
176	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	1				1	エゾマツの林内育苗システムの確立	日帰り
177	10	1	北海道立研究総合機構林業試験場	3				3	グイマツ雑種F1試験地の調査	日帰り
178	10	1	森林総合研究所・北海道支所・地域研究監	1				1	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツ早出し健全苗生産システムの確立	日帰り
179	11	7	パンフィックコンサルタンツ株式会社				28	28	森林の生物多様性調査に関する調査の実施(林野庁委託事業)	日帰り
180	11	4	岩手大学農学部共生環境過程講師	7	8		3	18	ウダイカンバ間伐施業に伴う伐採木の枝条調査	山部宿泊施設 2
181	11	1	北海道医療大学 薬学部准教授	1				1	北海道に自生する薬用植物の調査	日帰り
182	11	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林学専攻附属演習林学部		5			5	卒論研究のための調査「ウダイカンバの更新、成長に関する研究(仮)」	山部宿泊施設 2
183	11	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林愛知演習林	4				4	北演環境教育テキストの作成のための現地視察およびヒアリング	日帰り
184	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		2			2	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
185	11	9	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			9		9	博士論文研究「樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究」	山部宿泊施設 2
186	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3				3	林分動態の長期モニタリングに基づく択伐林の持続可能性評価	山部宿泊施設 2
187	11	6	国立科学博物館・分子生物多様性研究資料センター・特定非常勤講師	6			2	8	北海道における鳥類のDNAバーコーディングに関する研究	山部宿泊施設 2
188	11	15	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部			15		15	論文の執筆	山部宿泊施設 2
189	11	2	北海道大学農学研究院森林資源科学分野	2	4	2		8	講演および林内見学	山部宿泊施設 2
190	11	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所栽培担当				1	1	茶樹の極寒冷地栽培比較試験に係る予備生育調査	日帰り
191	11	1	北海道上川総合振興局南部森林室富良野事務所				2	2	広葉樹人工林の見学	日帰り
192	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部	3				3	今年度と来年度の伐採計画と業務打合せ	山部宿泊施設 2
193	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	2				2	エゾマツの早出し健全苗生産システムの確立	山部宿泊施設 2
194	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	1				1	エゾマツの早出し健全苗生産システムの確立	山部宿泊施設 2
195	12	1	北海道大学大学院・農学研究科・森林資源生物学研究室	1	1			2	積雪期における樹木種子への病害菌の感染時期の調査	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
196	12	3	森林総合研究所・北海道支所	3				3	カバノキ属樹種の着花調査（遺伝子組換え樹種の交雑リスク評価）	山部宿泊施設 2
197	12	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部			8		8	論文の執筆	山部宿泊施設 2
198	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林愛知演習林	3				3	教科書作成の打ち合わせ、気象データについての打ち合わせ	山部宿泊施設 2
199	1	1	北海道大学・森林科学科	1	1			2	積雪期における樹木種子への病害菌の感染時期の調査	日帰り
200	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学		2			2	標高に沿って分布するエゾマツの適応的遺伝子に関する研究	山部宿泊施設 2
201	1	1	富良野市立樹海小学校	2			2	4	森の自然観察学習事前下見	日帰り
202	2	1	富良野市立樹海小学校	4			34	38	森の自然観察学習	日帰り
203	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科樹芸研究所	4				4	エゾマツの早出し健全苗生産システムの確立に関する打合せと分析	山部宿泊施設 2
204	2	1	北海道大学・森林科学科	1	1			2	積雪期における樹木種子への病害菌の感染時期の調査	日帰り
205	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			5		5	研究計画の打ち合わせ、目標・標準値・施業図のデータ整備	山部宿泊施設 2
206	2	1	統計数理研究所 数理・推論研究系	4				4	「森林資源の高次元多機能経済評価と国際生態系保全政策分析」にかかる研究	日帰り
207	2	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所栽培担当専門研究員	1				1	茶樹の極寒冷地栽培比較試験に係る予備生育調査	日帰り
208	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	3	78			81	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ」～北海道演習林	北海道演習林セミナーハウス
209	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	北方針葉樹における環境適応の実態と遺伝的メカニズムの解明	山部宿泊施設 2
210	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林研究部			2		2	指導教員への研究報告	山部宿泊施設 2
211	3	1	森林環境研究所				1	1	カンパ類冬芽製油成分の生理活性に関する研究 等	日帰り
212	3	1	北海道上川総合振興局				6	6	平成22年度エゾシカ被害防止緊急対策越冬地調査委託業務	日帰り
213	3	1	北海道大学・森林科学科	1	1			2	積雪期における樹木種子への病害菌の感染時期の調査	日帰り
214	3	1	富良野市生涯学習センター				36	36	富良野市博物館・富良野の自然に親しむ会共催講座「富良野の自然に親しむ集い 早春の森を歩こうin東大演習林」開催のため	日帰り
215	3	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所栽培担当専門研究員	1				1	茶樹の極寒冷地栽培比較試験に係る予備生育調査	日帰り

利用者数合計 2,472

利用件数 215

演習林名: 秩父演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
2	4	3	農学生命科学研究科	4	15	5		24	森林土壌学実験	川俣学生宿舎(食事あり)
3	4	1	新領域創成科学研究科			1		1	大気エアロゾル内の蛋白質測定とその発生源の特定	日帰り
4	4	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
5	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
6	4	2	富士演習林	2				2	ヤマザクラフェノロジー調査、ロボットカメラデータ回収	栃本宿舎(自炊泊)
7	4	19	新領域創成科学研究科			19		19	ヤマザクラ開花フェノロジー等の撮影	栃本宿舎(自炊泊)
8	4	1	新領域創成科学研究科			1		1	大気エアロゾル内の蛋白質測定とその発生源の特定	日帰り
9	4	1	農学生命科学研究科			1		1	28林班タワー付近	日帰り
10	4	1	農学生命科学研究科	1	1			2	卒業研究の下見(オノオレカンバ林)	日帰り
11	4	1	しおじの会				3	3	スギ及びヒノキを食害するカミキリムシ調査	日帰り
12	4	2	新領域創成科学研究科	4				4	ヤマザクラフェノロジー観察、自然環境特別研究2	栃本宿舎(自炊泊)
13	4	1	田無試験地	1				1	総合科目「薪ストーブの社会経済学」下見	日帰り
14	4	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
15	4	1	演習林研究部	1			1	2	環境教育教材としての星野写真の撮影	日帰り
16	4	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
17	4	1	ウブサラ大学進化生物学センター	1				1	ウダイカンバの適応的な遺伝的変異の評価	日帰り
18	4	1	新領域創成科学研究科			1		1	大気エアロゾル内の蛋白質測定とその発生源の特定	日帰り
19	4	2	新領域創成科学研究科	4				4	ヤマザクラフェノロジー観察、自然環境特別研究2	栃本宿舎(自炊泊)
20	4	1	農学生命科学研究科	1		3		4	森林の時空間的存在様式が昆虫の遺伝的特性に及ぼす影響-ブナ林の昆虫を対象として-	日帰り
21	4	1	秩父演習林	2			2	4	サポーター養成講座「秩父演習林の教育研究」	日帰り
22	4	3	秩父演習林	9				9	冬虫夏草研究のための現地視察	栃本宿舎(自炊泊)
23	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ	日帰り
24	4	1	演習林研究部			1		1	養菌性キクイムシ類のニッチと共生菌に関する研究	日帰り
25	4	1	富士演習林	1				1	ヤマザクラフェノロジー調査、ロボットカメラデータ回収	日帰り
26	4	1	農学生命科学研究科	1				1	森林土壌学実習下見	日帰り
27	4	1	農学生命科学研究科	1				1	鳥類標識疾病調査	日帰り
28	4	1	農学生命科学研究科	1	1			2	卒業研究の下見(オノオレカンバ)	日帰り
29	5	2	埼玉昆虫談話会	5			8	13	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
30	5	13	新領域創成科学研究科			13		13	ヤマザクラ開花フェノロジー等の撮影	栃本宿舎(自炊泊)
31	5	1	環境カウンセラー				18	18	林地見学	日帰り
32	5	2	富士演習林	2				2	ヤマザクラフェノロジー調査、ロボットカメラデータ回収	栃本宿舎(自炊泊)
33	5	2	新領域創成科学研究科	2				2	ヤマザクラフェノロジー観察、自然環境特別研究2	栃本宿舎(自炊泊)
34	5	4	埼玉県高体連登山専門部	21			180	201	学校総合体育大会登山の部	日帰り
35	5	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
36	5	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
37	5	4	農学生命科学研究科	8	16	4		28	森林土壌学実習	川俣学生宿舎(食事あり)
38	5	1	農学生命科学研究科	2	1			3	スギ・ヒノキの内生菌根菌に関する研究	日帰り
39	5	1	富士演習林	1				1	ヤマザクラフェノロジー調査、ロボットカメラデータ回収	日帰り
40	5	1	埼玉県環境科学国際センター	3				3	オゾンデータ回収、ミヤマカシスユリ確認	日帰り
41	5	1	秩父演習林				12	12	春の自由見学日	日帰り
42	5	1	秩父演習林				9	9	春の自由見学日	日帰り
43	5	1	国際航業株式会社 社会基盤事業部	6				6	滝沢ダムにおける自然環境調査の実施	日帰り
44	5	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣自炊宿舎
45	5	1	埼玉県立大滝げんきプラザ	2				2	主催事業「山で遊ぼう1「荒川源流トロッコ軌道ハイク」の下見	日帰り
46	5	1	農学生命科学研究科			1		1	水文観測の採水、メンテナンス	日帰り
47	5	1	秩父市立影森中学校	7			90	97	第2学年 林間学校	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
48	5	1	新領域創成科学研究科			1		1	大気エアロゾル内の蛋白質測定とその発生源の特定	日帰り	
49	5	1	クラブツーリズム(株) スポーツ旅行センター				19	19	森林観察	日帰り	
50	5	1	埼玉県立大滝げんきプラザ				19	19	主催事業 山で遊ぼう1「荒川源流トロッコ軌道ハイク」	日帰り	
51	5	1	秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り	
52	5	2	田無試験地	6	32			38	総合科目「薪(まき)ストーブの社会経済学」	川俣学生宿舎(食事あり)	
53	5	1	秩父観光協会大滝支部				700	700	新緑見学ハイキング	日帰り	
54	5	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り	
55	5	2	農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識疾病調査	テント・幕営	
56	5	2	新領域創成科学研究科	2		4	2	8	フェノロジー観察、自然環境特別研究2	栃本宿舎(食事あり)	
57	5	1	埼玉県立自然の博物館	2				2	荒川上流域の動物相調査	日帰り	
58	5	1	北海道演習林	1				1	バケモノ沢量水施設設置位置確認	日帰り	
59	5	1	しおじの会				8	8	ハイキング(自然観察)	日帰り	
60	5	2	農学部 フィールド科学専修	2	2			4	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	栃本宿舎(自炊泊)	
61	6	1	しおじの会				1	1	ハイキング(自然観察)下見	日帰り	
62	6	2	農学生命科学研究科	2				2	実生トランセクト調査	入川コンテナハウス1	
63	6	4	農学生命科学研究科	4				4	実生トランセクト調査	日帰り	
64	6	1	農学生命科学研究科 森林動物学研究室	1		1	1	3	山中信彦の修士論文のための野外調査	日帰り	
65	6	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り	
66	6	2	埼玉昆虫談話会	4			10	14	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎	
67	6	1	新領域創成科学研究科			2	2	4	黒石試験地における湧水調査	日帰り	
68	6	2	NPO法人 房総の野生生物調査会	6				12	18	秩父演習林・荒川源流域の自然観察会	川俣学生宿舎(食事あり)
69	6	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り	
70	6	1	農学生命科学研究科			1		1	ウダイカンバ新生二次木部組織のサンプル採取	日帰り	
71	6	4	農学生命科学研究科	4				4	実生トランセクト調査	日帰り	
72	6	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ	2			1	3	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣自炊宿舎	
73	6	1	槻の会(植物観察会グループ)				20	20	荒川水系入川上流の河畔植物観察	日帰り	
74	6	1	森林総合研究所 森林昆虫研究領域	1				1	ミミズ採集地点下見	日帰り	
75	6	1	演習林研究部	1		3		4	森林生態圏管理学特論現地講義	日帰り	
76	6	1	埼玉県 秩父環境管理事務所	6				6	秩父多摩甲斐国立公園川又十文字峠線登山道巡視	日帰り	
77	6	1	富士演習林	2				2	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」下見・準備	日帰り	
78	6	2	演習林研究部	6		60		66	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	川俣学生宿舎(食事あり)	
79	6	1	しおじの会				7	7	ハイキング(自然観察)	日帰り	
80	6	1	ふるさと館 談話室「集」				5	5	自然体験の下見	日帰り	
81	6	1	農学生命科学研究科			1		1	ウダイカンバ新生二次木部組織のサンプル採取	日帰り	
82	6	2	関東森林管理局 埼玉森林管理事務所	8				8	境界管理	テント・幕営	
83	6	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り	
84	6	1	新領域創成科学研究科			1		1	黒石試験地における毎木調査	日帰り	
85	6	2	農学生命科学研究科			2		2	水文観測の採水、メンテナンス	栃本宿舎(自炊泊)	
86	6	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り	
87	6	2	日本大学 生物資源科学部	2		2		4	鳥類標識疾病調査	テント・幕営	
88	6	2	農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識疾病調査	テント・幕営	
89	6	1	新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト研究、ロボットカメラデータ回収	日帰り	
90	6	1	秩父演習林	1			3	4	サポーター養成講座「秩父演習林の植物」	日帰り	
91	6	1	農学生命科学研究科	1				1	実生トランセクト調査	日帰り	
92	6	2	農学部 フィールド科学専修		4			4	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	栃本宿舎(自炊泊)	
93	6	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り	
94	6	1	埼玉県環境科学国際センター	3				3	オゾンデータ回収、ミヤマカシスユリ確認、アサガオ移植	日帰り	
95	6	2	千葉演習林	8			6	14	秩父演習林の見学	川俣学生宿舎(食事あり)	
96	6	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り	
97	7	1	農学生命科学研究科	1				1	長期生態系調査	日帰り	
98	7	2	早稲田大学人間科学部 人間環境学科	2	36	6	9	53	フィールドワーク実習	川俣学生宿舎(食事あり)	
99	7	2	埼玉昆虫談話会	4			10	14	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
100	7	3	森林総合研究所 森林昆虫研究領域	3				3	森林に生息する土壌動物の群集形成プロセスに進化的時間スケールから	栃本宿舎(自炊泊)
101	7	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
102	7	3	秩父第一中学校				12	12	演習林に関する様々な仕事を体験する	日帰り
103	7	1	農学生命科学研究科	1				1	長期生態系調査	日帰り
104	7	1	秩父演習林				1	1	サポーター養成講座「秩父演習林の動物」	日帰り
105	7	1	埼玉県環境科学国際センター	3				3	オゾン計確認、ミヤマカシユリの確認	日帰り
106	7	1	農学生命科学研究科	2		2		4	水文観測の採水、メンテナンス	日帰り
107	7	2	農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識疾病調査	テント・幕営
108	7	2	日本大学 生物資源科学部	2	4			6	鳥類標識疾病調査	テント・幕営
109	7	2	秋田県立大学 生物資源科学部	5		3	3	11	スズタケの一斉開花・枯死からの個体群回復過程に関する研究	川俣自炊宿舎
110	7	2	新領域創成科学研究科	2		2		4	ロボットカメラメンテ、フェノロジー観測、自然環境特別研究2	入川コンテナハウス1
111	7	1	農学生命科学研究科	1				1	長期生態系調査	日帰り
112	7	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
113	7	2	秩父演習林	10			26	36	公開講座「東大の森林で昆虫採集」	川俣学生宿舎(食事あり)
114	7	1	秩父観光協会大滝支部				300	300	大血川ハイキング	日帰り
115	7	2	演習林研究部			2		2	秩父天然林におけるブナとイヌブナの更新動態に関する研究	栃本宿舎(自炊泊)
116	7	1	農学部 フィールド科学専修		1			1	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	日帰り
117	7	2	秩父ふるさと館 談話室「集」				24	24	自然体験	川俣学生宿舎(食事あり)
118	7	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
119	7	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
120	7	2	埼玉県立寄居城北高等学校	8			40	48	SPP事業「荒川の環境」の一環としての生徒実習	日帰り
121	7	3	新領域創成科学研究科	3		15		18	入山樹木調査	栃本宿舎(自炊泊)
122	7	1	農学生命科学研究科	1				1	長期生態系調査	日帰り
123	7	1	しおじの会				2	2	ブナを食害するカミキリムシ調査	日帰り
124	7	1	新領域創成科学研究科	2		2	10	14	成城中学 文化祭「しらたまくんの自然教室」秩父演習林見学	日帰り
125	8	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
126	8	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、ミヤマカシユリ確認、アサガオの調査	日帰り
127	8	4	秩父演習林	10	4			14	全学体験ゼミ「関東の秘境でフィールドワーク入門」	川俣学生宿舎(食事あり)
128	8	2	農学部 フィールド科学専修		2			2	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	栃本宿舎(自炊泊)
129	8	2	埼玉昆虫談話会	4			12	16	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
130	8	1	秩父演習林	1			2	3	サポーター養成講座「森林生態系の管理と利用」	日帰り
131	8	1	農学生命科学研究科			1		1	落葉樹新生二次木部に含まれるセルロース組織採取	日帰り
132	8	1	田無試験地	1				1	森林政策実習の下見	日帰り
133	8	3	共栄学園中学高等学校	6			12	18	森林体験実習	川俣学生宿舎(食事あり)
134	8	3	富士演習林	3				3	共栄学園実習指導	川俣学生宿舎(食事あり)
135	8	1	農学生命科学研究科 森林動物学研究室			2		2	山中信彦・杉浦溪の修士論文のための野外調査	日帰り
136	8	2	農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識疾病調査	テント・幕営
137	8	2	日本大学 生物資源科学部	2		2		4	野鳥における血液原虫保有状況および媒介昆虫の調査	テント・幕営
138	8	2	新領域創成科学研究科	2				2	ロボットカメラメンテ、フェノロジー観測	入川コンテナハウス1
139	8	1	東京都立 墨田川高等学校	8			16	24	生物実習「森と川を考える」	日帰り
140	8	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
141	8	4	首都大学東京 理工学研究科 生命科学専攻	8	80			88	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
142	8	2	農学生命科学研究科			2		2	水文観測の採水、メンテナンス	栃本宿舎(自炊泊)
143	8	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
144	8	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
145	8	2	千葉大学 園芸学部 緑地環境学科	3	9	3		15	大面積長期生態系観測プロット等の見学	栃本宿舎(食事あり)
146	8	4	立正大学 地球環境科学部環境システム学科	4	68	4		76	学生実習(フィールドワークA)	川俣学生宿舎(食事あり)
147	8	1	特定非営利活動法人 パードリサーチ	1				1	黒石試験地における湧水調査	日帰り
148	8	3	森林総合研究所 森林昆虫研究領域	3				3	森林に生息する土壌動物の群集形成プロセスに進化的時間スケールから迫る	栃本宿舎(自炊泊)
149	8	1	新領域創成科学研究科		1	3	1	5	黒石試験地における湧水調査	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
150	8	1	新座市環境保全協会の会	4				4	研修視察	日帰り
151	8	1	しおじの会				1	1	甲虫および蛾の調査・採集	外部宿泊
152	8	1	農学生命科学研究科	5	14	3		22	森林政策学演習	川俣学生宿舎(食事あり)
153	9	1	しおじの会				1	1	甲虫および蛾の調査・採集	日帰り
154	9	3	農学生命科学研究科	14	42	9		65	森林政策学演習	川俣学生宿舎(食事あり)
155	9	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
156	9	2	埼玉昆虫談話会	4			6	10	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎(自炊泊)
157	9	1	田無試験地	2				2	丸太を使った簡便なナラ菌病原力判定法の確立	日帰り
158	9	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
159	9	1	農学生命科学研究科			1		1	水文観測の採水、メンテナンス	日帰り
160	9	3	新領域創成科学研究科	9		24		33	森林生態学野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
161	9	1	秩父演習林	2			3	5	サポーター養成講座「育林」	日帰り
162	9	1	演習林研究部	1			1	2	環境教育教材としての星野写真の撮影	日帰り
163	9	2	新領域創成科学研究科	2				2	メキシコ現代美術館展示用大プロネットワーク接続	入川コンテナハウス1
164	9	1	埼玉県農林総合研究センター	1				1	有用広葉樹採取母樹確保事業の内ブナ自生個体のDNA分析による遺伝的分化の識別	日帰り
165	9	4	農学生命科学研究科	12	64	4		80	森林植物学実験 野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
166	9	1	埼玉県農林総合研究センター	3				3	有用広葉樹採取母樹確保事業の内ブナ自生個体のDNA分析による遺伝的分化の識別	日帰り
167	9	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
168	9	2	農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識疾病調査	テント・幕営
169	9	2	日本大学 生物資源科学部	1		2		3	野鳥における血液原虫保有状況および媒介昆虫の調査	テント・幕営
170	9	1	新領域創成科学研究科	1				1	ロボットカメラメンテ	日帰り
171	9	1	埼玉県農林総合研究センター	3				3	有用広葉樹採取母樹確保事業の内ブナ自生個体のDNA分析による遺伝的分化の識別	日帰り
172	9	1	秩父市立尾田蔭中学校	2			13	15	原生林や溪流の素晴らしさと環境との関わりを学ぶ	日帰り
173	9	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、ミヤマカシスユリ確認	日帰り
174	9	1	北海道演習林	1				1	林道維持管理状況調査	日帰り
175	9	1	埼玉県農林総合研究センター 茶業研究所	6				6	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験に係る試験地の整備	日帰り
176	9	1	しおじの会				25	25	しおじの会 菌類勉強会	日帰り
177	9	2	秩父演習林	4				4	秩父演習林の見学	外部宿泊
178	9	1	(財)電力中央研究所	1				1	河川水の採水	日帰り
179	9	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
180	9	4	農学生命科学研究科	8		47		55	森圏管理学実習	川俣学生宿舎(食事あり)
181	9	1	農学部 フィールド科学専修		1			1	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	日帰り
182	9	1	千葉大学 園芸学部緑地環境学科		1			1	卒業研究課題	日帰り
183	9	1	秩父演習林	8				8	秩父演習林の見学	外部宿泊
184	10	2	埼玉昆虫談話会	10			2	12	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
185	10	2	新領域創成科学研究科	2				2	ロボットカメラメンテ、デザインスタジオ下見	入川コンテナハウス1
186	10	4	千葉大学 園芸学部緑地環境学科		4			4	卒業研究課題	川俣自炊宿舎
187	10	4	三重大学大学院 生物資源研究科 共生環境学専攻	4	8	4		16	山地溪畔林の動態に関する研究	栃本宿舎(食事あり)
188	10	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
189	10	1	秩父演習林				2	2	サポーター養成講座「公益的機能」	日帰り
190	10	1	演習林研究部	1			1	2	環境教育教材としての星野写真の撮影	日帰り
191	10	2	農学生命科学研究科			2		2	水文観測の採水、メンテナンス	栃本宿舎(自炊泊)
192	10	3	農学生命科学研究科	5	42	9		56	生物素材科学専修「バイオマス科学実習」・木質構造科学専修	川俣学生宿舎(食事あり)
193	10	2	秩父演習林	4				4	食植生昆虫の種多様性に関する研究の調査下見	栃本宿舎(食事あり)
194	10	2	農学部 フィールド科学専修		2			2	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	栃本宿舎(食事あり)
195	10	2	農学生命科学研究科	2		2		4	鳥類標識調査	テント・幕営
196	10	2	日本大学 生物資源科学部			2		2	野鳥における血液原虫保有状況および媒介昆虫の調査	テント・幕営
197	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
198	10	2	新領域創成科学研究科	6		10		16	自然環境デザインスタジオ	川俣学生宿舎(自炊泊)

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
199	10	1	富士演習林	2				2	ラジオ局取材	日帰り
200	10	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
201	10	4	千葉大学 園芸学部緑地環境学科		4			4	卒業研究課題	川俣自炊宿舎
202	10	2	農学生命科学研究科	2		2		4	人工林成長試験地の測定	栃本宿舎(食事あり)
203	10	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
204	10	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
205	10	1	新領域創成科学研究科			4		4	湧水・土壌調査	日帰り
206	10	4	秩父演習林	8				8	食植生昆虫の種多様性に関する研究の調査下見	外部宿泊
207	10	1	新座市環境保全協力員の会				26	26	樹木と環境を学ぶ研修	日帰り
208	10	1	財団法人 さいたま緑のトラスト協会	2			43	45	ボランティアスタッフ研修	日帰り
209	10	1	農学生命科学研究科	1				1	ボランティアスタッフ研修指導	日帰り
210	10	2	新領域創成科学研究科	4				4	ロボットカメラメンテ	入川コンテナハウス1
211	10	1	北海道演習林	2				2	ワサビ沢量水堰改修工事アドバイス	日帰り
212	10	1	三越旅行部				20	20	自由見学日への参加	日帰り
213	10	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オープンデータ回収、ミヤマカシスユリ確認	日帰り
214	10	1	秩父演習林				24	24	秋の自由見学日	日帰り
215	11	2	田無試験地	7				7	環境安全実地研修	川俣学生宿舎(食事あり)
216	11	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
217	11	1	秩父観光協会大滝支部				300	300	紅葉見学ハイキング	日帰り
218	11	1	秩父演習林	1			4	5	ゴミ拾い	日帰り
219	11	1	秩父演習林	1			1	2	秩父演習林の見学	日帰り
220	11	1	秩父演習林				5	5	寄付金制度「秩父演習林見学会」	日帰り
221	11	2	秩父演習林	6	2			8	総合科目「長期生態系入門」	川俣学生宿舎(食事あり)
222	11	2	秩父演習林				303	303	ワサビ沢展示室特別開室	日帰り
223	11	1	演習林研究部	1			1	2	自動撮影カメラフィルム交換・環境教育教材としての星野写真の撮影	日帰り
224	11	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
225	11		千葉大学 園芸学部緑地環境学科		2			2	卒業研究課題	栃本宿舎(自炊泊)
226	11	2	農学生命科学研究科	2				2	鳥類標識疾病調査	テント・幕営
227	11	2	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科	2		4		6	スギ人工林内光環境の測定	栃本宿舎(食事あり)
228	11	1	農学生命科学研究科			1		1	水文観測の採水、メンテナンス	日帰り
229	11	1	新領域創成科学研究科	1				1	ロボットカメラメンテ	日帰り
230	11	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
231	11	2	埼玉昆虫談話会	2			6	8	秩父演習林およびその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
232	11	2	新領域創成科学研究科	6		10		16	自然環境デザインスタジオ	テント・幕営
233	11	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
234	11	1	日本女子大櫻楓家庭工芸(研)	2				2	ツル植物の資料作成	日帰り
235	11	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
236	11	1	林木育種センター	2				2	ケヤキの地理的変異の解明	日帰り
237	11	3	農学部 フィールド科学専修		3			3	卒業論文のための研究(オノオレカンバの生育地調査)	栃本宿舎(食事あり)
238	11	1	田無試験地	1				1	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」下見	日帰り
239	11	1	北海道演習林	1				1	樹木観察	日帰り
240	11	2	農学生命科学研究科	2				2	ミズナラ結実、長期生態系調査	入川コンテナハウス1
241	11	1	一般				2	2	演習林見学	日帰り
242	11	2	生態調和農学機構	6				6	技術職員の業務実情の研修	外部宿泊
243	11	1	農学生命科学研究科	1				1	研究機材巡視	日帰り
244	11	1	秩父市立大滝小学校	2			8	10	総合的な学習における体験学習	日帰り
245	11	1	一般				2	2	演習林見学	日帰り
246	11	3	秩父演習林	9				9	食植生昆虫の種多様性に関する研究の調査下見	外部宿泊
247	11	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
248	12	1	新領域創成科学研究科	1				1	ロボットカメラメンテ	日帰り
249	12	1	演習林研究部	1			1	2	環境教育教材としての星野写真の撮影・自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
250	12	2	秩父演習林	6	2			8	総合科目「長期生態系入門」	川俣学生宿舎(食事あり)
251	12	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
252	12	1	埼玉県立秩父特別支援学校	2				2	クリスマス用教材探し	日帰り
253	12	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
254	12	2	千葉演習林	2				2	タケ亜科植物における推定雑種検出を可能とするDNAバーコーディングの検討	外部宿泊

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
255	12	3	日本ミクニヤ株式会社東京支店環境防災部	9				9	林野庁の実施する「森林生態系多様性基礎調査」の委託調査	外部宿泊
256	12	1	秩父演習林				4	4	サポーター養成講座「環境教育」	日帰り
257	12	1	新領域創成科学研究科	2		1		3	ロボットカメラメンテ	日帰り
258	12	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラの結実動態調査	日帰り
259	12	1	農学生命科学研究科	1				1	ミズナラの結実動態調査	日帰り
260	12	2	田無試験地	6	30			36	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	川俣学生宿舎(食事あり)
261	12	1	秩父演習林	2		1		3	秩父演習林の見学	日帰り
262	12	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、ミヤマカシスユリ確認	日帰り
263	12	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
264	12	1	日本ミクニヤ株式会社東京支店環境防災部	3				3	林野庁の実施する「森林生態系多様性基礎調査」の委託調査	日帰り
265	12	1	農学生命科学研究科			1		1	水文観測の採水、メンテナンス	日帰り
266	1	1	新領域創成科学研究科	1				1	ロボットカメラメンテ	日帰り
267	1	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
268	1	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2			2	4	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣自炊宿舎
269	1	1	演習林研究部	1				1	バケモノ沢水位計確認、量水堰堤見学	日帰り
270	1	2	農学生命科学研究科	2				2	ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
271	1	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
272	1	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
273	1	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
274	1	1	独立行政法人 国際協力機構				1	1	秩父演習林の見学	日帰り
275	1	1	農学生命科学研究科			1		1	水文観測の採水、メンテナンス	栃本宿舎(自炊泊)
276	2	1	農学生命科学研究科			1		1	水文観測の採水、メンテナンス	日帰り
277	2	1	演習林研究部	1				1	自動撮影カメラのフィルム交換	日帰り
278	2	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
279	2	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
280	2	1	行政書士				1	1	秩父演習林の見学	日帰り
281	2	2	新領域創成科学研究科	6		4		10	矢竹および鉄塔のロボットカメラの記録及び伝送システムの修正と開発	栃本宿舎(自炊泊)
282	2	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
283	2	2	新領域創成科学研究科	4		4		8	矢竹および鉄塔のロボットカメラの記録及び伝送システムの修正と開発	栃本宿舎(自炊泊)
284	2	4	農学生命科学研究科	4				4	長期生態系研究(リター)	日帰り
285	2	1	秩父演習林	5			13	18	公開講座「大学って何してるの?」	日帰り
286	2	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、ミヤマカシスユリ確認	日帰り
287	2	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
288	2	3	特定非営利活動法人バードリサーチ	6			2	8	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	栃本宿舎(自炊泊)
289	2	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
290	2	2	農学生命科学研究科			2		2	水文観測の採水、メンテナンス	栃本宿舎(自炊泊)
291	2	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
292	3	1	一般				1	1	秩父演習林の見学	日帰り
293	3	2	新領域創成科学研究科	4		2		6	大プロ・ロボットカメラ工事	栃本宿舎(自炊泊)
294	3	1	秩父演習林	2				2	哺乳類群集の地理的分布に関する研究打ち合わせ	日帰り
295	3	1	演習林研究部	1			1	2	自動撮影カメラのフィルム交換及び星野写真の撮影	日帰り
296	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
297	3	1	秩父演習林	2				2	哺乳類群集の地理的分布に関する研究打ち合わせ	日帰り
298	3	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
299	3	1	富士演習林	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
300	3	3	新領域創成科学研究科	3		3		6	大プロ・ロボットカメラ工事	栃本宿舎(自炊泊)
301	3	1	農学生命科学研究科			1		1	ブナ・イヌブナ林とスギ林における大気と森林樹冠での物質相互作用の定量的評価とモデル化	日帰り
302	3	1	農学生命科学研究科	2				2	森林土壌学実験下見	日帰り

利用者数合計 3,928

利用件数 302

演習林名: 愛知演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	岐阜県弁護士会				16	16	岐阜県弁護士会公害環境委員会の森林の機能についての学習会	日帰り
2	4	4	京都大学大学院農学研究科山地保全学研究室	4	4	8		16	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出	赤津宿泊施設
3	4	1	シデコブシの会				2	2	シデコブシの会打ち合わせ	日帰り
4	4	3	演習林研究部			3		3	修士論文の相談及び準備の為	赤津宿泊施設
5	4	18	秩父演習林	2		18		20	ナラ枯れが養菌性キクイムシ層に及ぼす影響の解明	赤津宿泊施設
6	4	1	犬山市生活環境部公園緑地課				20	20	犬山市市民健康館さら・さくらまつりトレッキングのため	日帰り
7	4	1	一般市民				1	1	愛知演習林の森林水文観測施設見学のため	日帰り
8	4	1	犬山市生活環境部公園緑地課				12	12	市民利用と環境整備に関する地域交流協定に基づく活動	日帰り
9	4	1	犬山市生活環境部公園緑地課				12	12	市民利用と環境整備に関する地域交流協定に基づく活動	日帰り
10	4	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
11	4	1	一般市民	1			1	2	巣箱調査同行	日帰り
12	4	4	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		12			12	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
13	4	1	シデコブシの会				3	3	愛知中部水道企業団 イベント打ち合わせ	日帰り
14	4	1	シデコブシの会				2	2	シデコブシの会 会計処理	日帰り
15	4	3	演習林研究部			3		3	修士論文の相談及び準備の為	赤津宿泊施設
16	4	2	秩父演習林	2				2	犬山市立今井小学校探鳥会指導とそれに関わる打ち合わせ	五位塚宿泊施設
17	4	2	筑波大学大学院生命環境科学研究科	4		4		8	犬山のCRESTサイトの測器設置・補修	赤津宿泊施設
18	4	1	シデコブシの会				5	5	シデコブシの会 植物講習会	日帰り
19	5	1	シデコブシの会				45	45	とよた森林学校 森林セミナー	日帰り
20	5	5	一般市民				5	5	自然観察	日帰り
21	5	2	一般市民				2	2	自然観察	日帰り
22	5	2	一般市民				2	2	自然観察	日帰り
23	5	2	一般市民				2	2	自然観察	日帰り
24	5	1	秩父演習林	1				1	赤津作業所構内に設置してある昆虫とラップのチェックおよび利用者研究集会参加のため	日帰り
25	5	2	筑波大学大学院生命環境科学研究科	2				2	利用者集会参加・犬山のCREST測器のデータ回収	赤津宿泊施設
26	5	6	東京大学教養学部	6	72			78	教養学部全学体験ゼミナール「里山の自然を訪ねて」	赤津宿泊施設
27	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1	1	1	1	4	東京大学愛知演習林の利用者研究集会	日帰り
28	5	4	京都大学大学院農学研究科山地保全学研究室	4				4	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	赤津宿泊施設
29	5	5	演習林研究部			5		5	修士論文作成のための調査・相談	赤津宿泊施設
30	5	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
31	5	1	シデコブシの会				7	7	8/4水に親しむ親子体験ツアーについての中日ショッパー取材	日帰り
32	5	9	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		21			21	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
33	5	1	犬山市生活環境部公園緑地課				17	17	子供対象ウォークラリーの開催のための下見	日帰り
34	5	1	犬山市生活環境部公園緑地課				16	16	子供対象ウォークラリーの開催のための下見	日帰り
35	5	1	犬山市生活環境部公園緑地課				31	31	犬山市市民健康館 さら・さくらまつりトレッキングのため	日帰り
36	5	1	シデコブシの会				2	2	9/11萩山公民館 演習林見学会についての打ち合わせ	日帰り
37	5	1	東京大学農学生命科学研究科国際森林環境学研究室	1				1	リモートセンシングによる森林資源予測システムの構築	赤津宿泊施設
38	6	2	秩父演習林	2				2	今井小学校探鳥会指導のため	五位塚宿泊施設
39	6	5	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		10			10	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
40	6	1	豊田市矢作川研究所				1	1	ヒメヒカゲの分布調査	日帰り
41	6	1	豊田市矢作川研究所				1	1	ヒメヒカゲの分布調査	日帰り
42	6	1	豊田市矢作川研究所				1	1	ヒメヒカゲの分布調査	日帰り
43	6	3	東京大学教養学部 非常勤講師	3	62			65	東京大学教養学部総合科目D「ダムと森林」フィールドワーク	赤津宿泊施設
44	6	1	東京大学農学生命科学研究科国際森林環境学研究室	1				1	リモートセンシングによる森林資源予測システムの構築	日帰り
45	6	1	千葉演習林	1				1	着花量の少ないスギ品種の非赤枯れ性溝腐病の抵抗性について	日帰り
46	6	3	砂防工学研究室	6	45	6		57	森林保全学実習	赤津宿泊施設
47	6	2	砂防工学研究室			2		2	研究相談(田中延亮先生)	赤津宿泊施設
48	6	19	演習林研究部			19		19	ナラ枯れが養菌性キクイムシ層に及ぼす影響の解明	赤津宿泊施設
49	6	3	演習林研究部			3		3	修士論文の相談及び準備の為	五位塚宿泊施設
50	6	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
51	6	4	北海道演習林	4				4	GIS講習会・レーザーコンパス研修	外部宿泊施設
52	6	2	演習林研究部	2				2	演習林の管理について	五位塚宿泊施設
53	6	1	筑波大学大学院生命環境科学研究科	1				1	犬山のCRESTサイトのデータ回収	日帰り
54	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1		1		2	樹液流の観測システムの見学	日帰り
55	6	1	大山市生活環境部公園緑地課				12	12	市民利用と環境整備に関する地域交流協定に基づく活動	日帰り
56	6	3	京都大学大学院農学研究科山地保全学研究室	3				3	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	赤津宿泊施設
57	6	6	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		14			14	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
58	6	1	大山市生活環境部公園緑地課				25	25	大山市市民健康館 市民健康づくりウォーキング	日帰り
59	6	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 砂出し体験	日帰り
60	7	2	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		4			4	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
61	7	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
62	7	3	演習林研究部			3		3	ナラ枯れが養菌性キクイムシ層に及ぼす影響の解明	赤津宿泊施設
63	7	10	Dept of Biology and Environmental Science School of Life Sciences University of Sussex	10				10	犬山研究林におけるコウモリ相の予備的調査	日帰り
64	7	3	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		6			6	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
65	7	1	一般市民				15	15	県道33号線沿いの清掃	日帰り
66	7	3	演習林研究部	2		3		5	ナラ枯れが養菌性キクイムシ相に及ぼす影響の解明(羽化トラップのチェック)	赤津宿泊施設
67	7	3	演習林研究部			3		3	修士論文の相談及び準備の為	五位塚宿泊施設
68	7	4	Dept of Biology and Environmental Science School of Life Sciences University of Sussex	4				4	犬山研究林におけるコウモリ相の予備的調査	日帰り
69	8	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
70	8	1	梅村学園 三重中学校	2				2	8/26の下見 打合せ	日帰り
71	8	2	灘中学校灘高等学校	6			44	50	森林保全方法と生物相の中高生研修	赤津宿泊施設
72	8	1	シデコブシの会				40	40	水に親しむ親子体験ツアー	日帰り
73	8	14	Dept of Biology and Environmental Science School of Life Sciences University of Sussex	14				14	犬山研究林におけるコウモリ相の調査場所の探索	日帰り
74	8	1	演習林研究部			1		1	研究計画をたてるための現地見学	日帰り
75	8	3	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		6			6	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
76	8	4	京都大学大学院農学研究科山地保全学研究室	4				4	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	赤津宿泊施設
77	8	3	演習林研究部			3		3	修士論文の相談及び準備の為	五位塚宿泊施設
78	8	1	大山市生活環境部公園緑地課				5	5	市民利用と環境整備に関する地域交流協定に基づく活動	日帰り
79	8	1	梅村学園 三重中学校	3			22	25	三重中学校特別授業「森林を通して、環境を科学の視点で考えよう」	日帰り
80	8	1	生活協同組合コープあいち地域組合員活動支援部				10	10	植物観察会、間伐体験	日帰り
81	8	1	瀬戸市立南山中学校	2				2	植物のDNAバーコード化のためのミカワシオガマの葉の採集	日帰り
82	8	1	あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット)				29	29	夏休み「いきものたんけん隊」夏の森で水生昆虫を探そう開催のため	日帰り
83	8	1	地域環境活性化協議会				39	39	「こども環境大学」の一環として環境教育の体験水生昆虫探し	日帰り
84	9	1	萩山公民館				44	44	見学	日帰り
85	9	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
86	9	1	日本民家再生協会 きんき民家塾				35	35	きんき民家塾 第4回講座「山と木を学ぶツアー」	日帰り
87	9	10	演習林研究部	10				10	ナラ枯れが養菌性キクイムシ層に及ぼす影響の解明	赤津宿泊施設
88	9	1	シデコブシの会				2	2	砂出し体験	日帰り
89	9	1	(愛知県) あいち海上の森センター	3			14	17	あいち海上の森大学講座 科目: 森林環境(森林機能と水環境、東大演習林観察)	日帰り
90	9	2	農学生命科学研究科森林科学専攻科学の森教育研究センター			2		2	修士論文作成のための調査・相談	五位塚宿泊施設
91	9	4	京都大学大学院農学研究科地域環境学専攻森林生態学	4				4	共同研究の打合せ	五位塚宿泊施設
92	9	3	東京農大森林総合科学科治山・緑化学研究室		9			9	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
93	9	5	森林理水及び砂防工学研究室	5	35	15		55	測量学実習	赤津宿泊施設
94	9	9	Dept of Biology and Environmental Science School of Life Sciences University of Sussex	9				9	犬山研究林におけるコウモリ相の調査場所の探索	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
95	9	1	NPO法人 東海自然学園				14	14	犬山研究林利用者協議会に活かすための見学および学園スタッフの自然観察等実践教育	日帰り
96	10	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 定例会	日帰り
97	10	2	附属演習林研究部	8		2		10	森林圏生態社会学研究室ゼミ	赤津宿泊施設
98	10	1	財団法人電力中央研究所環境科学研究所	2				2	河川水質および生態系の調査	日帰り
99	10	6	東京農業大学森林総合科学科治山・緑化学研究室		20			20	卒業論文の調査および相談	赤津宿泊施設
100	10	1	犬山市生活環境部公園緑地課				30	30	犬山市市民健康館市民健康づくりトレッキング	日帰り
101	10	3	森林理水及び砂防工学研究室			3		3	コナラの吸水実験の見学	赤津宿泊施設
102	10	3	森林科学専攻科学の森教育研究センター			3		3	修士論文の相談及び準備の為	五位塚宿泊施設
103	10	1	犬山市生活環境部公園緑地課	1			23	24	市民健康づくりトレッキング	日帰り
104	10	1	犬山市立南部中学校	2			5	7	見学(環境自然、分野)	日帰り
105	10	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会猿投山登山	日帰り
106	11	3	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			3		3	研究相談	赤津宿泊施設
107	11	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
108	11	3	附属演習林秩父演習林	8				8	新居試験地のマツ樹幹注入木と犬山・赤津両研究林のナラ枯れ処理木地元自治会によるキノコ山入札に関する調査	五位塚宿泊施設
109	11	2	附属演習林富士演習林	2				2		五位塚宿泊施設
110	11	25	Dept of Biology and Environmental Science School of Life Sciences University of Sussex	25				25	犬山研究林におけるコウモリ相の調査場所の探索	日帰り
111	11	1	附属演習林愛知演習林	19	8		6	33	森林調査学習ツアー(あいち森と緑づくり環境活動学習推進事業)	日帰り
112	11	3	森林科学専攻科学の森教育研究センター			3		3	修士論文の相談及び準備のため	五位塚宿泊施設
113	11	3	東京農業大学森林総合科学科治山・緑化学研究室		9			9	卒業論文の為の調査、相談	赤津宿泊施設
114	11	1	春日井市環境部環境保全				16	16	ステップアップ講座	日帰り
115	11	1	附属演習林愛知演習林	1			3	4	春日井市自然環境ステップアップ講座の補助	日帰り
116	11	1	犬山市生活環境部公園緑地課				21	21	犬山市市民健康館市民健康づくりトレッキング	日帰り
117	11	1	附属演習林愛知演習林	17	8		3	28	森林調査学習ツアー(あいち森と緑づくり環境活動学習推進事業)	日帰り
118	11	1	生態調和農学機構	1				1	今井小学校探鳥会打ち合わせ	日帰り
119	11	1	附属演習林秩父演習林	8			1	9	マツ枯れ予防対策候補木の選定	日帰り
120	11	1	藤前干潟を守る会				10	10	なごや環境大学講座「庄内川水系水のつながり」	日帰り
121	11	1	シデコブシの会				3	3	なごや環境大学「庄内川水系水のつながり」イベント補助	日帰り
122	12	1	シデコブシの会				13	13	シデコブシの会標石ツアー	日帰り
123	12	2	附属技術基盤センター	4				4	技術職員業務運営組織検討委員会附属施設訪問交流	赤津宿泊施設
124	12	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
125	12	1	犬山市生活環境部公園緑地課	2			14	16	犬山市市民健康館市民健康づくりトレッキング	日帰り
126	12	1	四日市大学環境情報学部		1			1	赤津研究林の見学	日帰り
127	12	1	シデコブシの会				5	5	ナラ枯れ木伐倒見学、手伝い	日帰り
128	12	1	名古屋大学生命農学研究科	2	38			40	生物環境科学基盤実験実習	日帰り
129	12	3	東京農業大学森林総合科学科治山・緑化学研究室		18			18	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
130	12	1	附属演習林千葉演習林	1				1	ヒメコマツおよびコナラ枯損木調査	日帰り
131	12	3	森林科学専攻科学の森教育研究センター			3		3	修士論文の相談および準備	五位塚宿泊施設
132	12	1	Dept of Biology and Environmental Science School of Life Sciences University of Sussex	1				1	赤津研究林におけるコウモリ相調査の場所の探索	日帰り
133	1	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
134	1	1	犬山市生活環境部公園緑地課	1			22	23	犬山市市民健康館市民健康づくりトレッキング	日帰り
135	1	3	東京農業大学森林総合科学科治山・緑化学研究室		12			12	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
136	1	1	シデコブシの会				19	19	犬山研究林見学ツアー	日帰り
137	1	7	森林科学専攻科学の森教育研究センター			7		7	修士論文の相談及び準備	五位塚宿泊施設
138	1	2	筑波大学大学院生命環境科学研究所	2		2		4	犬山のCREST試験流域サイトの測器メンテナンス	赤津宿泊施設
139	1	1	附属演習林秩父演習林	5			1	6	新居試験地のマツ樹幹注入と技術職員の研修	外部宿泊施設
140	2	1	日本変形菌研究会				5	5	日本変形菌研究会調査会の下見	日帰り
141	2	1	名古屋大学大学院生命農学研究科森林生態生理学研究分野			1		1	シデコブシ、タムシバにおける種間交雑に関する研究計画立案のための現地見学	日帰り
142	2	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
143	2	2	附属演習林秩父演習林	10			2	12	新居試験地のマツ樹幹注入と技術職員の研修	外部宿泊施設
144	2	4	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			4		4	降雨、樹冠遮断量のデータ整理及び解析	赤津宿泊施設
145	2	3	東京農業大学森林総合科学科治山・緑化学研究室		18			18	卒業論文の調査、相談	赤津宿泊施設
146	2	1	附属演習林愛知演習林	1	5			6	全体体験ゼミナール「マツ・オン・ザ・ビーチ」	日帰り
147	2	1	附属演習林愛知演習林	1	5			6	全体体験ゼミナール「マツ・オン・ザ・ビーチ」	日帰り
148	2	1	附属演習林愛知演習林				8	8	公開講座「マツ枯れ跡地に一緒にマツを植えませんか？」	日帰り
149	2	2	森林科学専攻科学の森教育研究センター			2		2	修士論文の相談及び準備	五位塚宿泊施設
150	2	4	東京大学教養学部	3	19			22	全体体験ゼミナール「ダムと土砂」	五位塚宿泊施設
151	3	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会定例会	日帰り
152	3	1	東明連区自治連合会				9	9	瀬戸設楽線沿線清掃活動	日帰り
153	3	1	シデコブシの会				4	4	シデコブシの会補助者講習会	日帰り
154	3	1	犬山市生活環境部公園緑地課				32	32	犬山市民健康館市民健康づくりトレッキング	日帰り
155	3	4	一般				4	4	データ整理	日帰り
156	3	5	一般				5	5	データ整理	日帰り
157	3	2	一般				2	2	データ整理	日帰り
158	3	4	一般				4	4	データ整理	日帰り
159	3	1	シデコブシの会				5	5	せと環境塾「東大演習林を知る」案内	日帰り
160	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	2		1		3	シデコブシ・タムシバにおける種間交雑に関する現地での交配実験	日帰り
161	3	1	瀬戸市役所環境課	3			29	32	せと環境塾「東大演習林を知る」開催のため	日帰り
162	3	1	農学生命科学研究科附属水産実験所	2				2	愛知演習林内に生息する魚類の調査と同定	日帰り
163	3	3	森林科学専攻科学の森教育研究センター			3		3	修士論文の相談及び準備	五位塚宿泊施設
164	3	1	東京大学愛知演習林				17	17	学びキャンパスせと現地見学会	日帰り
165	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	2		1		3	シデコブシ・タムシバにおける種間交雑に関する現地での交配実験	日帰り
166	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	2				2	シデコブシ・タムシバにおける種間交雑に関する現地での交配実験	日帰り
167	3	1	筑波大学大学院生命環境科学研究科	1		1		2	ホフマン工事の調査、愛知演習林内堰堤の見学	日帰り
168	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1	1	1		3	シデコブシ・タムシバにおける種間交雑に関する現地での交配実験	日帰り
169	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	2	1	1		4	シデコブシ・タムシバにおける種間交雑に関する現地での交配実験	日帰り
170	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1	1			2	シデコブシ・タムシバにおける種間交雑に関する現地での交配実験	日帰り

利用者数合計 1,853

利用件数 170

演習林名: 富士演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	個人				12	12	観察会	日帰り
2	4	1	(独) 物質・材料研究機構 材料信頼性センター 腐食研究グループ	1			1	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
3	4	1	渋谷区教育委員会	22				22	移動教室の実地踏査	日帰り
4	4	1	東邦大学理学部		1			1	ブナ林とミズナラ林の蒸散量の比較	日帰り
5	5	1	スポニチ山中湖ロードレース大会				23000	23000	第29回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う会場および周辺道路として	日帰り
6	5	1	聖ヨゼフ学園小学校	8			80	88	自然体験学習	日帰り
7	5	1	東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属演習林 研究部	1		3		4	森林生態圏管理学講義	日帰り
8	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	1	7			8	都留文科大学「地域資源管理実習」	日帰り
9	5	1	渋谷区立本町小学校	5			26	31	山中移動教室による湖畔・林散策	日帰り
10	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1	1		1	3	樹木の更新プロセスによる林分内遺伝子構造の時系列変化	日帰り
11	5	1	渋谷区立上野原小学校	4			18	22	自然散策、写生、昼食	日帰り
12	5	1	渋谷区立加計塚小学校	9			51	60	自然観察、森林散策	日帰り
13	5	1	渋谷区立山谷小学校	4			43	47	自然観察	日帰り
14	5	1	渋谷区立広尾小学校	5			23	28	小学校移動教室	日帰り
15	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室			1		1	間接伝播される侵入生物の定着に及ぼす外来種の相互作用系の反応	日帰り
16	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 富士演習林	1		2		3	景観整備と木質燃料利用に関する検討	日帰り
17	5	1	渋谷区立臨川小学校	5			23	28	小学校移動教室	日帰り
18	5	1	東邦大学理学部	1	2			3	産地の異なるブナの開葉フェノロジーに対する環境要因の解析	日帰り
19	5	1	(独) 物質・材料研究機構 材料信頼性センター 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
20	6	1	東京都渋谷区立神南小学校	5			69	74	富士演習林観察	日帰り
21	6	1	東京大学千葉演習林	1				1	着花量の少ないスギ品種の非赤枯れ性溝腐病の抵抗性について	日帰り
22	6	1	山梨県森林総合研究所				4	4	林内見学	日帰り
23	6	1	(独) 物質・材料研究機構 材料信頼性センター 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
24	6	1	山梨県立吉田高等学校				120	120	平成22年度関東高等学校選抜ヨット開催のため	日帰り
25	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 研究部	1	4			5	総合科目「森林-人間系の科学」	日帰り
26	6	1	附属演習林研究部		1			1	人為火入れ土壌におけるウダイカンバ種子発芽量実験	日帰り
27	6	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	甲虫調査	日帰り
28	7	2	八幡幼稚園	21			134	155	課外保育	日帰り
29	7	2	聖ヨゼフ学園小学校	8			156	164	1年生体験学習	日帰り
30	7	1	NHK学園オープンスクールあきる野教室				18	18	樹木と山野草の観察	日帰り
31	7	1	渋谷教育学園浦安幼稚園	20			97	117	年長1泊保育の行程で演習林にて昼飯と散策をする為	日帰り
32	7	1	静岡サレジオ小学校	7			157	164	森の散策	日帰り
33	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	6		10		16	学部実習「環境設計演習」の現地講義	日帰り
34	7	1	NPO法人 アースバウンダー	10			120	130	環境教育プログラムの実施	日帰り
35	7	2	東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属演習林 研究部	6	2		17	25	内藤塾	日帰り
36	7	1	森林国政計画学研究室				1	1	見学	日帰り
37	7	2	附属演習林研究部	2		2		4	人為火入れ土壌におけるウダイカンバ種子発芽量実験	富士山中宿泊施設
38	7	1	学校法人渋谷教育学園 渋谷教育学園浦安幼稚園	20			97	117	年長1泊保育の行程の中で演習林にて昼食と散策をする為	日帰り
39	7	1	東邦大学理学部生物学科	1			1	2	ブナとミズナラ林の蒸散量の比較	日帰り
40	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	2	14			16	都留文科大学「地域資源管理実習」	日帰り
41	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 秩父演習林	4				4	基盤データ整備委員会 生物部門 植物班 調査	日帰り
42	7	1	(独) 物質・材料研究機構 材料信頼性センター 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
43	7	2	丸山幼稚園	28			95	123	休憩、昼食、散策	日帰り
44	7	2	八幡幼稚園	21			67	88	夏季宿泊保育に伴い自然に触れる体験学習として	日帰り
45	7	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	昆虫調査	富士山中宿泊施設
46	7	1	附属演習林 富士演習林				2	2	見学	日帰り
47	7	2	静岡サレジオ小学校	10			75	85	森の散策	日帰り
48	7	1	NPO法人 アースバウンダー	5			30	35	環境教育プログラムの実施	日帰り
49	7	1	野外学技FOS				30	30	湖畔遊び	日帰り
50	7	1	東邦大学理学部生物学科	1				1	ブナとミズナラ林の蒸発量の比較	日帰り
51	7	1	野外学技FOS				30	30	湖畔遊び 自然ふれあい	日帰り
52	7	1	不二聖心女子学院	9			84	93	追跡ハイキング	日帰り
53	7	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			3		3	昆虫調査	富士山中宿泊施設
54	7	1	聖ヨゼフ学園小学校	32				32	散策	日帰り
55	7	2	附属演習林			4	2	6	演習林の見学	富士山中宿泊施設
56	7	1	NPO法人 アースバウンダー	2			13	15	環境教育プログラムの実施	日帰り
57	8	19	東京大学教養学部		399		10	409	馬術部の合宿	日帰り
58	8	3	カトリック府中教会		18		87	105	森林散策	日帰り
59	8	1	なし				4	4	見学	日帰り
60	8	2	内閣府地域主権戦略室				8	8	自然観察	日帰り
61	8	3	森林動物学研究室	9	45	9		63	森林動物学実験	日帰り
62	8	3	カトリック教会				90	90	見学	日帰り
63	8	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	昆虫調査	富士山中宿泊施設
64	8	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性センター 腐食研究グループ	2		2		4	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
65	8	2	学校法人静岡聖母学園				22	22	見学	日帰り
66	8	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	調査	富士山中宿泊施設
67	8	1	なし				13	13	見学	日帰り
68	8	1	NPO法人 ファミリーツリー				25	25	湖畔の水遊び	日帰り
69	8	2	東邦大学理学部生物学科	1	2	2	2	7	ブナとミズナラ林の蒸発量の比較	富士山中宿泊施設
70	8	4	目黒星美学園小学校				349	349	自然観察	日帰り
71	9	1	渋谷区立猿楽小学校	6			38	44	移動教室 ネイチャーゲーム	日帰り
72	9	3	東邦大学理学部生物学科	3	81	3		87	野外基礎実習(学部1年)	日帰り
73	9	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	昆虫調査	富士山中宿泊施設
74	9	5	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻	45	305			350	社会基盤学科フィールド演習	日帰り
75	9	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	昆虫調査	富士山中宿泊施設
76	9	2	東京大学大学院新領域創成科学自然環境学専攻			2		2	昆虫調査	富士山中宿泊施設
77	9	4	東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属演習林 研究部	12	8			20	全学体験ゼミ 「森林の保健休養機能」	日帰り
78	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	40		1	12	53	東大教職員特別ガイド「富士演習林のキノコ」	日帰り
79	10	1	東京大学渉外本部	2			21	23	東大基金寄附者向けイベント「富士演習林でキノコに親しむ」	日帰り
80	10	2	社会福祉法人 新栄会 宿所提供施設ふじみ				27	27	体験学習	日帰り
81	10	1	東京大学農学部森林生物科学専修		1			1	研究のための調査	日帰り
82	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	8	30	15		53	全学体験ゼミナール「キノコに親しむ」	日帰り
83	10	1	第12山中湖ボランティアまつり実行委員会				650	650	第12回山中湖ボランティアまつりに伴う駐車場として	日帰り
84	10	2	目黒星美学園小学校	24			240	264	秋の自然教室の活動	日帰り
85	10	1	聖ヨゼフ学園小学校	6			82	88	小学2年生体験学習	日帰り
86	10	1	東京大学秩父演習林 サポーター				43	43	演習林サポーターとして各地の演習林を見学し森林生態系についての知識見聞を高める	日帰り
87	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	2	7	7		16	地域資源管理・環境保全実習	日帰り
88	11	1	富士常葉大学	1			4	5	植物観察	日帰り
89	11	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性センター 腐食研究グループ	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
90	11	1	ユーティワイ企画				3	3	撮影	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
91	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	6	30	15		51	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	日帰り
92	12	1	東大秩父演習林しおじの会員				1	1	見学(環境省モニタリングサイト1000調査のコアサイト)	日帰り
93	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	2	14			16	地域資源管理・環境保全実習	日帰り
94	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 研究部	8	52			60	総合科目「森をはかる」	日帰り
95	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 富士演習林	15			22	37	東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	日帰り
96	2	1	東京大学大学院人文社会系研究科 アジア文化研究専攻	3	4	5		12	測量実習	日帰り
97	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 研究部	42				42	学内技術職員研修「森林情報の収集、解析とその応用」	日帰り
98	3	1	村自然インストラクター				3	3	文学の森に対する森林作業	日帰り

利用者数合計 28,110

利用件数 98

演習林名: 樹芸研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	3			11	14	温室特別公開	日帰り
2	4	1	農学生命科学研究科・演習林・研究部	1		1		2	ミャンマーにおけるチーク遺伝資源の遺伝的多様性と構造	日帰り
3	4	1	浦和実業学園中学校	9			91	100	温室見学	日帰り
4	4	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			6		6	吉佐美地区のハマボウ繁殖調査	加納事務所休憩施設
5	5	1	東邦大学・理学部・地理生態学研究室	1			1	2	伊豆諸島とおよび周辺本土におけるヤマガラ移動分散調査	日帰り
6	5	1	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	6			15	21	公開講座「新緑の森を歩こう」	日帰り
7	5	1	東邦大学・理学部・地理生態学研究室	1			1	2	伊豆諸島とおよび周辺本土におけるヤマガラ移動分散調査	日帰り
8	5	2	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			2		2	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
9	5	2	山形大学・理学部・物質生命化学科	2	2			4	パラゴムノキの培養組織を利用したゴム合成機構の解析	加納事務所休憩施設
10	5	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			3		3	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
11	5	1	一般				2	2	温室見学	日帰り
12	5	1	一般				2	2	温室見学	日帰り
13	5	1	一般				3	3	温室見学	日帰り
14	5	1	一般				3	3	温室見学	日帰り
15	5	1	一般				2	2	温室見学	日帰り
16	6	1	農学生命科学研究科・森林科学専攻・造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
17	6	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			6		6	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
18	6	1	農学生命科学研究科・演習林・研究部	1		1		2	温室を利用したチークの発芽実験	日帰り
19	6	2	名古屋大学・大学院生命農学研究科・生物材料物理学研究分野	4	2	2		8	日本におけるユーカリ植林の可能性に関する基礎調査	スポーティア下賀茂
20	6	5	静岡県立下田高校南伊豆分校				5	5	インターンシップ(就業体験実習)	日帰り
21	6	1	農学生命科学研究科・演習林・研究部			1		1	温室を利用したチークの発芽実験	日帰り
22	7	1	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	5			16	21	公開講座「子ども樹木博士」	日帰り
23	7	2	名古屋大学・環境学研究科・附属地震火山防災研究センター	4				4	地震観測点保守のため	外部施設泊
24	7	4	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			4		4	吉佐美地区のハマボウ繁殖調査	加納事務所休憩施設
25	7	1	名古屋大学・大学院生命農学研究科・生物材料物理学研究分野	7				7	ユーカリ材用途評価の現地見学	日帰り
26	8	5	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			5		5	吉佐美地区のハマボウ繁殖調査	加納事務所休憩施設
27	8	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			3		3	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
28	8	1	農学生命科学研究科・演習林・研究部	1			1	2	萌芽構造に関する種特性の解明	日帰り
29	8	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			3		3	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	外部施設泊
30	8	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			3		3	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
31	8	5	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室			10		10	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
32	8	1	一般				1	1	温室見学	日帰り
33	8	1	独立行政法人森林総合研究所	3				3	広葉樹の遺伝的多様性評価法の開発	日帰り
34	8	1	独立行政法人森林総合研究所	1		1		2	海洋島における適応放散的種分化の機構を保全する一集団内遺伝構造仮説の検討	日帰り
35	8	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	8	116			124	全学体験ゼミナール「夏版 伊豆に学ぶ」 ¹	スポーティア下賀茂
36	8	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	4	88			92	国際開発農学専修森林実習	スポーティア下賀茂
37	8	1	農学生命科学研究科・森林科学専攻・造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
38	8	1	農学生命科学研究科・森林科学専攻・造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
39	8	1	東京大学・教養学部・前期課程2年		4			4	全学体験ゼミの振り返りを行う	日帰り
40	9	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所		140			140	全学体験ゼミナール「夏版 伊豆に学ぶ」 ²	スポーティア下賀茂

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
41	9	1	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻	2	10	1		13	フィールド科学専修森園管理学実習	日帰り
42	9	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所		96			96	全学体験ゼミナール「森に学ぶ」	スポーツア下賀茂
43	10	1	一般				1	1	温室見学	日帰り
44	10	3	農学生命科学研究科・生圏システム学専攻・森園管理学研究室	3	6	6		15	暖温帯下部二次林における森林利用に関連した生物多様性の挙動の把握	加納事務所休憩施設
45	10	1	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所					15	温室特別公開	日帰り
46	10	1	九州大学・農学部環境農学部門・森林環境科学講座・植物代謝制御学分野	1				1	樹木葉における光合成制御機構の解析	日帰り
47	10	1	一般				2	2	温室見学	日帰り
48	10	5	静岡県立下田高等学校南伊豆分校				5	5	インターンシップ（就業体験実習）	日帰り
49	11	1	南伊豆町立南上小学校	5			38	43	森林教室	日帰り
50	11	1	一般				2	2	温室見学	日帰り
51	11	2	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	54				54	平成22年度技術職員等試験研究・研修会議	スポーツア下賀茂
52	11	2	農学生命科学研究科・演習林・研究部	2		2		4	山地河道の調査	スポーツア下賀茂
53	11	1	農学生命科学研究科・技術基盤センター	2				2	技術職員業務運営・組織検討委員会附属施設訪問、交流	スポーツア下賀茂
54	11	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
55	11	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
56	11	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
57	12	1	農学生命科学研究科・技術基盤センター	2				2	技術職員業務運営・組織検討委員会附属施設訪問、交流	前日より利用(利用終了日)
58	12	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
59	12	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
60	12	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
61	12	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
62	12	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
63	12	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
64	12	1	農学生命科学研究科・森林科学専攻・造林学研究室	1				1	乾性土壌における撥水性発現の時空間的変動に関する研究	日帰り
65	12	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の研究	日帰り
66	12	1	ノースカロライナ大学	1				1	新規医薬の研究に用いる有機化合物を抽出単離するためのナギ種子採集	日帰り
67	1	1	一般				1	1	温室見学	日帰り
68	1	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の研究	日帰り
69	1	1	一般				1	1	温室見学	日帰り
70	1	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の研究	日帰り
71	1	1	一般				4	4	温室見学	日帰り
72	1	1	一般				1	1	水生昆虫（トンボ幼虫）の研究	日帰り
73	1	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
74	1	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
75	1	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
76	1	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
77	1	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
78	1	1	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所				19	19	温室特別公開	日帰り
79	2	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
80	2	1	一般				3	3	温室見学	日帰り
81	2	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
82	2	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所		96			96	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」1	スポーツア下賀茂
83	2	1	一般				9	9	温室見学	日帰り
84	2	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	4	108			112	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」2	スポーツア下賀茂
85	3	2	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所	20			12	32	特別ガイド「香りを楽しもう」	スポーツア下賀茂
86	3	4	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所		68			68	全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶ」	スポーツア下賀茂
87	3	2	農学生命科学研究科・演習林・樹芸研究所		6			6	ニホンジカ生息数調査	加納事務所休憩施設
88	3	1	一般				1	1	温室見学	日帰り
89	3	1	私立稲生沢保育園				43	43	温室見学	日帰り

利用者数合計 1,447

利用件数 89

演習林名: 田無試験地

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
1	4	6	(財)石油産業活性化センター自動車燃料研究部	6				6	生物起源揮発性有機化合物放出量測定(スギのみ)	日帰り	
2	4	1	生物材料研究室			1		1	樹木形成層セルロースの分析	日帰り	
3	4	4	生物多様性科学研究室				4	4	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り	
4	4	1	生物・環境工学専攻 環境地水学研究室	1				1	土壌CO2濃度の経時変化モニタリング	日帰り	
5	4	2	生物環境情報工学研究室	2				2	オゾン影響評価のための気孔コンダクタンスモデリング	日帰り	
6	4	1	田無試験地	2			11	13	西東京市保谷駅前公民館 地域を歩く講座 「身近な樹木に親しもう」	日帰り	
7	4	3	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			9		9	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り	
8	4	1	造林学研究室	1				1	樹木の光屈性	日帰り	
9	4	3	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	3				3	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り	
10	4	3	演習林研究部	6				6	西東京キャンパス自然環境調査・昆虫調査	日帰り	
11	4	2	造林学研究室	6	36	2		44	造林学実験	日帰り	
12	4	1	白梅学園短期大学保育科	1	20			21	関東近郊の森林における生物の観察(授業科目: 保育内容 環境)	日帰り	
13	4	5	アジア生物資源環境研究センター					5	菌根菌と共生する樹木の重金属耐性	日帰り	
14	4	1	ホトトギスの会					15	15	自然観察会	日帰り
15	4	1	小平市シルバー人材センター(シルバーガイド)					30	30	早春の自然観察(ハンカチの木他)	日帰り
16	4	3	いであ(株)					9	9	オオタカ調査	日帰り
17	4	4	東大農場・演習林の存続を願う会					97	97	動物・植物・定例観察会	日帰り
18	4	3	西東京市立西原保育園	12				72	84	散策	日帰り
19	4	1	一般見学2010/04月 休日公開					41	41	休日公開/一般見学	日帰り
20	4	1	一般見学2010/04月					406	406	一般見学	日帰り
21	5	3	生物材料研究室	1		3		4	4	樹木形成層セルロースの分析	日帰り
22	5	2	生物多様性科学研究室					2	2	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
23	5	1	生物・環境工学専攻 環境地水学研究室	1		1		2	2	土壌CO2濃度の経時変化モニタリング	日帰り
24	5	3	生物環境情報工学研究室	3		1		4	4	オゾン影響評価のための気孔コンダクタンスモデリング	日帰り
25	5	2	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2		6		8	8	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
26	5	1	造林学研究室	1		1		2	2	樹木の光屈性	日帰り
27	5	4	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		11	28		39	39	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
28	5	1	森林経理学研究室					1	1	樹冠上部切除処理に伴う立木の成長変化の解析	日帰り
29	5	2	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	2				2	2	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
30	5	2	演習林研究部	4				4	4	西東京キャンパス自然環境調査・昆虫調査	日帰り
31	5	2	演習林研究部	2				2	2	演習林基盤データ調査(地表は徘徊性甲虫類)	日帰り
32	5	1	白梅学園短期大学保育科	1	20			21	21	関東近郊の森林における生物の観察(授業科目: 保育内容 環境)	日帰り
33	5	2	演習林研究部			4		4	4	樹木個体群の局所適応とその適応形質に関する研究	日帰り
34	5	1	生態調和農学機構	1				1	1	西東京キャンパス自然環境調査(植物)	日帰り
35	5	1	演習林研究部	1				1	1	森林生態圏管理学講義のための枝採取	日帰り
36	5	2	田無試験地	8	10			18	18	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成」	日帰り
37	5	6	アジア生物資源環境研究センター				6	6	6	中国鈇山磨地におけるマツと共生する菌根菌群集	日帰り
38	5	1	森林動物学研究室	3	14	1		18	18	森林動物学実験	日帰り
39	5	1	生物多様性科学研究室			1		1	1	水草の密度・種類がアメリカザリガニの水棲動物への採餌効率に与える影響	日帰り
40	5	2	森林経理学研究室		10			10	10	苗木の分譲	日帰り
41	5	1	楽しく歩く若葉の会					30	30	散策	日帰り
42	5	1	エコトレッキングクラブ					40	40	森林保護啓蒙活動のため	日帰り
43	5	1	元気で歩こう会					38	38	見学	日帰り
44	5	1	田無第三中学校					6	6	見学	日帰り
45	5	1	小学館サライ編集部					6	6	「サライ」取材	日帰り
46	5	1	田無保育園	4				45	49	散策	日帰り
47	5	1	いであ(株)					1	1	オオタカ調査	日帰り
48	5	1	一般見学2010/05月 休日公開					91	91	休日公開/一般見学	日帰り
49	5	1	一般見学2010/05月					335	335	一般見学	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
50	5	2	東大農場・演習林の存続を願う会				114	114	動物・植物・定例観察会	日帰り
51	6	1	生物材料研究室			1		1	樹木形成層セルロースの分析	日帰り
52	6	1	生物多様性科学研究室				1	1	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
53	6	4	生物環境情報工学研究室	4		1		5	オゾン影響評価のための気孔コンダクタンスモデリング	日帰り
54	6	2	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2		6		8	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
55	6	2	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			2		2	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
56	6	4	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		12	40		52	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
57	6	5	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	5				5	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
58	6	1	田無試験地	4	5			9	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成」	日帰り
59	6	1	田無試験地	6	5		68	79	第16回「子ども樹木博士」認定会	日帰り
60	6	19	生物多様性科学研究室	10		34		44	水草の密度・種類がアメリカザリガニの水棲動物への採餌効率に与える影響	日帰り
61	6	2	西東京市民				2	2	二酸化窒素測定	日帰り
62	6	3	東京大学教育学部附属中等教育学校	4			20	24	総合学習	日帰り
63	6	3	生圏システム学専攻附属演習林			3		3	マツ材線虫病抵抗性に関する研究	日帰り
64	6	1	アジア生物資源環境研究センター				1	1	トガサワラ林分における外生菌根菌の埋土胞子の探索	日帰り
65	6	1	武蔵野美術大学	1				1	コミュニケーション研究のテーマとして、田無試験地を紹介する。	日帰り
66	6	1	演習林研究部	1				1	東京大学演習林基盤データ整備委員会 鳥類調査	日帰り
67	6	1	ホトトギスの会				15	15	自然観察会	日帰り
68	6	1	東久留米市立まえさわ保育園	7			40	47	自然見学	日帰り
69	6	1	柳橋保育園	10			20	30	自然観察	日帰り
70	6	1	フタバ会ウォーキングサークル				24	24	自然観察	日帰り
71	6	3	いであ(株)				9	9	オオタカ調査	日帰り
72	6	1	緑を守り、活かす、まちづくり市民の会				10	10	田無試験地の素晴らしさを知る	日帰り
73	6	3	東大農場・演習林の存続を願う会				150	150	動物・植物・定例観察会	日帰り
74	6	1	イカリ消毒(株)				1	1	東京都平成22年度カラスねぐら繁殖抑制事業	日帰り
75	6	1	川崎市民アカデミー				70	70	田無試験地の自然を「みどり学」受講の市民に体験してもらうため	日帰り
76	6	1	一般見学2010/06月休日公開				4	4	休日公開/一般見学	日帰り
77	6	1	一般見学2010/06月				211	211	一般見学	日帰り
78	7	1	生物材料研究室	1		1		2	樹木形成層セルロースの分析	日帰り
79	7	5	生物多様性科学研究室				5	5	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
80	7	4	生物環境情報工学研究室	4				4	オゾン影響評価のための気孔コンダクタンスモデリング	日帰り
81	7	2	田無試験地	4			22	26	西東京市保谷駅前公民館 地域を歩く講座 「身近な樹木に親しもう」	日帰り
82	7	3	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	3		9		12	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
83	7	1	造林学研究室	1		1		2	樹木の光屈性	日帰り
84	7	2	造林学研究室	2				2	生育状態とスギ針葉の葉肉拡散抵抗に関する研究	日帰り
85	7	1	森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝播・繁殖機構の解明	日帰り
86	7	5	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	4		9		13	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
87	7	5	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		15	50		65	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
88	7	2	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	2				2	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
89	7	1	演習林研究部	2				2	西東京キャンパス自然環境調査・昆虫調査	日帰り
90	7	2	演習林研究部	2				2	演習林基盤データ調査(地表は徘徊性甲虫類)	日帰り
91	7	1	総合文化研究科広域システム科学系伊藤元己研究室	1			1	2	オサムシ科昆虫サンプリング	日帰り
92	7	1	造林学研究室	3	18	1		22	造林学実験	日帰り
93	7	5	生物多様性科学研究室	5		10		15	水草の密度・種類がアメリカザリガニの水棲動物への採餌効率に与える影響	日帰り
94	7	2	東京大学教育学部附属中等教育学校	4			40	44	総合学習	日帰り
95	7	1	秩父演習林	1				1	カシノナガキクイムシの集合フェロモンに関する研究	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
96	7	1	森林動物学研究室	1				1	マツ材線虫病とその媒介昆虫に関する研究	日帰り
97	7	1	田無試験地	14		4		18	田無試験地利用者交流会	日帰り
98	7	2	木材化学研究室	4	2	4	3	13	植物細胞壁構成成分の土壌中における変質機構	日帰り
99	7	2	造林学研究室			2		2	夜間の葉面への水滴付着がスギ高齢木の水分生理状態に与える影響	日帰り
100	7	1	木材化学研究室			1		1	樹木の葉のリグニン定量	日帰り
101	7	1	演習林研究部	1				1	東京大学演習林基盤データ整備委員会 鳥類調査	日帰り
102	7	2	東久留米市立南中学校				10	10	中学2年生の職場体験	日帰り
103	7	2	森を守り活かす、まちづくり市民の会				30	30	東大農場、演習林の素晴らしさを伝える	日帰り
104	7	1	谷戸幼稚園				35	35	自然観察会	日帰り
105	7	1	いであ(株)				1	1	オオタカ調査	日帰り
106	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
107	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
108	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
109	7	1	一般見学2010/07月				117	117	一般見学	日帰り
110	7	1	東大農場・演習林の存続を願う会				11	11	動物・植物・定例観察会	日帰り
111	8	3	生物多様性科学研究室				3	3	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
112	8	4	生物環境情報工学研究室	4				4	オゾン影響評価のための気孔コンダクタンスモデリング	日帰り
113	8	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		3		4	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
114	8	3	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	3		6		9	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
115	8	4	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		12	40		52	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
116	8	3	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	3				3	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
117	8	1	Wonder Art Production	1			39	40	森のアート海のゲイジュツPart10「Whisper s of Earth」～小さきものの大きなメッセージ	日帰り
118	8	5	森林動物学研究室	5		13		18	害生物の侵入リスクに関する研究	日帰り
119	8	3	森林動物学研究室	3		8		11	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの雑種個体群に関する研究	日帰り
120	8	1	森林動物学研究室	1		3		4	マツ材線虫病とその媒介昆虫に関する研究	日帰り
121	8	1	森林動物学研究室	1		3		4	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの種間競争に及ぼす繁殖干渉の影響	日帰り
122	8	14	造林学研究室	14		14	12	40	夜間の葉面への水滴付着がスギ高齢木の水分生理状態に与える影響	日帰り
123	8	8	緑地創成学研究室			8		8	農地周辺のランドスケープが地表性甲虫に与える影響	日帰り
124	8	1	Wonder Art Production	1			3	4	森のアート、海のゲイジュツPart 10「Whisper of Earth」下見・打合せ	日帰り
125	8	1	多摩六都科学館組合				50	50	自然観察会	日帰り
126	8	1	エコプラザ西東京				25	25	「エコプラザ西東京」主催事業「にょきにょきワークショップ」	日帰り
127	8	1	いであ(株)				1	1	オオタカ調査	日帰り
128	8	1	東村山市立第四中学校	3			12	15	科学部夏休みのフィールドワークとしての見学のため	日帰り
129	8	1	アジア生物資源環境研究センター	1				1	トガサワラ林分における外生菌根菌の埋土胞子の探索	日帰り
130	8	1	アジア生物資源環境研究センター	1				1	トガサワラ林分における外生菌根菌の埋土胞子の探索	日帰り
131	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
132	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
133	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
134	8	1	多摩六都科学館組合				50	50	小学生とその保護者向けの自然観察会の実施	日帰り
135	8	1	エコプラザ西東京 にょきにょきワークショップ				45	45	「エコプラザ西東京」主催事業「にょきにょきワークショップ」	日帰り
136	8	1	いであ株式会社				1	1	オオタカ調査	日帰り
137	8	1	東村山市立第四中学校	3			11	14	科学部夏休みのフィールドワークとしての見学のため	日帰り
138	8	1	個人				23	23	東大演習林の素晴らしさを伝える	日帰り
139	8	1	個人				15	15	東大演習林の素晴らしさを伝える	日帰り
140	8	1	田無試験地	5			19	24	夏の森林教室	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
141	8	1	一般見学2010/08月/休日公開				7	7	一般見学	日帰り
142	8	1	一般見学2010/08月				232	232	一般見学	日帰り
143	9	4	生物多様性科学研究室				4	4	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
144	9	1	生物環境情報工学研究室	1				1	オゾン影響評価のための気孔コンダクタンスモデリング	日帰り
145	9	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		3		4	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
146	9	3	造林学研究室	3		3		6	生育状態とスギ針葉の葉肉拡散抵抗に関する研究	日帰り
147	9	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
148	9	3	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		9	30		39	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
149	9	2	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	2				2	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
150	9	2	演習林研究部	2				2	演習林基盤データ調査（地表は徘徊性甲虫類）	日帰り
151	9	1	森林動物学研究室	3	14	1		18	森林動物学実験	日帰り
152	9	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	2			20	22	総合学習	日帰り
153	9	1	森林動物学研究室	1		3		4	害生物の侵入リスクに関する研究	日帰り
154	9	2	森林動物学研究室	2		6		8	マツ材線虫病とその媒介昆虫に関する研究	日帰り
155	9	7	緑地創成学研究室			7		7	農地周辺のランドスケープが地表性甲虫に与える影響	日帰り
156	9	1	アジア生物資源環境研究センター			1		1	中国鉱山廃地におけるマツと共生する菌根菌群集	日帰り
157	9	2	秩父演習林			4		4	ロシアにおけるナラ枯れの原因の解明	日帰り
158	9	1	生態調和農学機構	1	24			25	フィールド農学実習	日帰り
159	9	2	個人				16	16	東大演習林の素晴らしさを伝える	日帰り
160	9	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
161	9	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
162	9	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
163	9	1	西東京市立田無保育園	4			40	44	散策	日帰り
164	9	1	一般見学2010/09月				83	83	一般見学	日帰り
165	10	2	生物多様性科学研究室			1	2	3	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
166	10	1	造林学研究室	1		1		2	生育状態とスギ針葉の葉肉拡散抵抗に関する研究	日帰り
167	10	2	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2		4		6	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
168	10	5	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		15	50		65	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
169	10	3	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	3				3	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
170	10	4	生物多様性科学研究室	4		8		12	水草の密度・種類がアメリカザリガニの水棲動物への採餌効率に与える影響	日帰り
171	10	3	東京大学教育学部附属中等教育学校	6			60	66	総合学習	日帰り
172	10	2	森林動物学研究室	2		4		6	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの雑種個体群に関する研究	日帰り
173	10	1	森林動物学研究室	1		3		4	マツ材線虫病とその媒介昆虫に関する研究	日帰り
174	10	3	森林動物学研究室	3		9		12	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの種間競争に及ぼす繁殖干渉の影響	日帰り
175	10	4	緑地創成学研究室			4		4	農地周辺のランドスケープが地表性甲虫に与える影響	日帰り
176	10	2	個人				16	16	東大演習林の素晴らしさを伝える	日帰り
177	10	1	俳句結社 花暦				15	15	俳句吟行会の集い	日帰り
178	10	1	ホトトギスの会				15	15	自然観察会（吟行）	日帰り
179	10	1	西東京市立住吉小学校	4			104	108	生活科見学（秋を探そう）	日帰り
180	10	1	東京大学フィールドボランティニア				10	10	試験地内の建物の見学（庁舎他）	日帰り
181	10	1	サフラン愛児園	3			31	34	園外保育 自然観察	日帰り
182	10	1	ときわクラブ歩こう会				12	12	緑豊かな園内を歩き、健康増進を図る	日帰り
183	10	1	西東京市福祉部高齢者支援課				60	60	高齢者向けウォーキングイベント実施のため	日帰り
184	10	2	富士演習林	10	30			40	全体体験ゼミナール「きのこに親しむ」	日帰り
185	10	1	立正大学法学部	4			1	5	田無試験地における環境教育研究に関する打合せ	日帰り
186	10	1	社団法人日本ネイチャーゲーム協会				5	5	東京大学附属中等教育学校総合学習「Out fitters Training」の指導協力のための下見	日帰り
187	10	1	いであ株式会社				2	2	オオタカ調査	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
188	10	2	東久留米第五小学校	10			101	111	自然に親しみ季節の移り変わりを感じる。落ち葉や木の実を採集する。	日帰り
189	10	1	多摩あおば病院				10	10	散策	日帰り
190	10	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
191	10	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
192	10	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
193	10	1	一般見学2010/10月				283	283	一般見学	日帰り
194	10	2	西東京市立西原保育園	8			106	114	散策	日帰り
195	10	1	西東京市立田無保育園一時保育クラス	2			5	7	散策	日帰り
196	10	1	西東京市立けやき保育園	4			34	38	散策	日帰り
197	11	6	生物多様性科学研究室			1	6	7	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
198	11	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		3		4	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
199	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				9	9	環境省実施の(事務委託:日本自然保護協会)の「モニタリング1000里地調査」	日帰り
200	11	5	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	5		10		15	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
201	11	5	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		15	40		55	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
202	11	1	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	1				1	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り
203	11	4	生物多様性科学研究室			4		4	水草の密度・種類がアメリカザリガニの水棲動物への採餌効率に与える影響	日帰り
204	11	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	2			20	22	総合学習	日帰り
205	11	1	生圏システム学専攻附属演習林			1		1	マツ材線虫病抵抗性に関する研究	日帰り
206	11	1	森林動物学研究室	1		3		4	マツ材線虫病とその媒介昆虫に関する研究	日帰り
207	11	1	多摩らいふ倶楽部				30	30	自然観察	日帰り
208	11	1	自由学園初等部	6			40	46	生活科の授業として(東大演習林の木や草と仲良くして秋の1日を満喫する)	日帰り
209	11	2	白梅学園短期大学保育科	2	48			50	授業:保育内容 環境 研修名:東京近郊の樹木および草本の観察と幼児教育への適応	日帰り
210	11	4	新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室			4		4	マツ材線虫病における通水阻害進展様式と線虫分布の解明	日帰り
211	11	3	アジア生物資源環境研究センター共生機能開発研究室				3	3	三者培養系を用いた菌根共生ヘルパーバクテリアの探索	日帰り
212	11	1	田無試験地	7	4		76	87	第17回 「子ども樹木博士」認定会	日帰り
213	11	1	白井学園ひなぎく幼稚園	6			55	61	散策	日帰り
214	11	1	ホトトギスの会				12	12	自然観察会	日帰り
215	11	1	練馬さくら歩楽の会				40	40	見学	日帰り
216	11	1	西東京市立中原小学校つくし学級	9			34	43	散策	日帰り
217	11	2	東京大学教育学部附属中等教育学校				106	106	課題別学習の授業「ツリークライミングとネイチャーゲーム」	日帰り
218	11	1	緑を守り、活かすまちづくり市民の会				6	6	東大農場・演習林の素晴らしさを知る	日帰り
219	11	3	MISUMIフラワースラジオ				54	54	自然の素材でオブジェ制作	日帰り
220	11	1	新ハイキング井の頭支部				22	22	散策	日帰り
221	11	1	自由学園幼児生活団幼稚園	5			29	34	遠足	日帰り
222	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
223	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
224	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
225	11	1	東大農場・演習林の存続を願う会				11	11	動物・植物・定例観察会下見	日帰り
226	11	2	西東京市立田無保育園	8			40	48	散策	日帰り
227	11	1	西東京市立けやき保育園	3			39	42	散策	日帰り
228	11	1	西東京市立西原保育園	7			38	45	散策	日帰り
229	11	1	一般見学2010/11月				379	379	一般見学	日帰り
230	11	2	一般見学2010/11月/休日公開				172	172	一般見学	日帰り
231	1	4	生物多様性科学研究室				4	4	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
232	12	2	田無試験地	10			46	56	西東京市保谷駅前公民館 地域を歩く講座 「身近な樹木に親しもう」	日帰り
233	12	2	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2		6		8	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
234	12	3	日本大学大学院生物資源科学研究科造林・風致学研究室		6	20		26	ニワウルシの根萌芽特性について	日帰り
235	12	1	名古屋大学大学院農学研究科森林保護学研究分野	1				1	日本列島における森林昆虫の個体群構造	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
236	12	2	東京大学教育学部附属中等教育学校	2			40	42	総合学習	日帰り
237	12	4	生圏システム学専攻附属演習林			4		4	マツ材線虫病抵抗性に関する研究	日帰り
238	12	2	森林動物学研究室	2		2		4	マツ材線虫病とその媒介昆虫に関する研究	日帰り
239	12	2	森林動物学研究室	2		2		4	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの種間競争に及ぼす繁殖干渉の影響	日帰り
240	12	7	新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室			7		7	マツ材線虫病における通水阻害進展様式と線虫分布の解明	日帰り
241	12	2	個人				2	2	二酸化窒素測定	日帰り
242	12	1	秩父演習林	3		1		4	ロシアにおけるナラ枯れの原因の解明	日帰り
243	12	1	(株)環境プロデュース				1	1	東京都環境局委託平成22年度希少猛禽類生息状況調査	日帰り
244	12	1	緑を守り、活かすまちづくり市民の会				6	6	東大農場・演習林の素晴らしさを知る	日帰り
245	12	1	アジア生物資源環境研究センター			1		1	重金属ストレスに対する菌根菌の応答・適応機構の解明	日帰り
246	12	1	所沢グリーンヒル自治会「里山に親しむ会」				18	18	里山の自然観察	日帰り
247	12	1	個人				1	1	サイカチの木の見学	日帰り
248	12	2	個人				4	4	吟詠会の発声練習	日帰り
249	12	1	東大農場・演習林の存続を願う会				13	13	動物・植物・定例観察会	日帰り
250	12	1	東大農場・演習林の存続を願う会				14	14	動物・植物・定例観察会下見	日帰り
251	12	1	東大農場・演習林の存続を願う会				43	43	動物・植物・定例観察会	日帰り
252	12	1	東大農場・演習林の存続を願う会				13	13	動物・植物・定例観察会	日帰り
253	12	1	西東京市立田無保育園	3			20	23	散策	日帰り
254	12	1	西東京市立けやき保育園	2			11	13	散策	日帰り
255	12	1	西東京市立西原保育園	3			10	13	散策	日帰り
256	12	1	一般見学2010/12月				204	204	一般見学	日帰り
257	1	3	生物多様性科学研究室				3	3	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
258	1	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		3		4	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
259	1	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	1			20	21	総合学習	日帰り
260	1	2	生圏システム学専攻附属演習林			2		2	マツ材線虫病抵抗性に関する研究	日帰り
261	1	7	新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室			7		7	マツ材線虫病における通水阻害進展様式と線虫分布の解明	日帰り
262	1	1	緑を守り、活かすまちづくり市民の会				6	6	東大農場・演習林の素晴らしさを知る	日帰り
263	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
264	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
265	1	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	動物・植物・定例観察会	日帰り
266	1	1	株式会社マジックデスク				3	3	東大農学部広報誌「弥生」52号 表紙撮影のため	日帰り
267	1	1	西東京市立けやき保育園	2			9	11	散策	日帰り
268	1	1	一般見学2011/1月				167	167	一般見学	日帰り
269	2	2	生物多様性科学研究室				2	2	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
270	2	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		4		5	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
271	2	6	生圏システム学専攻附属演習林			6		6	マツ材線虫病抵抗性に関する研究	日帰り
272	2	1	森林動物学研究室	1		3		4	害生物の侵入リスクに関する研究	日帰り
273	2	1	森林動物学研究室	1		2		3	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの雑種個体群に関する研究	日帰り
274	2	1	緑を守り、活かすまちづくり市民の会				6	6	東大農場・演習林の素晴らしさを知る	日帰り
275	2	1	山野草の会「道草」				20	20	樹木植物の観察	日帰り
276	2	1	落合第一地区協議会				25	25	自然観察及び勉強材料	日帰り
277	2	1	いであ(株)				1	1	オオタカ調査	日帰り
278	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
279	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				50	50	動物・植物・定例観察会	日帰り
280	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				15	15	動物・植物・定例観察会	日帰り
281	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				12	12	動物・植物・定例観察会	日帰り
282	2	3	西東京市立西原保育園	6			60	66	散策	日帰り
283	2	1	西東京市立みどり保育園	5			18	23	散策	日帰り
284	2	1	一般見学2011/2月				195	195	一般見学	日帰り

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
285	2	1	森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝搬・繁殖様式の分子生態学的解明	日帰り
286	3	3	生物多様性科学研究室				3	3	アカボシゴマダラ及びゴマダラチョウ幼虫ならびに成虫のセンサスと行動の観察	日帰り
287	3	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		7		8	森林生態系への窒素流入過程における樹体の果たす役割に関する研究	日帰り
288	3	1	森林植物学研究室	1		2		3	樹木病原菌の伝播・繁殖機構の解明	日帰り
289	3	1	森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		8		9	田無試験地における乾性沈着量の定量化に関する研究	日帰り
290	3	1	生圏システム学専攻附属演習林			1		1	マツ材線虫病抵抗性に関する研究	日帰り
291	3	2	演習林研究部	22				22	基盤データ整備委員会、生物、鳥類担当者の打合せ	日帰り
292	3	1	(株)環境プロデュース				1	1	東京都環境局委託平成22年度希少猛禽類生息状況調査	日帰り
293	3	1	樹芸研究所	1				1	マツノザイセンチュウに対する抵抗性マツの抵抗性発現機構の解明	日帰り
294	3	1	国分寺市立恋ヶ窪公民館				30	30	環境問題学習	日帰り
295	3	2	いであ(株)				2	2	オオタカ調査	日帰り
296	3	1	森林植物学研究室	2	1			3	木材腐朽菌類の樹体内における空間分布の解明	日帰り
297	3	1	国分寺市立恋ヶ窪公民館				30	30	環境問題学習	日帰り
298	3	2	いであ株式会社				2	2	オオタカモニタリング調査	日帰り
299	3	1	東京大学教育学部附属中等教育学校	1				1	葉脈標本づくり	日帰り
300	3	1	一般見学2011/3月				105	105	一般見学	日帰り
301	3	1	西東京市立西原保育園	3			8	11	散策	日帰り
302	3	1	東大農場・演習林の存続を願う会				11	11	動物・植物・定例観察会	日帰り
303	3	1	東大農場・演習林の存続を願う会				9	9	動物・植物・定例観察会	日帰り

利用者数合計 8,346

利用件数 303

■ 研修 ■

技術職員

研 修 名	開 催 機 関	開催月	参加人数
新規採用職員研修	東京大学	4	1
衛生管理者取得講習会	東京大学	6	4
平成22年度北海道東北地区大学演習林等技術職員研修	東京大学	6	5
第13回関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修（東大千葉演習林）	東京大学	6～7	7
北海道地区中堅係員研修	人事院北海道	6～7	1
九州地区農学部附属演習林等技術職員研修	九州大学	7	1
平成22年度機器等（レーザー，遠心機，オートクレーブ，ドラフトチャンバー）取扱い及び点検講習会	東京大学	7	1
平成22年度中国四国近畿地区大学附属演習林技術職員研修（京都大学芦生演習林）	京都大学	10	3
平成22年度東海地区農学部附属演習林等技術職員研修	名古屋大学	10	3
平成22年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学演習林	11	21
東京大学職員海外研修（短期）インドネシア	東京大学	12	1
北海道地区メンター養成研修	人事院北海道	12	1
平成22年度東京大学教室系技術職員研修「森林情報の収集、解析とその応用」	東京大学	2	3
職場リーダーのためのリスクアセスメント研修会	中央労働災害防止協会	2	2
第3回農学生命科学研究科技術職員研修会	東京大学農学生命科学研究科	3	26
平成22年度東京大学情報セキュリティーセミナー	東京大学	3	1

事務職員

研 修 名	開 催 機 関 等	開 催 月	参 加 人 数
出張旅費システム操作説明会	東京大学	7	2
平成22年度東京大学係長級研修(初任者)	本部人材育成課	9	1
北海道地区女性セミナー「キャリアアッププラン」	人事院北海道	10	1
北海道地区セクシュアル・ハラスメント防止研修(指導者養成コース)	人事院北海道	1	1

■各種委員会報告■

運営委員会

演習林規則第5条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授（10名以内）と演習林統括技術長、研究科事務部長であり、演習林長が委員長を務める。今年度は2011年3月16日に開催予定であったが、東日本大震災の発生にともなう首都圏の電力事情ならびに交通事情の悪化により特に地方演習林に勤務する委員の出席が困難になったため延期された。最終的に2011年4月7日に開催され、「教育研究計画2011-2020」をはじめとする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行った。

演習林会議

演習林規則第6条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する機関である。議員は演習林長、演習林長補佐、演習林所属の教授、准教授、講師、演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者となる（今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された）。演習林長が議長を務める。原則として毎月1回（8月をのぞく）教授会開催日の前日に開催する。今年度は11回開催（2011年3月の演習林会議は東日本大震災の影響で延期となり4月7日に開催）した。

教育研究計画策定委員会

委員は、演習林長（委員長）、地方演習林長、統括技術長、研究部長からなる。今年度に合計5回開催され、2009年度に行われた次期試験研究計画策定委員会WGでの検討結果をもとに、全演で取り組む初めての10年計画である「教育研究計画2011-2020」の策定作業を行った。

技術主任会議

統括技術長と地方演習林技術主任により森林管理・技術職員組織等に関する諸課題を検討する。2010年度は7月12日に演習林長・研究部長も出席し行った。7月13日に事務主任相当職も出席し技術主任事務主任会議を行った。

事務主任会議

地方演習林事務主任相当職によって地方演習林における事務処理遂行上の問題点等について報告、意見交換を行う。原則として演習林長、研究部長、統括技術長も出席する、必要に応じて事務部の関係課長、係長も同席する。通常年1回、当初予算決定後に開催する。今年度は7月13日に事務主任・技術主任合同会議として開催した。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換、技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は11月11日から11月12日にかけて樹芸研究所と運動会下賀茂寮を会場に開催した。

演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授（7名）と編集委員長が指名する者になる。原則として2ヶ月おきの奇数月に開催し、今年度は2011年3月14日に開催予定であった第6回委員会が東日本大震災の影響で中止となったほかは予定通り5回開催した。なお、中止となった第6回委員会に代わってメール審議を行い編集業務に遅れが出ないよう取りはからった。

科学の森ニュース編集委員会

広報誌「科学の森ニュース」の編集に当たっている。電子メールでのやりとりを中心にしながら発行に合わせて編集委員会を開催している。2010年度は4回開催した。

ホームページ編集委員会

ホームページの編集を行っている。電子メールのやりとりを中心にしながら、ホームページの更新に合わせて開催している。2010年5月に演習林ホームページがリニューアルされた。

安全衛生管理委員会／教育研究安全衛生マネジメントシステム

毎月開催される農学部の環境安全管理室会議に出席して、情報の収集にあたった。安全衛生に関わる各種研修、講習については、演習林外部の研修、講習へ職員が参加するとともに、演習林内部でも実施した（研修、講習会等については、安全衛生のページ、安全・防災のための講習会等の表、資格取得のための講習等の表を参照）。

教育研究安全衛生マネジメントシステムについては2007年度より研究部および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2010年度も継続して、各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる各種研修、講習を行った。

「東京大学の森」育成資金実施委員会

「東京大学の森」育成資金の運営にあたるため、2009年7月に演習林会議内に設置された。「東京大学の森」育成資金は、「科学の森里親制度」を引き継ぎ発展させるものとして、2009年度より発足した寄附制度である。2010年度は、11件（10名）の寄附があった。

広報情報室

広報情報室開設から4年目となる今年度は、昨年度までの活動を引き続き行うとともに月例の打ち合わせ会議で検討を進めながら以下のようなさまざまな活動を実行した。

1. 「科学の森ニュース」の編集・発行（50～53号）
2. 年報（2009年度活動報告）の編集・発行
3. 学生募集用パンフレット「科学の森で学ぼう」の編集・発行
4. 演習林出版局事業「マツの森をまもる」の発行および書籍の販売ならびに「演習100選」の編集
5. 演習林報告（123、124号）、演習林（49号）の編集・発行
6. 科学の森教育研究センターホームページの管理運営
7. 演習林ネットワーク関連業務、メールアドレス管理
8. 基盤データ整備実務
9. 利用者データの収集・管理システムの整備・運用

教育推進委員会

今年度も引き続き一昨年度にたてた6つの活動方針に基づき活動を行った。

1. 今年度も教育推進経費を設定し、演習林教員の教育活動に伴う旅費等の予算のバックアップを行った。
 2. 各種の専攻パンフレットの原稿作成や演習林の学生募集用パンフレット「科学の森で学ぼう」の作成に協力した。
 3. 「森林生態圏管理学」、「森林科学概論」の講義のとりまとめ役として、また演習林ゼミの企画運営役として活動を行った。
 4. 研究推進委員会と共同で教員総会を開催した。
- また、「教育研究計画2011-2020」の作成にあたり教育推進に委員会として取り組むべき内容について6つの活動方針を中心にまとめた。

研究推進委員会

演習林研究推進委員会は2007年度より演習林教員を中心とした研究活動を組織的にバックアップすると同時に、研究プロジェクトの組織的な獲得、演習林の蓄積してきたデータの研究成果としての公表の促進を図るために設置された。2010年度は以下の3点について重点的に活動を行った。

1. 新たなプロジェクト獲得のための戦略検討
2. 演習林に蓄積された気象データの解析
3. 演習林に蓄積された水文データの解析

演習林教員の科研費獲得を促進する目的で、研究推進委員会が調整することにより科研費申請書の教員間の相互査読を行った。H21年度から進めてきた地方演習林の気象データを一つの時系列データとして補正・接続する研究を進め、雑誌「演習林報告」への投稿準備を進めた。水文データ解析研究会を主宰し、おもに愛知演習林の長期水文データについて問題点の整理を行った。

森林病虫害委員会

森林病虫害委員会（旧森林病虫害WG）では、おもに、愛知演習林新居試験地の松くい虫対策と、犬山研究林および赤津研究林のナラ枯れ対策に対応した。松くい虫関係では、2010年度の枯損量は、40本、5.7m³と、前年の65本、13m³と比較しても減少し、被害量のピークであった2004年に比較すると材積では約60分の1にまで減少した。市町村交付金相当額により、県と共同による予防散布、マツ植栽地の整地と、作業道の整備を行った。また、国の「森林整備加速化・林業再生事業」により、「湖西市」が事業主体となって、新居試験地のマツ134本（吹寄下地区50本、ハマダ地区84本）に対し605本の樹幹注入剤を接種した。接種に先だって、11月に選木作業を行った。接種には業者と、樹木医の資格を持つ演習林の技術職員が共同で作業を行った。

2007年度に最初に発見されたナラ枯れは、被害が犬山研究林・赤津研究林・穴の宮試験地で拡大した。危険木が多数発生したため、愛知演習林と病虫害委員会で選木して、市町村交付金相当額により伐倒処理をした。記念樹1本がカシノナガキクイムシの穿孔を受けたが、穿孔初期に殺菌剤の樹幹注入処理を行い、枯死を免れた。

国際交流委員会

演習林国際交流委員会は、おもに、各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2010年度は、IUFRO世界大会のサテライトミーティングとして、アジア大学演習林コンソーシアムの非公式会合を行った。東京大学、ソウル国立大学、国立台湾大学から、教職員・学生が約50名参加して、懇親会が開催された。東京大学からの参加者は、（鎌田・山田・後藤・藤原・山本（新領域）・斎藤（新領域）・学生6名）であった。また、長期モニタリング研究の情報交換体制の立ち上げと共同研究立ち上げについて合意を得た。この合意に基づき、平成23年度 アジア・アフリカ学術基盤形成事業に応募したが、採択には至らなかった。

基盤データ整備委員会

研究フィールドとしての演習林の価値をよりいっそう高めることを目的に、さまざまな基礎的なデータの収集と提供を組織的に行うのが基盤データ整備委員会である。気象部門、生物部門、水文部門、固定試験地部門、GIS部門で構成されている。

気象観測部門

各地方演習林協力の下、演習林における気象観測を継続している。2010 年度も引き続き千葉 4ヶ所、北海道 2ヶ所、秩父 4ヶ所、愛知 3ヶ所、富士 1ヶ所、樹芸 2ヶ所、田無 1ヶ所、合計 17ヶ所で観測を行った。気象担当者会議は 2010 年 6 月 7 日に開催し、2011 年度から始まる新たな演習林教育研究計画に向けた観測体制や機器整備、これまでの観測データの整理についての方針を確認した。観測データは演習林ホームページで公開するとともに、2010 年のデータをとりまとめて「演習林」51 号に 2010 年気象年報として掲載する。

生物部門

演習林基盤データ整備委員会生物部は、木本植物、草本植物、鳥類、脊椎動物(鳥類を除く)、昆虫類、の 5 つの分野についてデータの収集にあたっている。基本的には、これまでの情報の蓄積が多く、また調査を実施しやすい木本植物、草本植物、鳥類の 3 分野について先行してデータの収集・整備を進めてきたが、2008 年度より昆虫類の調査が開始されている。脊椎動物については、本格的な調査実施に向けての予備情報の収集を進める方針で活動を行っている。2010 年度に行った主な活動とその成果は以下の通りである。



(1) 木本植物分野および草本植物分野

演習林内に生育する維管束植物(自生種・導入植栽種)をリストアップし、さく葉標本を3点以上作成することを目標に資料の収集にあたっている。2010年度の活動状況は以下の通りである。

演習林名	調査 日数	調査 人員	標本 種数	標本 点数	その他
千葉	15	104.5	297	958	確認リスト 817 種(木本 260・草本 458・シダ 99)、全体の 75%程度終了、調査人員に千葉県中央博物館<共同研究>48人含む、調査は4月(月1回)、5~12月(月2回)実施
北海道	2	3	65	121	標本は4種が未採取種、残りは全て過去年度に採取済み。通常業務中に30時間の踏査を行った。
秩父	5	12	147	271	
愛知	5	5	11	33	通常業務中に10時間程度の踏査を行った。標本の整理を5日間程度行った。
富士	5	4	97	231	I~III林班全域を秩父から応援を得て7月に1回調査を実施通常業務中に2日調査を行った。
樹研	3	3	32	91	花や実のないものも含む、未同定や過去採取したものも含む、別に通常業務中の標本採取が3日程ある
田無	2	7	20	52	
全演習林合計	37	138.5	669	1,757	2012年度「演習林」に植物目録を投稿するため準備中であり、愛知については確認を完了した。他の演習林についても2011年度中に終了する予定である。



(2) 鳥類分野

演習林でみられる鳥類のリストアップを目標に 2004 年度から調査を継続してきている。2010 年度の調査実施状況、確認種数は、以下の通りである(調査回数は、ラインセンサス、定点調査、任意調査等の合計)。各演習林の状況に対応した調査を継続していくことで、目録の充実をはかり5年おきの更新を行う予定である。また、調査が不十分な演習林においては、旅費を確保するなどし、組織的に調査体制を維持していきたい。本年度、調査結果をもとにした学会発表などの報告は行われなかった。

演習林名	調査回数	確認種数
千葉	41	39
北海道	12	57
秩父	14	65
愛知	51	34
富士	48	40
樹研	78	59
田無	5	16
全演習林合計	249	---



(3) 脊椎動物(鳥類を除く)分野

各演習林で過去の目撃記録や資料の洗い出し、新たな目撃情報の収集などを行い演習林内に生息している脊椎動物のリストアップを行っている。各演習林の取り組み状況および成果は以下の通りである。

演習林名	取り組み状況
千葉	<ul style="list-style-type: none">・通勤時や業務中に目撃した動物をチェック・職員による脊椎動物に絞った調査は実施せず
北海道	<ul style="list-style-type: none">・「目撃ノート」による職員から目撃情報の収集・自動撮影装置を用いた林道のモニタリング調査
秩父	<ul style="list-style-type: none">・職員・サポーターによる目撃情報記録・センサーカメラによる動物出現記録
愛知	<ul style="list-style-type: none">・目撃情報シートに目撃した動物をチェック
富士	<ul style="list-style-type: none">・職員による脊椎動物に絞った調査は実施せず
樹研	<ul style="list-style-type: none">・職員による目撃情報記録・シカ生息数調査・センサーカメラによる動物出現記録
田無	<ul style="list-style-type: none">・職員による脊椎動物に絞った調査は実施せず

(4) 昆虫類分野

1. 全演共通の調査を実施

本年度は、共通したプロトコルによる定期・定量的採集法によるデータの蓄積(ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査)について、1回目(3年間)の区切りの年であった。本年度は田無試験地でのサンプル回収に問題が生じてしまった、他の演習林では順調に作業が進んでいる。

各演ともに長期生態系プロットを調査地とし、5～11月までに4～5回の調査を実施した。ピットホールトラップの設置場所は、固定して1～2m間隔で最大40個をかけ、設置と回収の間隔は72時間以上を基本としている。

採集された昆虫類は、千葉演に集められ、外部協力者に同定作業を実施してもらっている。来年度(2011年度)も同じ条件での調査を進めつつ、この3年間のデータと調査地の環境データなどを集約して「演習林」へ報告する予定である。

2. 各演を利用した研究からの昆虫相のリスト化作業

各演を利用した研究から昆虫相のリスト化作業を進めている。いろいろな研究者から集まる情報を、分類してPDFなどの電子情報にして整理する作業を進めていく。2011年度内に各演共通で使用する様式を決定する予定である。

2010年のピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査状況

千葉： 1:5/2-28①、2:7/6-9①、3:8/24-27①、4:10/5-8①

北海道： 1:5/24-28①、2:6/22-25⑤、3:7/20-23⑨、4:8/19-23⑫、5:9/13-16⑤

秩父： 1:5/24-27①、2:6/28-7/1①、3:9/6-9①、4:10/12-15①

愛知： 1:5/25-28①、2:6/22-25①、3:9/14-17①、4:10/18-21①

富士： 1:6/7-10②、2:7/16-20②、3:8/26-30①、4:10/1-5①

樹芸： 1:5/21-25①、2:7/2-5①、3:8/17-20(0)、4:10/18-21①

田無： 1:、2:、3:、4:

※日付の後の○数字は、その回のタウの数。樹芸の3回目は捕獲数が0頭

水文観測部門

量水観測は多年にわたり観測を継続して初めて精度への信頼度が得られ、研究トピックの範囲も広くなるという性質がある。例えば、極めて長期に観測すれば植生遷移にともなう水収支の変動や降雨一流出系での応答関係の変化を追跡することが可能となる。また、突発的に派生する、山火事や生物害やマスウエイティングなどによる流域の生態系の激変などは、研究トピックとして重要なイベントであるといえる。また、東京大学の7つの地方演習林で植生・地質・気候の相違は、水収支や降雨一流出応答関係の比較研究の興味深い対象であり、短期間でも精度の高いデータが得られればこの比較研究はかなりの部分が達成可能である。

さて、広範な水文関連の観測項目のうち、量水観測データを基盤データとして整備することがこの部門の目的とするところである。愛知演習林の量水観測を例にして、観測データについて概要を説明したい。

愛知演習林では、大流域として、3流域、小流域として2流域(さらにその内部流域での水位観測を含む)で構成し、それぞれにデジタル記録とアナログ記録(バックアップ用)を収集している。水位は、ベルヌーイ式を基本に変形された土研公式を使用して流量に換算している。流量は、雨量と同様の単位である mm/day mm/5min などにまとめられ整理している。雨量は、気象部

門で整理されているCR10Xの雨量を欠測値の補充に充てている。量水観測とセットで概ね流域の出口(即ち量水堰堤近傍)にCR10Xとは別に雨量計を設置している。基本的なデータは、雨量・水位とも5分間隔データであり、公表は、日単位データである。量水観測の精度維持上の要点は、土砂の不定期な排出作業にある。また、精密機械である水位計の精度劣化などの問題があり、愛知演習林では、最短で1週間毎にポイントゲージで水位のチェックを実施している。

千葉・北海道・秩父・樹芸の各地方演習林にも試験流域を設定しており、地方演習林単位でデータの整備を行っている。特に、豪雨による引き起こされる土砂の流入の問題で欠測を余儀なくされ、その欠測期間が長期化する問題をいずれのサイトでも抱えているといえる。この問題への対応は各地方演習林への努力に期待せざるを得ず、負担を強いるケースが今後増えていくことになろう。

固定試験地部門

東京大学の7地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。固定試験地部門では、2009年度に入力依頼を行っていた各試験地の属性データのデータベース化を進めすべての演習林の固定試験地について属性データの入力を終えた。また、「教育研究計画2011-2020」の作成にあたり今後10年間の活動計画の概要を作成した。



GIS部門

演習林基盤データ整備委員会GIS部門は、本年度から第2期(2010-2012年度)の活動を開始した。前期の成果をさらに発展させるべく、①GIS操作技術の向上、②GISデータの整備、③GISデータの活用、の3つを第2期におけるGIS部門の活動方針とした。

活動方針①に関して、本年度は6月14~17日に愛知演習林教職員を対象としたGIS内部研修会を実施した(写真)。講師は中川雄治技術職員(北海道)、参加者は5名であった。1日目は森林測量に関する講義と実習を行い、レーザーコンパスと測量用ソフトウェアGeoSketchを使った閉合トラバース測量や立木位置図作成の方法を学んだ。2日目は、GIS関連ファイルの整理・保存方法とGISソフトウェア(ArcGIS)の基礎的操作方法について演習を行った。愛知演習林が整備してきたGISデータのファイル階層やレイヤ構造を整理したことで、GIS担当者以外でもデータ利用が容易となった。3日目は、GIS図面の作成および属性データのテーブル結合について演習を行った。愛知演習林の小班ポリゴンと各小班の属性情報が記録されたMS-Excelデータをテーブル結合することにより、小班別の立木本数や蓄積を検索できるようになった。4日目は、GISソフトウェアのハイパーリンク機能を使った造林台帳の表示方法、GISデータの検索・加工・印刷方法

について実習した。小班図と造林台帳とをリンクさせたことで、森林情報や造林地の施業履歴が小班図から検索できるようになった。本研修を通じて、GIS 初心者だった職員も小班図の色分けや簡単なデータ加工など、GIS ソフトウェアの基本的な操作ができるようになった。このほか、GIS 操作技術の向上のために GPS 測定の簡易マニュアル作成(千葉)やレーザーコンパス操作マニュアルの整備(北海道)、GIS・GPS 講習会の実施(樹芸)などの活動を行った。

活動方針②に関して、千葉では GIS による保護樹位置と台帳情報の一元管理を進めている。また、シカ生息数調査用の GIS 図面整備や保育間伐に伴うレーザーコンパス測量を行った。北海道では、第 12 期計画期間に施業を実施した箇所の GIS データ整備、第 13 期計画における林種区分の GIS データ作成、ALOS 衛星画像のパンシャープ化と GeoEye-1 衛星画像整備(一部地域)などを行った。秩父では、植栽樹種区分や試験地位置、象水文観測点の位置図作成、歩道図の修正、レーザーコンパスによるモニタリングサイト 1000 のプロット立木位置測定と立木位置図作成などを行った。愛知では GIS 内部研修会を通じた各種 GIS データの整理を行った。富士では小班界および試験地位置の GIS 図面を作成した。樹芸では、境界(標石)や小班界、林道の GPS 測量、GPS によるニホンジカ生息数調査ルートの記録と調査区画図の作成、オルソ空中写真と GPS データに基づく林小班界データの修正、岩樟園・山下林道路線データの修正と新規作業道の追加などを行った。田無では試験地境界座標の確認作業を行った。

活動方針③に関しては、教育研究計画策定にかかる面積・蓄積の算出と各種図面作成(千葉、北海道、富士)、森林施業計画(林種区分)における衛星画像・空中写真・地形解析(傾斜度)の応用(北海道)、ArcGIS Server と ArcSDE を利用した Web 地図閲覧システムの構築(北海道)、過去の測量成果と GPS を用いた境界標石の探索(愛知)、治山事業の要望書や保安林内作業許可申請書に添付する図面の作成(愛知)などを行った。



■安全衛生■

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施,あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

安全・防災のための講習会等

研 修 名	開 催 機 関 等	開 催 月	参 加 人 数
刈り払い機安全衛生教育	キャタピラー教習所 (株)東関東教習センター	11	1
千葉演習林交通安全講習	千葉演習林(鴨川警察署)	11	20
千葉演習林自衛消防訓練	千葉演習林(鴨川消防署)	11	21
林野火災予消防講習会	北海道演習林	4	40
一般救急講習会	富良野消防署	5	40
蜂対策講習会	富良野協会病院	9	31
環境安全講習会	農学部安全衛生管理室	10	43
林内作業安全講習会	北海道演習林	10	32
高圧ガス安全教育	北海道エア・ウォーター	11	10
交通安全講習会	富良野警察署	12	32
スノーモビル運転整備講習会	北海道演習林	2	3
雪崩事故防止講習会	NPO ひがし大雪自然ガイドセンター	3	4
移動式小型クレーン安全操作練習会	北海道演習林	3	12
交通安全講習会	秩父演習林・秩父警察署	8	14
平成22年度安全教育および救命救急講習会	秩父演習林・秩父消防署	11	8
安全衛生講習	愛知演習林	4	14
危険予知訓練(KYT)研修会	中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター	10	3
普通救命救急講習	愛知演習林	11	17
かかり木の安全な処理に関する講習会	愛知演習林	12	18
職場リーダーのためのリスクアセスメント研修	中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター	1	1

資格取得のための講習等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
農薬管理指導士認定研修	千葉県農林水産部	3	1
伐木等業務(大径木)安全衛生教育	林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部	9	2
刈払機取扱作業安全衛生教育	林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部	9	1
環境安全講習会	環境安全研究センター	10	1
甲種防火管理新規講習	富良野広域連合消防本部	11	1
危険物取扱者乙種4類	北海道	12	1
玉掛け技能講習	コマツ教習所	2	1
車両建設機械(整地等)運転技能講習	コマツ教習所	2	1
小型移動式クレーン運転講習	コマツ教習所	2	1
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	日本産業技能教習協会	8	1
車両系建設機械(整地等)技能講習	江南クレーン技能教習所	3	1
刈払機取扱作業教育	林業・木材製造業労働災害防止協会愛知県支部	11	2
自由研削砥石の取替え等の業務に係る特別教育	愛知労働基準協会	10	1
高所作業車特別教育	アイチ研修センター	9	2
第一種衛生管理者受験準備勉強会	愛知労働基準協会	12	1

災害統計

2010年度の災害は16件、ヒヤリハット(HH)は12件であった。休業災害は2件で、いずれも歩行中に転倒・滑落し、脚等を骨折し休業日数が暦日数で61日、48日であった。重大災害になる可能性が高い災害・HHが発生した。車がスリップし路肩縁石に衝突し運転者は顔面強打、駐車中の利用者の車に落石で車の破損、走行中にスペアタイヤが落下、国道横の伐倒木が通行車両の直前に飛来等があった。ハチ刺され災害が7件。車関連の災害3件、HH5件。歩行中の転倒・滑落等の災害4件、HH3件があった。

	教職員	学生	その他
重大及び休業災害(4日以上)	2件	0件	0件
休業災害(4日未満)	0件	0件	0件
不休災害	12件	1件	1件
災害合計	14件	1件	1件
ヒヤリハットなど	8件	1件	3件
そのうち設備災害	3件	1件	1件

山火事予防活動

演習林名	名	称	開催場所	日程	参加人数
北海道	巡視(異常乾燥警報の発令依頼、注意喚起)幟の設置と撤去		北海道演習林一円	2010.4.19~5.31	全職員
秩父	平成22年度第一回消火訓練		秩父演習林	2010.11.2	11
秩父	平成22年度第二回消火訓練(消防ポンプ更新による取扱講習)		秩父演習林	2011.1.26	16

■資料■

■人事異動■

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2010.4.1	勤務換	附属演習林愛知演習林助教	山本 清龍	附属演習林富士演習林助教
2010.4.1	勤務換	附属演習林富士演習林助教	藤原 章雄	附属演習林秩父演習林助教
2010.4.1	勤務換	附属演習林研究部助教	前原 忠	附属演習林田無試験地助教
2010.4.1	勤務換	附属演習林北海道演習林技術職員	算用子 麻未	附属演習林富士演習林技術職員
2010.4.1	勤務換	附属演習林秩父演習林技術専門職員	相川 美絵子	附属演習林研究部専門職員
2010.4.1	勤務換	附属演習林秩父演習林技術専門職員	五十嵐 勇治	附属演習林北海道演習林専門職員
2010.4.1	勤務換	附属演習林愛知演習林技術職員	才木 道雄	附属演習林千葉演習林技術職員
2010.4.1	勤務換	附属演習林富士演習林技術専門職員	西山 教雄	附属演習林秩父演習林専門職員
2010.4.1	兼務	附属生態調和農学機構講師	安村 直樹	附属演習林田無試験地講師
2010.4.1	兼務	附属生態調和農学機構助教	楠本 大	附属演習林田無試験地助教
2010.4.1	兼務	附属生態調和農学機構技術専門職員	鶴見 康幸	附属演習林田無試験地技術専門職員
2010.4.1	兼務	附属生態調和農学機構技術専門職員	栗田 直明	附属演習林田無試験地技術専門職員
2010.4.1	再雇用	附属演習林北海道演習林技術職員	廣川 俊英	附属演習林北海道演習林技術専門職員
2010.4.1	再雇用	附属演習林愛知演習林技術職員	渡部 賢	附属演習林愛知演習林技術専門職員
2010.4.1	再雇用	附属演習林愛知演習林技術職員	荒木田 きよみ	附属演習林愛知演習林技術専門職員
2010.4.1	採用	附属演習林北海道演習林技術職員	井上 崇	
2010.4.1	採用	附属演習林千葉演習林特任助教	久本 洋子	
2010.4.1	出向	独立行政法人財務・経営センター総務部経営支援課課長補佐	堀内 正	総務課北海道演習林主査
2010.4.1	昇任	総務課北海道演習林主査	大村 栄	総務課秩父演習林事務室係長
2010.4.1	昇任	総務課附属演習林秩父演習林事務室係長	草開 泰之	情報基盤センター研究支援係主任
2010.4.1	復帰	附属演習林研究部講師	浅野 友子	
2010.4.1	命	附属演習林北海道演習林長	芝野 博文	附属演習林愛知演習林長
2010.4.1	命	附属演習林愛知演習林長	蔵治 光一郎	
2010.4.1	命	附属演習林富士演習林長	後藤 晋	
2010.4.1	命	附属演習林田無試験地主任	安村 直樹	
2010.6.1	採用	附属演習林千葉演習林助教	久本 洋子	附属演習林千葉演習林特任助教
2010.10.1	採用	附属演習林秩父演習林特任助教	平尾 聡秀	
2010.12.1	昇任	附属演習林北海道演習林教授	芝野 博文	附属演習林北海道演習林准教授
2010.12.1	昇任	附属演習林愛知演習林准教授	蔵治 光一郎	附属演習林愛知演習林講師
2011.3.16	採用	附属演習林秩父演習林助教	平尾 聡秀	附属演習林秩父演習林特任助教
2011.3.16	昇任	附属演習林秩父演習林講師	鈴木 牧	附属演習林秩父演習林助教
2011.3.31	再雇用満了	総務課附属演習林樹芸研究所事務室事務補佐員	山本 親男	総務課附属演習林樹芸研究所事務室一般職員
2011.3.31	再雇用満了		浅見 新吉	総務課附属演習林秩父演習林事務室一般職員
2011.3.31	辞職	岩手大学農学部准教授	山本 清龍	附属演習林愛知演習林助教

■ 予算配分と収入 ■

予算配分

単位:千円

配 分	2009年度 310,349 57,500 (市町村交付金相当額)	2010年度 308,593 33,940 (市町村交付金相当額)
運 営 費	1,187 (その他) 369,036	15,177 (その他) 357,710
借 地 料	4,611	4,611
小 計	373,647	362,321

収入

林産物収入	132,164	102,051
損害賠償金	4,387 (支障木)	5,962 (支障木)
寄付金	14,008	12,224
小 計	150,557	120,237

演習林林産物収入細分表

区 分	立 木	素 材	そ の 他			合 計
			ヒサカキ	苗 木	残材等	
千葉演習林	545.730 m ³	44.940 m ³	kg	本	(広葉樹種子12.5kg)	1,588,700 円
	1,319,000 円	193,700 円	円	円	76,000 円	
北海道演習林	21,081.730 m ³	1,190.549 m ³		本		100,149,062 円
	71,805,760 円	28,343,302 円		円	円	
愛知演習林	271.050 m ³	m ³				313,000 円
	313,000 円	円			円	
合 計	21,898.51 m ³	1,235.489 m ³	0 kg	0 本		102,050,762 円
	73,437,760 円	28,537,002 円	0 円	0 円	76,000 円	

■ 組織図 ■

本部

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
演習林長 教授 白石 則彦 研究部 部長 教授 石橋整司(兼) 統括技術長 技術専門職員 芝野 伸策	教授 山本 博一(兼) 准教授 後藤 晋 准教授 鴨田 重裕(兼) 講師 浅野 友子 助教 前原 忠 技術主任 技術専門職員 齋藤 俊浩 技術職員 近澤 静恵	学術支援職員 小林 ひとみ 藤原 菜生子 2010.9.27から
農学系事務部 事務部長 平賀 勇吉 総務課長 加藤 淳 経理課長 後藤 秀逸 教務課長 吉井 幸一	研究支援チーム チームリーダー 森 啓介 専門職員 高野 稔 他事務部各係	

研究部 研究員・学生等

学生等	氏名
大学院研究生 農学特定研究員 博士2年 博士2年 博士1年 博士1年 修士2年 修士2年 修士1年 修士1年 修士1年 修士1年 修士1年 修士1年 学部4年	佐竹(秋廣)敬恵 トリフコビッチ・スタンコ サングァンスップ・スニサ 石塚 航 ピンカンタヨン・パニサラ 陳 元君 松岡 健二郎 梯 公平 テュウェ・テュウェ・ウイン 岡田 桃子 小泉 紀彰 土肥 和貴 松井 優一 滝川 寛之

千葉演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長	教授 山田 利博		
林長補佐	講師 廣嶋 卓也		
教育研究主任	講師 廣嶋 卓也(兼)		
主査	根上 昌久		
技術主任	技術専門職員 井口 和信		
技術副主任	技術専門職員 鈴木 祐紀		
事務係	事務室係長 根上 昌久(兼)		
	事務室主任 野山 智		
	事務室主任 田山 勝則		事務補佐員 船津 由美子 2010.10.1から
宿泊管理係	事務室主任 野山 智(兼)		臨時用務員 糟谷 育代 技能補佐員 行方 和子 技能補佐員 鈴木 俊江
森林管理係	技術専門職員 米道 学	技術職員 三次 充和(兼) 技術職員 軽込 勉(兼) 技術職員 山中 千恵子	
施設係	主査 根上 昌久(兼)		
企画調整係	技術専門職員 井口 和信(兼)	技術職員 三次 充和	
土木係	技術専門職員 大石 諭	技術専門職員 藤平 晃司	
試験係	助教 久本 洋子		
資料管理係	講師 廣嶋 卓也(兼)	技術職員 軽込 勉	
清澄作業所	技術専門職員 鈴木 祐紀(兼)	技術専門職員 大塚 明宏 技術職員 阿達 康真	技能補佐員 唐鎌 勇 技能補佐員 富川 勲 技能補佐員 長谷川 二郎 技能補佐員 岡田 康則 特任専門職員 粕谷 善廣
札郷作業所	技術専門職員 塚越 剛史	技術専門職員 里見 重成	技能補佐員 黒川 よし子 2010.7.31まで 技能補佐員 宮原 はな 特任専門職員 譽田 秀夫 臨時用務員 糟谷 育代(兼)

北海道演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	芝野博文			
林長補佐	講師	尾張敏章			
教育研究主任	助教	坂上大翼			
主査		大村栄			
技術主任	技術専門職員	犬飼浩			
庶務係	係長	山下敦子	主任	天山学	事務補佐員 穴澤三恵子
会計係	係長	吉田厚志	主任	木船和聡	
資産管理係	係長	大村栄(兼)	主任	横山和宏	
企画調整係主任	技術専門職員	松井理生	技術専門職員	大川あゆ子	
調査資料係主任	技術専門職員	犬飼浩(兼)	技術専門職員	中川雄治	
種苗造林係主任	技術専門職員	村川功雄	技術職員	岡平卓巳	特任専門職員 續木やよい 2010.8.1から 2010.11.30まで
生産販売係主任	技術専門職員	岡村行治			特任専門職員 中陳いずみ
土木生産係(土木担当)主任	技術専門職員	平田雅和	技術職員	及川希	
			林業作業員	飯沼利雄	
土木生産係(生産担当)主任	技術専門職員	笠原久臣	技術専門職員	磯崎靖雄	
			技術職員	高橋功一	
			技術職員	福岡哲	
調査第一係主任	技術専門職員	福士憲司	技術専門職員	小池征寛	
			技術職員	算用子麻未	
			技術職員	犬飼慎也	
調査第二係主任	技術専門職員	宅間隆二	技術職員	遠国正樹	
			技術職員	井上崇英	
				廣川俊英	
試験係			教授	芝野博文	特任専門職員 齊藤代糸子 2010.7.1から 2011.3.31まで
			講師	尾張敏章	
			助教	坂上大翼	
山部樹木園主任	技術専門職員	木村徳志	技術職員	小川瞳	技能補佐員 内芝和江 2010.4.1から 2010.11.30まで 技能補佐員 安藤佳子 2010.4.1から 2010.11.30まで 技能補佐員 佐藤裕子 2010.4.1から 2010.11.30まで 技能補佐員 中坪優子 2010.4.1から 2010.11.30まで

セミナーハウス 施設長	芝野博文	山下敦子(兼)	技能補佐員 飯沼芳子 特任専門職員 杉原時子 2010.5.1から 2011.3.31まで 臨時用務員 矢吹喜市 2010.4.1から 2010.11.30まで 臨時用務員 米澤京子 2010.5.1から 2010.10.31まで
----------------	------	---------	--

秩父演習林

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長 教授 鎌田直人		
事務室 係長 草開泰之 主任 渡邊幸司	一般係員 深谷仁子 一般係員 浅見新吉	臨時用務員 笠原美津
教育研究主任 助教 鈴木牧 講師 2011.3.16から	特任助教 平尾聡秀 2010.10.1から 助教 2011.3.16から	
技術主任 技術専門職員 大村和也		事務補佐員 富澤貴志
森林管理チーム 技術専門職員 千嶋武	技術専門職員 高德佳絵 技術職員 丹羽悠二	
利用促進チーム 技術専門職員 五十嵐勇治	技術専門職員 相川美絵子 技術職員 原口竜成 技術職員 吉田弓子	特任専門職員 新井容子 2010.9.1から 特任専門職員 島崎雅美 2010.9.1から
作業所チーム 技術専門職員 高野充広	技術職員 神塚武一	臨時用務員 小河洋子 2010.12.31まで 臨時用務員 山中隆平 2010.12.31まで 臨時用務員 山中ミヤ子 2010.12.31まで
影森苗畑主任 技術専門職員 大村和也(兼)		

愛知演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	准教授	蔵 治 光 一 郎				
アドバイザー	教授	鷺 谷 い づ み				
教育研究主任	助教	田 中 延 亮				
事務主任	事務室係長	平 野 圭 二				
技術主任	技術専門職員	澤 田 晴 雄				
教育研究主任	助教	田 中 延 亮				
教育研究企画係	助教	山 本 清 龍	技術職員	荒 木 田 き よ み	技術補佐員	鎌 田 幸 子
研究推進係	技術専門職員	澤 田 晴 雄			技術補佐員	加 藤 敦 美
					特任研究員	五 名 美 江 子
					事務補佐員	大 地 泰 子
事務主任	事務室係長	平 野 圭 二	一般職員	加 藤 正 勝	事務補佐員	大 地 泰 子
技術主任	技術専門職員	澤 田 晴 雄				
森林計画係	技術専門職員	井 上 淳	技術職員	渡 部 賢	技能補佐員	熊 谷 喜 美 子
森林管理係	技術専門員	後 藤 太 成			技能補佐員	大 川 く に 子
					技能補佐員	波 多 野 八 重 子
					技能補佐員	水 野 信 代
					技能補佐員	胡 桃 沢 清
					技能補佐員	胡 桃 沢 朝 宣
					特任専門職員	遠 藤 隆 宣
(赤津研究林)			技術専門員	後 藤 太 成		
(犬山研究林)			技術職員	才 木 道 雄		
			技術職員	渡 部 賢		
(東山・穴の宮試験地)			技術専門員	後 藤 太 成		
(新居試験地)			技術専門職員	澤 田 晴 雄		
企画調整係	技術職員	才 木 道 雄			事務補佐員	大 地 泰 子
衛生推進者	技術専門職員	井 上 淳	技術専門員	後 藤 太 成		
			事務室係長	平 野 圭 二		
プロジェクト研究	准教授	蔵 治 光 一 郎			技術補佐員	鎌 田 幸 子
					技術補佐員	加 藤 敦 美
					農学共同研究員	溝 口 隼 平

富士演習林

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長 後藤 晋(兼)		
教育研究主任 助教 藤原 章 雄	助教 齋藤 暖 生	
技術主任 技術専門職員 齋藤俊浩(兼)	技術専門職員 西山 教 雄 技術職員 千 島 茂	事務補佐員 齋藤 純 子 臨時用務員 高 村 洋 子

樹芸研究所

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 准教授 鴨 田 重 裕		
所長補佐 助教 井 上 広 喜		
事務係 事務職員 山 本 親 男		
技術主任 技術専門職員 渡 邊 良 広		
調査試験研究係	技術専門職員 村 瀬 一 隆 技術専門職員 辻 良 子	技能補佐員 土 屋 福 江 技能補佐員 須 藤 和 子
森林管理係	技術専門職員 辻 和 明	技能補佐員 高 橋 誠 技能補佐員 大 島 浩 子

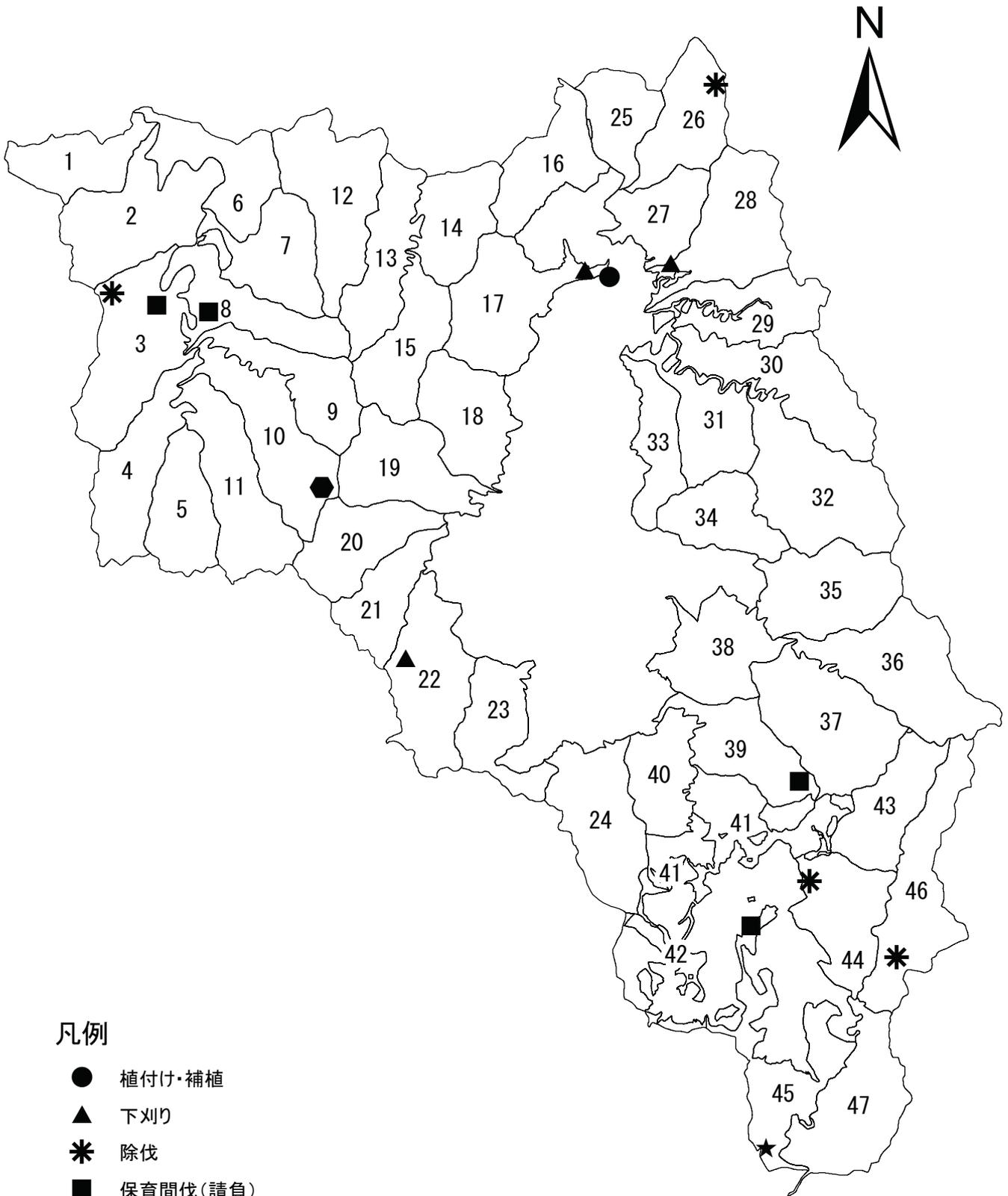
田無試験地

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
主任 講師 安 村 直 樹		
教育研究主任 助教 楠 本 大		
技術主任 技術専門員 鶴 見 康 幸	技術専門員 栗 田 直 明	技能補佐員 前 田 克 人 2010.9.30まで 技能補佐員 川 田 米 子 2010.9.30まで 特任専門職員 石 浦 恭 子

■付録■

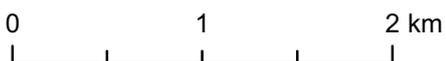
■管理業務実行位置図■

千葉演習林



凡例

- 植付け・補植
- ▲ 下刈り
- * 除伐
- 保育間伐(請負)
- ◆ 枝打ち
- ★ 皆伐



■管理業務実行位置図■ 北海道演習林



凡例

地拵え

+ 地拵え

植え付け・播種

* 植え付け・播種

保育

△ 下刈り

◇ 蔓切り・除伐

☆ 枝打ち

虫獣害等防除

■ 野鼠予察

□ 毒餌散布

苗木生産

◆ 種子採取

★ 苗木生産

林況調査

⊕ 林況調査

立木伐採

● 素材

▲ 立木

◐ 銘木

○ 計画外

車道修繕

— 車道修繕

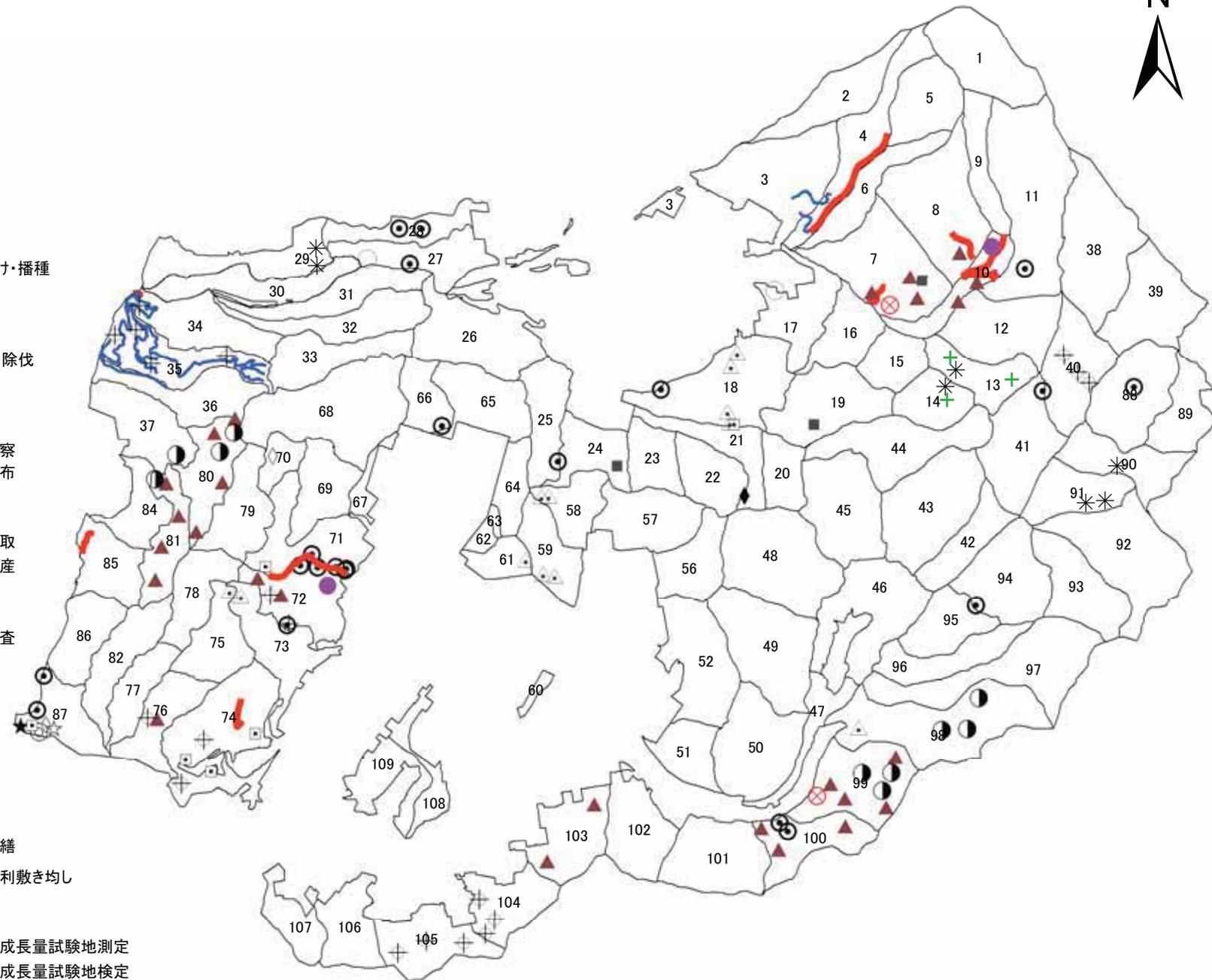
— 車道砂利敷き均し

試験地測定

⊙ 天然林成長量試験地測定

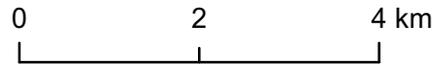
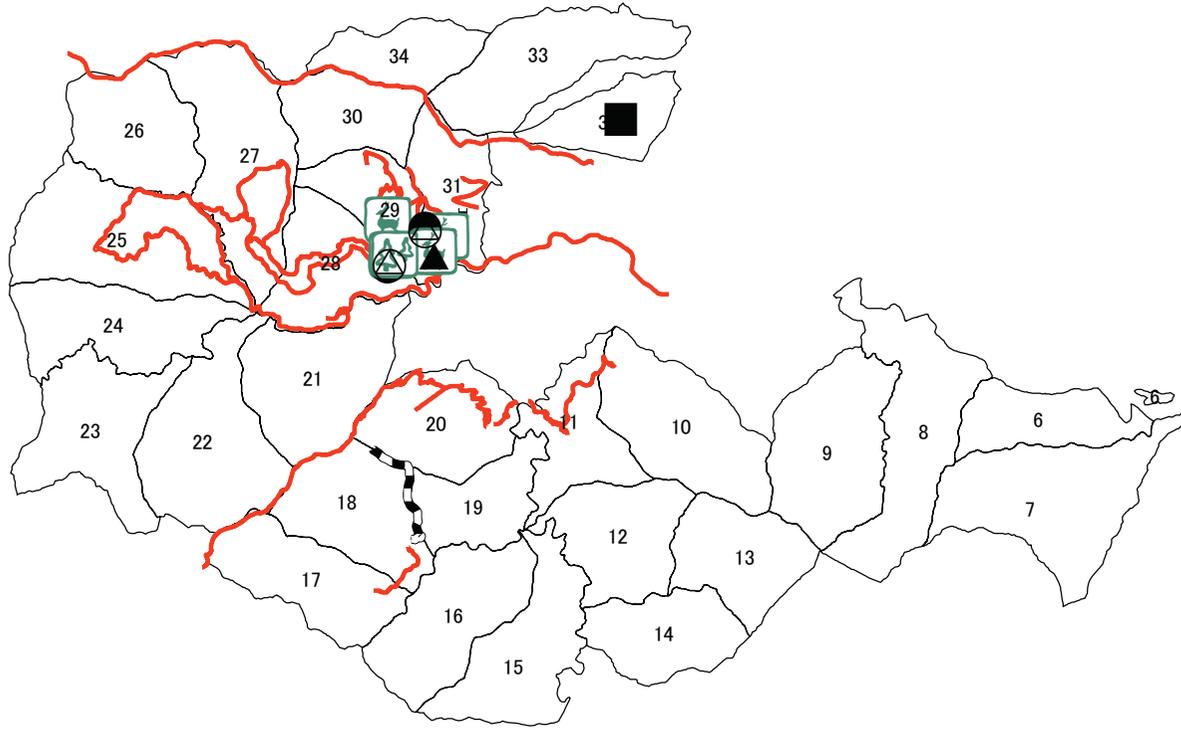
⊗ 天然林成長量試験地検定

◎ その他試験地測定



■管理業務実行位置図■ 秩父演習林

栃本



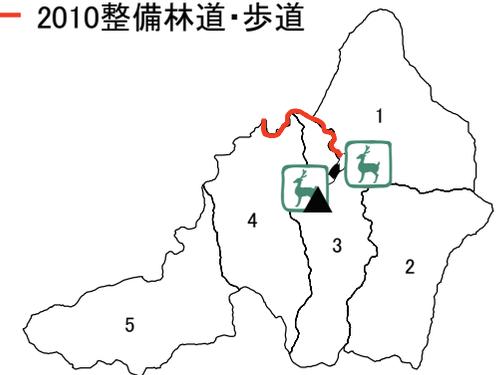
凡例

作業種類

-  クマ被害防止
-  シカ柵補修
-  下刈
-  新植
-  枝打ち
-  間伐(委託)
-  除伐
-  モノレール
-  2010整備林道・歩道



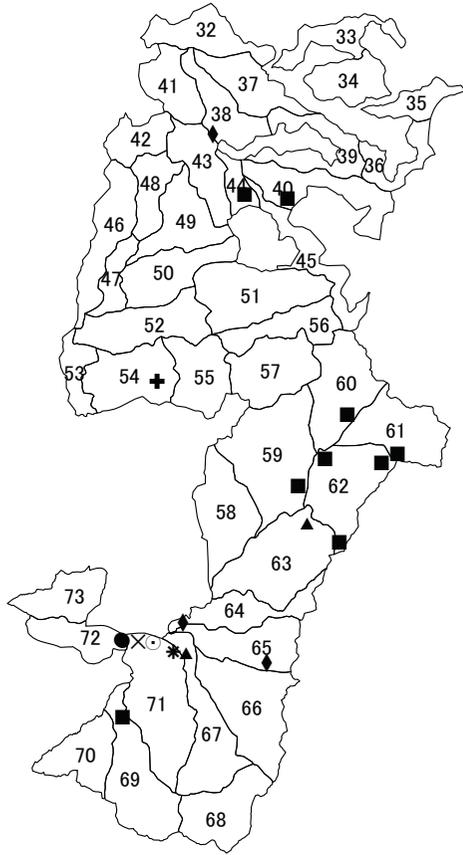
大血川



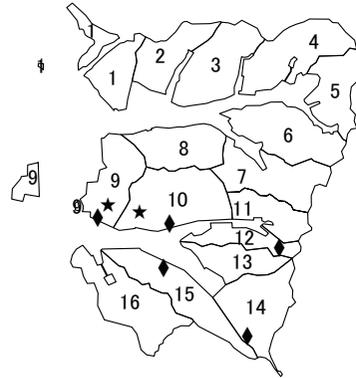
■ 管理業務実行位置図 ■ 愛知演習林

凡例

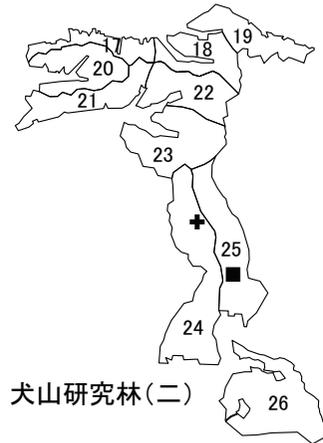
- 新補植
- ▲ 下刈り
- ✦ 林道整備
- ★ 歩道整備
- * 枝打ち
- 間伐
- マツノザイセンチュウ駆除
- ◆ 危険木除去
- 皆伐
- × 地拵え



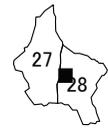
赤津研究林



犬山研究林(一)



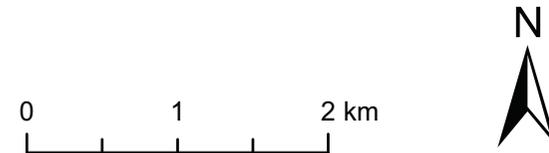
犬山研究林(二)



穴の宮試験地

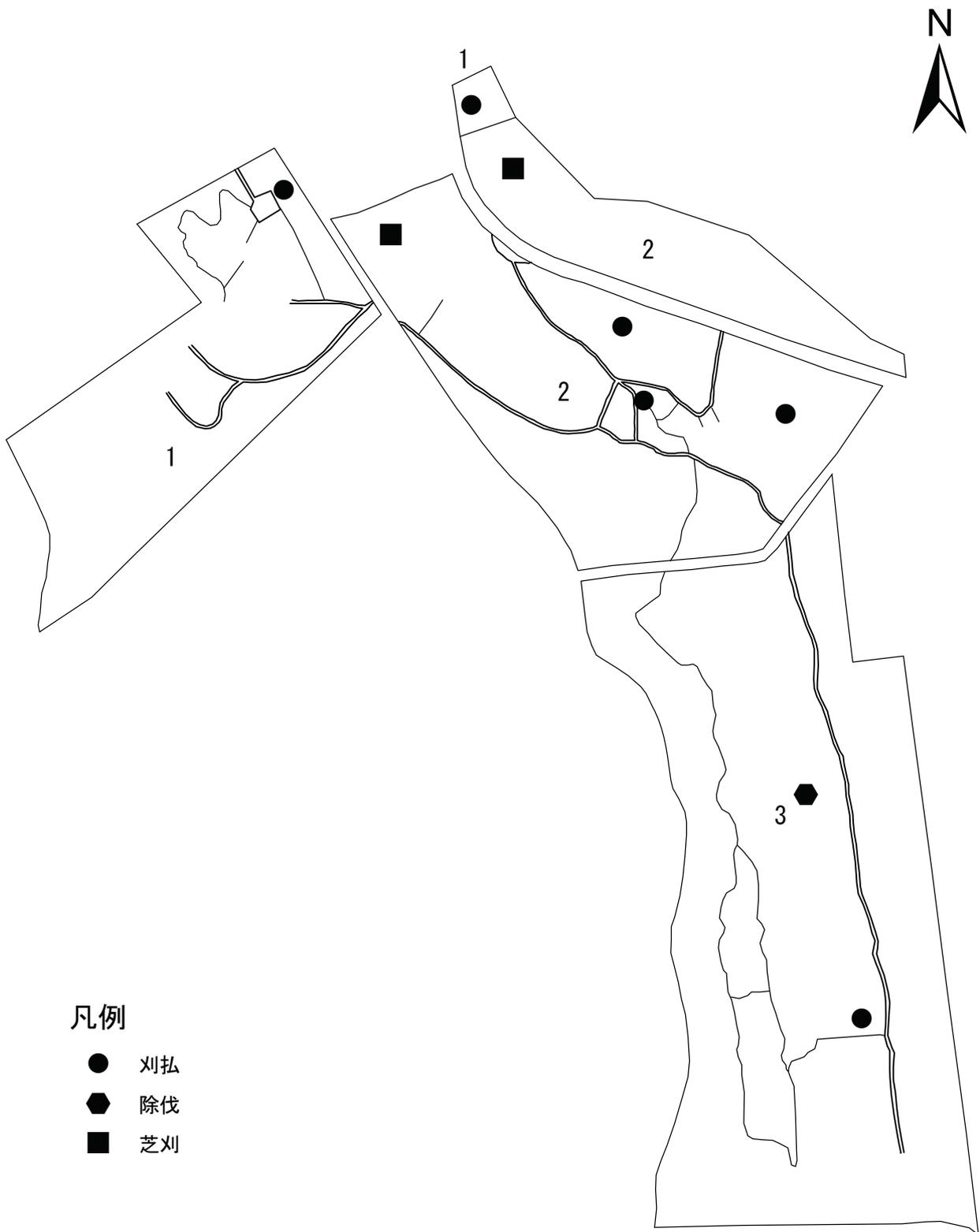


新居試験地



* 各研究林、試験地の位置関係は実際とは異なります

■管理業務実行位置図■ 富士演習林



凡例

- 刈払
- ⬡ 除伐
- 芝刈

0 100 200 m

■管理業務実行位置図■ 樹芸研究所



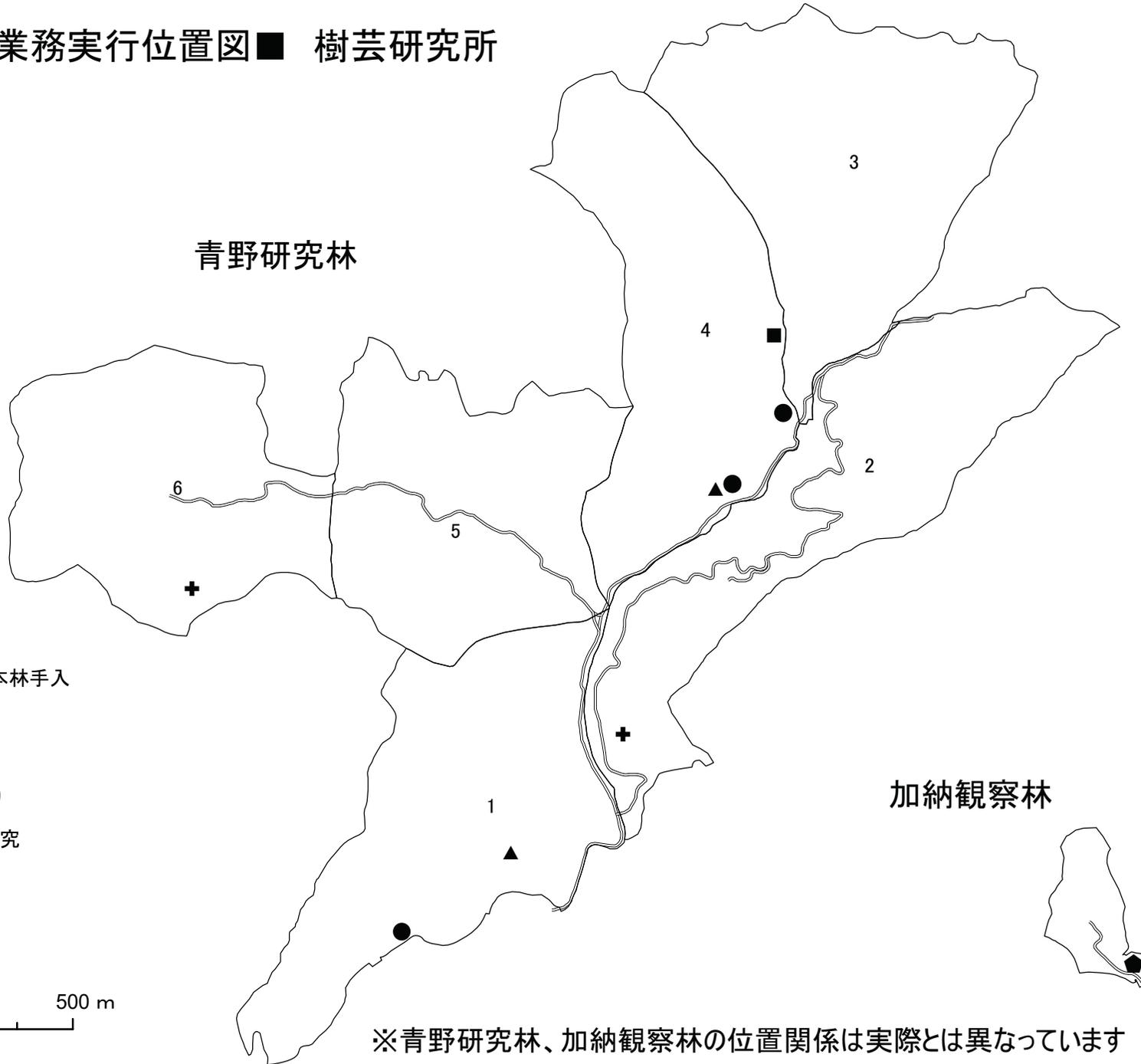
青野研究林

加納観察林

凡例

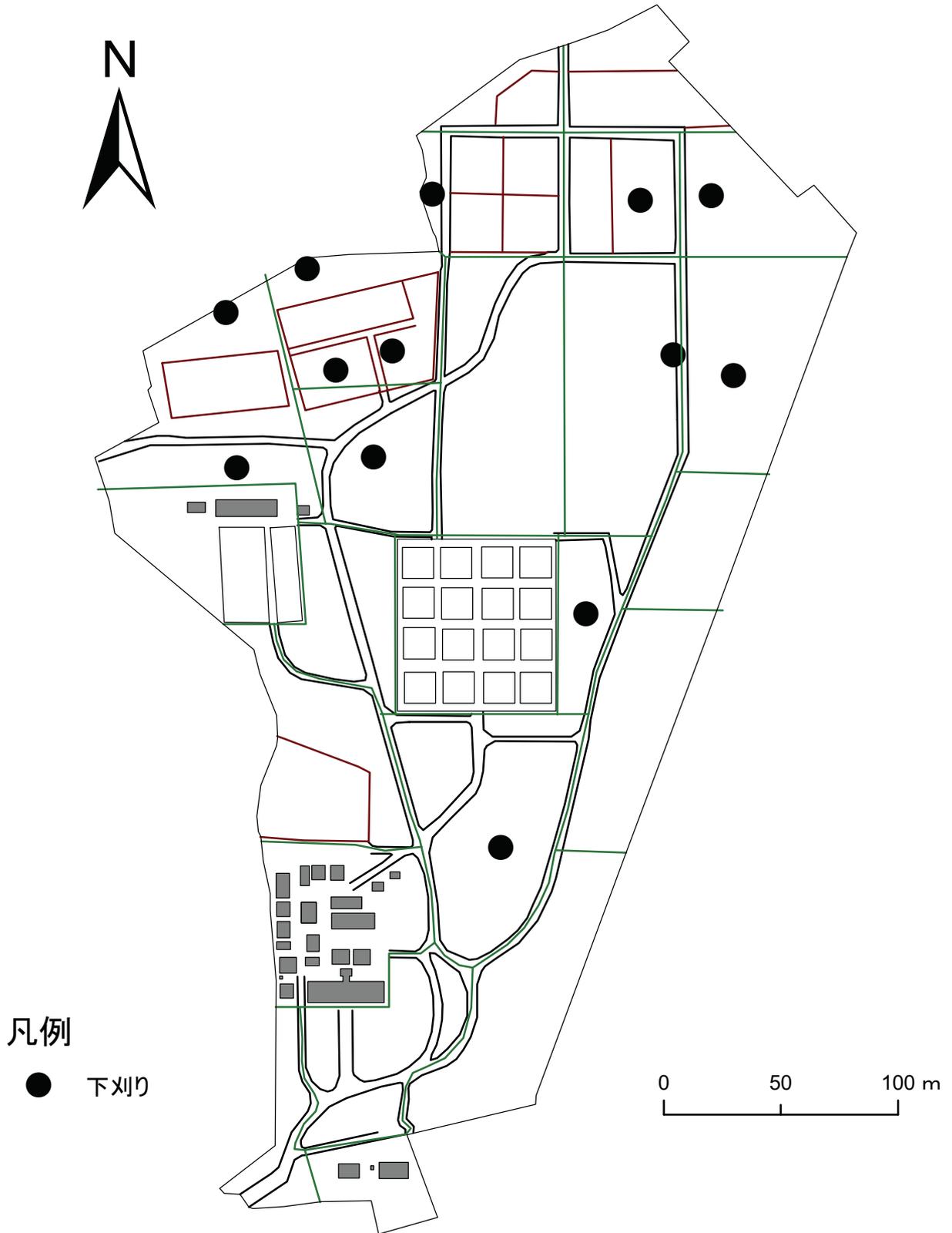
- 樹木園・見本林手入
- ▲ 試験地調査
- 枝打・除伐
- + シカ柵見回り
- ◆ 熱帯植物研究

0 250 500 m



※青野研究林、加納観察林の位置関係は実際とは異なります

■管理業務実行位置図■ 田無試験地



管理面積集計表

2010年4月30日現在
ha

	樹林地												
	合計	人工林				天然林				竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千葉	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1			9
北海道	22,715	3,328	3,028	86	214	18,516	1,808	12,862	3,846			690	181
秩父	5,812	767	749		18	4,986	199	778	4,009				59
愛知	1,292	304	302		2	949		949					39
富士	38	38	34	1	3	0							
樹芸	246	109	50		59	106			106				31
田無	9	6	2	3	1	0							3
合計	32,282	5,410	4,991	107	312	25,859	2,007	14,966	8,886	1	0	690	322

林相別蓄積集計表

2010年4月30日現在

m³

	計	人工林	天然林
千葉	810,611	252,212	558,399
北海道	4,800,707	607,513	4,193,194
秩父	1,462,189	360,322	1,101,867
愛知	239,026	84,928	154,098
富士	11,462	11,462	
樹芸	74,797	51,153	23,644
田無	1,988	1,988	
合計	7,400,780	1,369,578	6,031,202

立木伐採量

m³

	伐採材積							利用 間伐 材積	主間伐 合計	
	計	人工林			天然林					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹			
千葉	立木販売	519	519	519				27	546	
	素材生産資材量	96	96	96					96	
	その他									
	合計	615	615	615				27	642	
北海道	立木販売	17,754			17,754	13,819	3,935	3,328	21,082	
	素材生産資材量	1,702			1,702	729	973		1,702	
	その他									
	合計	19,456			19,456	14,548	4,908	3,328	22,784	
秩父	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
愛知	立木販売	93	93	81	12			178	271	
	素材生産資材量									
	その他									
	合計	93	93	81	12			178	271	
富士	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
樹芸	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
田無	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合計									
合計	立木販売	18,366	612	600	12	17,754	13,819	3,935	3,533	21,899
	素材生産資材量	1,798	96	96		1,702	729	973		1,798
	その他									
	合計	20,164	708	696	12	19,456	14,548	4,908	3,533	23,697

育林実行量

	造 林		保育(ha)	備 考
	面積(ha)	植栽本数(本)		
千 葉	0.250	230	26.40	下刈り1.85ha、除伐11.97ha、枝打ち1.00ha、保育間伐(請負10.98ha)、シカ食害防止柵修繕0.6ha
北海道	19.840	19,342	61.11	下刈り(直8.42ha, 請51.0ha), 蔓切除伐(請6.03ha)、野鼠防除(直18.03ha), 新植(直0.92ha, 請7.35), 地拵え(直5.4ha)
秩 父	0.220	600	24.06	下刈り2.24ha、枝打ち1.66ha、除伐1.16ha、シカ柵見回り2.70ha、クマハギ予防樹皮ガード1.34ha、撫育間伐(水源地域の森づくり事業)14.96ha
愛 知	0.190	1,853	21.98	地拵え0.19ha、植付け0.19ha、下刈り1.25ha、除伐1.00ha、枝打ち0.98ha、間伐2.73ha、本数調整伐13.99ha、(愛知県治山事業)、下刈り2.03ha(マツ材線虫病被害跡地の植林事業)
富 士			0.20	地拵え(請負0.2ha)
樹 芸			0.04	除伐0.04ha
田 無			3.00	下草刈等3.00ha
合 計	20.500	22,025	136.79	

植栽樹種

	本		
	スギ	ヒノキ	ケヤキ
千 葉	161		69
北海道	トドマツ 7,780	アカエゾマツ 9,792	エゾマツ 1,770
秩 父	スギ 200	ヒノキ 400	
愛 知	ヒノキ 867	マツ 986	
富 士			
樹 芸			
田 無			

素材生産総括表

	素材生産資材量			素材生産量			歩留 (%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千葉	95.58	95.58		44.94	44.94				
北海道	1,762.75	738.88	1,023.87	1,190.55	429.77	760.78	67.54	58.17	74.30
秩父									
愛知									
富士									
樹芸									
田無									
合計	1,858.33	834.46	1,023.87	1,235.49	474.71	760.78			

m³

土木実行総括表

	実行内容	実行数量		
		林道維持	歩道維持	土場造成
千葉	林道維持	24,680	1,060	
北海道	車道草刈	車道補修	車道砂利敷き均し	
	車道草刈	520	20,600	10,500
秩父	車道維持	歩道維持	モノレール維持	
	車道維持	13,859	41,695	3,070
愛知	車道維持	車道草刈	林道草刈	歩道草刈
	車道維持		4,550	1,300
富士	車道草刈	歩道草刈		
	車道草刈	600	900	
樹芸	車道草刈	歩道草刈		
	車道草刈	2,503	854	
田無	実行内容			
	実行数量			

m

道路現況

	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千葉	31,262		31,262	14.2	126,190	57.4
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩父	11,395	2,464	13,859	2.4	181,391	31.2
愛知	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富士	2,087		2,087	54.9	2,357	62.0
樹芸	3,486	1,591	5,077	20.6	11,753	47.8
田無						
合計	544,570	454,445	999,015		339,536	

m

各演習林所在地および連絡先

研究部

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話03-5841-5497
FAX03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話04-7094-0621
FAX04-7094-2321

清澄作業所

〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話04-7094-0585

札郷作業所

〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話0439-39-3122

郷台作業所

〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話0439-39-3121

北海道演習林

〒079-1561
北海道富良野市山部東町9番61号
電話0167-42-2111
FAX0167-42-2689

セミナーハウス

〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話0167-29-2204

山部樹木園

〒079-7582
北海道富良野市山部第一苗圃
電話0167-39-6017

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話0494-22-0272
FAX0494-23-9620

栃本作業所

〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450
電話0494-55-0355

大血川作業所

〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話0494-54-1220

影森苗畑

〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話0494-23-9768

愛知演習林

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話0561-82-2371
FAX0561-85-2838

赤津作業所・白坂苗畑

〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1

犬山作業所

〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2

穴の宮試験地

〒489-0008
愛知県瀬戸市曾野町411-1

新居試験地

〒431-0300
静岡県湖西市新居町ハマダ3606-1

富士演習林

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話0555-62-0012
FAX0555-62-4798

樹芸研究所

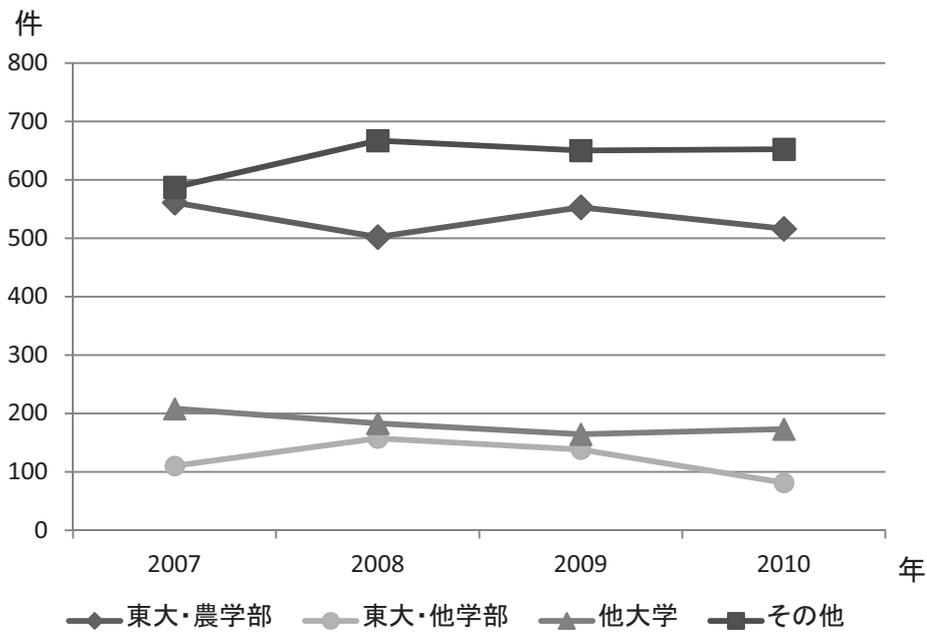
〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話0558-62-0021
FAX0558-62-3170

青野作業所

〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話0558-62-0254

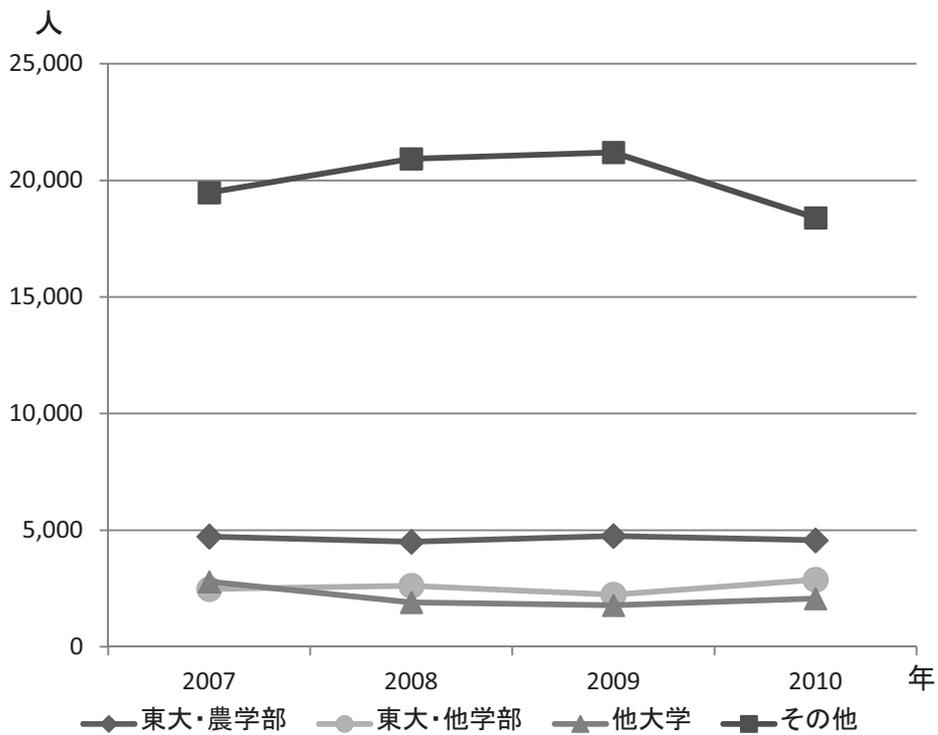
田無試験地

〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話042-461-1528
FAX042-461-2302



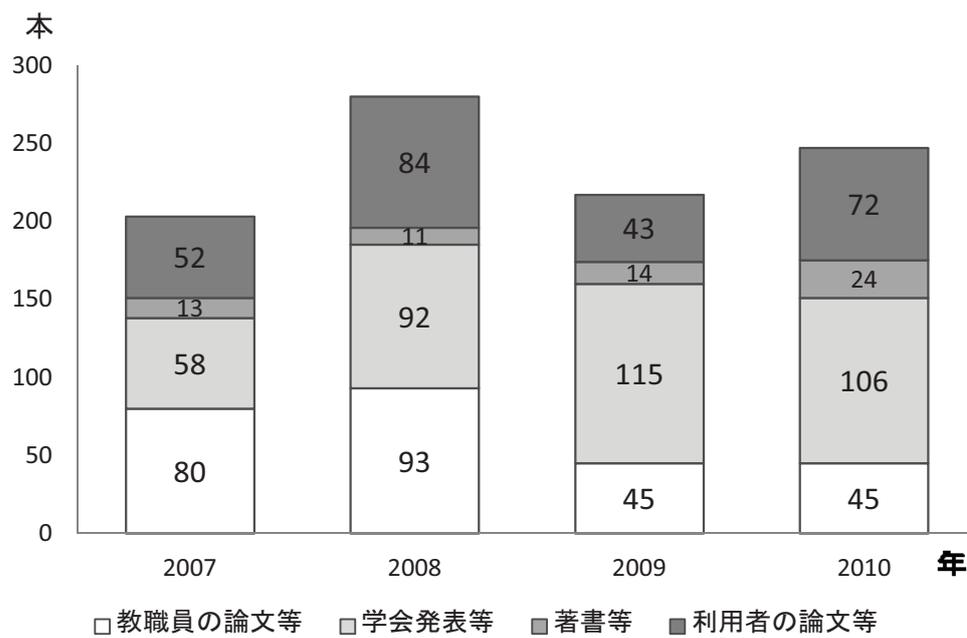
利用件数

秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く

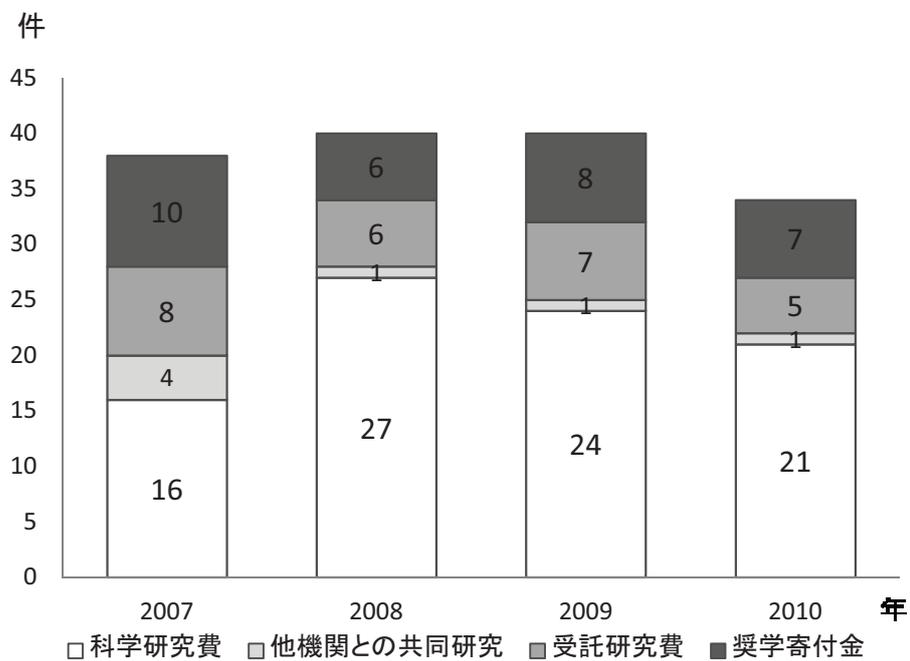


利用者述べ人数

秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く



論文等の本数



外部研究費の獲得数